

令和5年度
週20時間未満就労モデル事業
報告書

令和6年3月

福岡県就労支援協同組合



目次

1. 週 20 時間未満就労モデル事業について

(1) はじめに	4
(2) 事業の概要	4
① 目的	4
② 対象者	4
③ 対象地域	4
④ 事業期間	4
(3) 令和 5 年度の支援体制	5
① 支援体制	5
② 業務分担	5
③ 令和 5 年度 事業の流れ	6
④ 仕事カタログの例	7

2. 令和 5 年度の実施結果

(1) 共通	8
① 事前準備・周知広報	8
② 企業説明会・求職者説明会の開催	12

③ 個別開拓	15
④ 企業への支援	16
ア 支援の流れ	16
イ 支援内容詳細	16
⑤ 求職者への支援	19
ア 支援の流れ	19
イ 支援内容詳細	19
(2) モデル地域別の状況	22
① 飯塚市	22
ア 飯塚市の特徴	22
イ 令和5年度の実績結果	22
(ア) 企業に対する取組	23
a 説明会開催	23
b 個別開拓	24
c 個別支援	24
(イ) 求職者に対する取組	41
a 説明会開催	41
b 支援機関説明会	41
c 個別相談会	41
d 個別開拓	42
e 個別支援	42
② 大牟田市	64
ア 大牟田市の特徴	64
イ 令和5年度の実績結果	64
(ア) 企業に対する取組	65
a 説明会開催	65
b 個別開拓	66
c 個別支援	66
(イ) 求職者に対する取組	74
a 説明会開催	74

b 支援機関説明会	74
c 個別相談会	74
d 個別開拓	75
e 個別支援	76

3. 令和5年度の成果

(1) 成果とその要因	87
-------------	----

4. 週20時間未満就労モデル事業の実証・確認結果

(1) 評価（有効性の確認）	89
(2) 今後に向けての課題と改善点	91
(3) まとめ	93

参考資料

(1) 実行委員会、有識者会議	95
(2) 周知広報を行った支援機関等	98
(3) 令和4年度の支援体制	99
(4) アンケート結果	100
(5) モデル地域の支援機関の声	105
(6) 企業説明会 スライド	115
(7) 求職者説明会 スライド	129

1. 週 20 時間未満就労モデル事業について

(1) はじめに

2018 年の日本財団の調査によると、就労していない障がいのある人をはじめ、ニート、ひきこもり、難病患者など、働きづらさを抱える人が全国の 8 人に 1 人、延べ 1,500 万人いると推計される。福岡県にあてはめると、おおよそ 60 万人を超えると見込まれ、働きづらさを抱える人の社会からの孤立、分断、貧困と格差拡大は大きな課題となっている。

今年度、福岡県からの補助を受けて、福岡県就労支援協同組合（以下「当協同組合」と略す）が、就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える人が週 20 時間未満の短時間で働くことができる民間企業を開拓、マッチング、就労後の支援を行うことで短時間就労の有効性を実証・確認するモデル事業を実施した。

(2) 事業の概要

① 目的

就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える人が週 20 時間未満の短時間で働くことができる民間企業を開拓、マッチング、就労後の支援を行うことで短時間就労の有効性を実証・確認する。

② 対象者

本事業の支援対象者は、働きづらさを抱える人とし、次の例示に該当する者とする。
(長期無業者（ニート含む）、ひきこもり、難病患者、がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行等の問題を抱える少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親) 上記ほか、働きづらさを抱える人 など

③ 対象地域

飯塚市・大牟田市

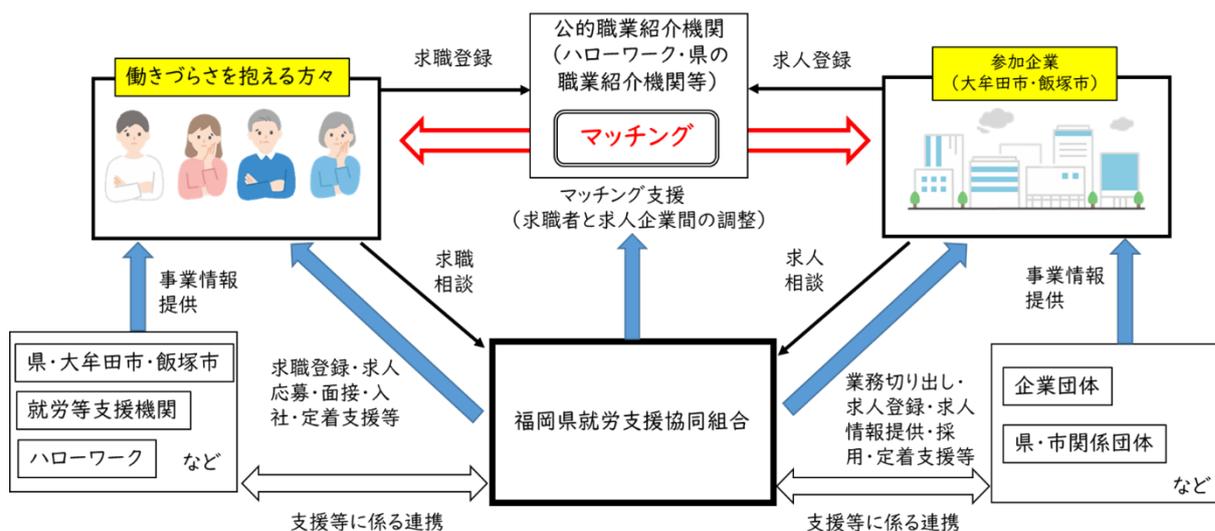
人口 10 万人以上で、事業への参加者及び雇用に協力する企業が一定数見込まれ、自治体の協力が得られる地域として福岡県が選定

④ 事業期間

令和4年度～令和5年度

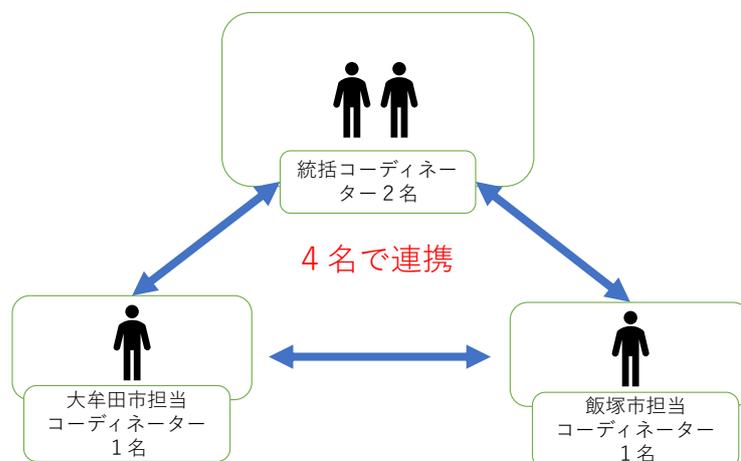
(3) 令和5年度の支援体制

◆支援体制 (図1)



・当協同組合が選任するコーディネーターが働きづらさを抱える人と人手不足などに悩む企業の間に入り、福岡県や飯塚市・大牟田市、各種機関などと連携しながらマッチングを行う体制 (図1) とした。

◆業務分担 (図2)



・当協同組合内 (福岡市) の統括コーディネーター、対象地域で活動している当協同組合の組合員事業所の地域担当コーディネーターで業務を分担した。

○統括コーディネーター（正・副）

- ・2市における企業情報、求職希望者情報及び作業内容などの情報収集、地域コーディネーターとの共有
- ・地域コーディネーターとの事業活動の連携
- ・企業説明会、求職者説明会で使用するアンケートの制作・集計
- ・実行委員会、有識者会議等の会議に関する会議資料作成、会議議事録作成
- ・事業利用者と組合間の資料管理
- ・広報媒体の管理・変更（チラシ、ホームページ）、広報先リスト作成
- ・求職者、企業と当組合間での個人情報保護に関する書類の作成

○地域コーディネーター（飯塚市・大牟田市）

- ・参加企業の困りごとや要望の聞き取り、必要に応じた業務マニュアルの作成の支援
- ・各地域の支援機関との連携
- ・地域で開催される集会への参加

○統括コーディネーターと協働

- ・地域支援機関及び民間団体への個別説明会などの企画及び開催
- ・本事業における求職者説明会、企業説明会への告知活動
- ・実施地域に本社または支社がある企業の開拓、求人業務の切り出し
- ・報告書、マニュアル、仕事カタログ（図4）の作成
- ・関連機関への広報活動（メール・電話・訪問等）、スケジュール調整
- ・求職希望者への事業説明、求人企業・登録求職者に対する支援の遂行
- ・モデル実施地域における就労者への定期的な定着支援

◆令和5年度 事業の流れ 例（図3）



◆仕事カタログの例（図4）

- ・ 求職者が見学や体験など就職活動の一步を踏み出しやすいよう、求人票にはない、写真や職場の雰囲気などを記載した。

福岡県就労支援協同組合

【今回の求人】

- ①施設内清掃
- ②書類作成補助

●どんな職場？

就労支援団体の相互連携をお手伝いすることで
情報共有や疑問の解消をサポートしています。



●職場の雰囲気

【最年少スタッフAさん(28)にインタビューをしました】

- ・ 働きやすさはいかがですか？
 - いろいろな働き方があり、自分に合った働き方が出来て働きやすいです。
- ・ 具体的にどの辺が働きやすいですか？
 - 理事が話をしっかりと聞いてくれる事と、話し合いの場をしっかりと設けてくれる事です。分からない事があれば教えてくれるし、しっかりとアドバイスを貰えます。
- ・ 一方的でない所が良いですね
 - かなり寄り添っていただいていると思います。



●ここが自慢！

幅広い年齢層の方が勤務されており、一人ひとりに合わせた仕事を行える職場です。
仕事に必要な資格やスキルも学びながら働くことが出来ます。

2. 令和5年度の取組結果

(1) 共通

① 事前準備・周知広報

- ・企業及び求職者に対する説明会・個別相談会を開催するため、福岡県と飯塚市・大牟田市と調整の上、開催日・開催場所・開催時間等を決定した。
- ・会場開催に加え、オンライン開催を行うため、必要な機材準備を行った。
- ・説明会参加申込フォームを作成し、別途作成した専用ホームページ（図5・6）での公開、申込受付等を行った。
- ・各地域のハローワークとの連携をとるため、福岡労働局と打ち合わせを行い、モデル事業で支援できる内容を確認した。
- ・労働者になろうとする者に求人に関する情報を収集して情報提供を行うため、職業安定法に基づく特定募集情報等提供事業者となった。
- ・説明会の開催情報は、専用ホームページに記載し、当協同組合のホームページでのリンクを記載するとともに福岡県ホームページなどでの周知を依頼し、告知活動を行った。
- ・複数の任意団体での事業の周知、告知活動を行った。
- ・支援機関説明会、企業説明会、求職者説明会、個別面談会の開催チラシを作成し、WEB、メール、電話など複数の手段での申し込みを受け付けた。（図7・8）
- ・求職者、企業と当組合の間にて取り交わす利用契約書を作成した。
- ・様々な働きづらさを抱えている人を雇用している企業を見学し、支援の参考とした。

◆作成したホームページ（飯塚市）（図5）



お知らせ

◇ 飯塚市所在の企業向け説明会 ◇

【終了】 企業説明会9月6日(水)

◇ 飯塚市で働きたい求職者向け説明会 ◇

【終了】 第1回 求職者説明会+個別面談会 7月5日(水)

【終了】 第2回 個別面談会10月5日(木)

第3回 求職者説明会+個別面談会 11月8日(水)

週20時間未満の就労とは？



人手が欲しい企業と、働きづらさを抱えている方をマッチング

様々な働きづらさを抱える方々（ニート、ひきこもり、生活困窮者、刑余者、高齢者、障がいのある方など）の働く場の創出のために「週20時間未満の短時間労働可能な企業の開拓」「企業と求職者の

U R L : https://fesc.jp/iizuka_20miman_work/



◆作成したホームページ（大牟田市）（図6）



週20時間未満の就労とは？

人手が欲しい企業と、働きづらさを抱えている方をマッチング

様々な働きづらさを抱える方々（ニート、ひきこもり、生活困窮者、刑余者、高齢者、障がいのある方など）の働く場の創出のために「週20時間未満の短時間労働可能な企業の開拓」「企業と求職者のマッチング」「辞労後のサポート」を行う必要です。

U R L : https://fesc.jp/omuta_20miman_work/



◆求職者説明会のチラシ例（図7）

【協力】福岡県・大牟田市
大牟田市及び近郊にお住まいの方へ
こんな悩みはありませんか？

子育ての合間に
少しでも働ければなあ

通院や介護があって
毎日働けないなあ

いきなり
フルタイムは
不安だなあ

**週20時間未満で働きたい方の就労を支援します！
無料説明会・面談会を開催します（Web参加可）**

求職者説明会・個別面談会

【開催日】 7月19日（水）・11月22日（水）
【時間】 13:00～14:15
【会場】 大牟田文化会館 大牟田市不知火町2-10-2

個別面談会

【開催日】 10月24日（火）
【時間】 13:00～17:00（事前予約制）
【会場】 ハローワーク大牟田 大牟田市大正町6丁目2-3

お申込み・お問合せ先

【主催】福岡県就労支援協同組合
✉ 20miman-work@fesc.jp
☎ 092-406-7697

〒810-0041 福岡市中央区大名2-9-29 第2アリスビル 1008号
https://fesc.jp/omuta_20miman_work/ 大牟田市 週20時間未満就労

説明会について

【週20時間未満就労モデル事業の紹介】
・支援内容の詳細
・事業利用者の事例紹介
・参加企業の紹介

【個別相談】
事業利用希望の場合は
後日オンラインまたは訪問にて
面談を行います

雇用事例紹介

【業種】飲食店
【困りごと】人手不足
【求人業務】ホールスタッフ業務を3つに切り分け募集
①食器引き②食器洗浄③食器の片づけ

採用担当者の感想
補助業務や繁忙期だけの勤務でも
スタッフの負担が軽減し
人手不足の改善に繋がりました。
他のスタッフとも打ち解け
しっかりと働いているので助かっています。

業務の切り出し例

データ管理
データ入力

施設送迎

施設内清掃

調理補助

週20時間以上の勤務へのステップアップも可能です！

◆企業説明会のチラシ例（図8）

【協力】福岡県・飯塚市
飯塚市の事業所様へ
課題解決に取り組んでみませんか？

軽作業だけ
やってもらえたらなあ

採用活動で
人が集まらない

新しい事したいけど
余力がないなあ

残業が当たり前
になっている

**「週20時間未満の雇用」で支援します！
説明会開催（無料）**

【開催日】 令和5年9月6日（水）
【時間】 15:00～15:45
【会場】 飯塚市役所 福岡県飯塚市新立岩5-5

Web参加の場合
お申込み頂いたメールアドレスへアクセス方法をお送り致します

お申込み・お問合せ先

【主催】福岡県就労支援協同組合
✉ 20miman@fesc.jp
☎ 092-406-7697

〒810-0041 福岡市中央区大名2-9-29 第2アリスビル 1008号
https://fesc.jp/lizuka_20miman_work/ 飯塚市 週20時間未満就労

説明会について

【週20時間未満就労モデル事業の紹介】
・支援内容の詳細
・事業利用者の事例紹介
・参加企業の紹介

【個別相談】
事業利用希望の場合は
後日オンラインまたは訪問にて
面談を行います

雇用事例紹介

【業種】飲食店
【困りごと】人手不足
【求人業務】ホールスタッフ業務を3つに切り分け募集
①食器引き②食器洗浄③食器の片づけ

採用担当者の感想
補助業務や繁忙期だけの勤務でも
スタッフの負担が軽減し
人手不足の改善に繋がりました。
他のスタッフとも打ち解け
しっかりと働いているので助かっています。

業務の切り出し例

データ管理
データ入力

施設送迎

施設内清掃

調理補助

週20時間以上の勤務へのステップアップも可能です！

② 企業説明会、求職者説明会の開催

- ・事業利用企業及び事業利用者を確保するとともに、企業への短時間雇用の浸透、働きづらさを抱える人の就労意欲の向上に繋げるため、飯塚市及び大牟田市と協力し、

ア 企業説明会

イ 求職者支援機関説明会、求職者説明会及び求職者個別相談会を開催した。

ア 企業説明会の開催概要について

- ・開催時期 2023年9月
- ・開催回数 2回(飯塚市1回・大牟田市1回)
- ・開催会場 市の公共施設
- ・開催方法 会場開催及びオンライン開催
- ・説明会内容
 - 福岡県就労支援協同組合とは(1分)
 - 週20時間未満就労モデル事業とは(5分)
 - 働きづらさを抱える人とは(1分)
 - 週20時間未満就労のメリット(5分)
 - 支援体制説明(企業への支援詳細)(15分)
 - 雇用事例紹介(10分)
 - 質疑応答(8分)
- ※企業説明会で使用したスライドは参考資料(5)
- ・参加企業数 20社(大牟田市8社、飯塚市12社)

○ポイント

- ・多くの企業に参加の機会を設けられるよう、会場開催だけでなく、オンライン開催も実施した。

<企業説明会開催スケジュールについて>

以下のスケジュールで実施した。

4月	ホームページ等サイト公開
5月	
6月	
7月	企業説明会募集開始(チラシ配布)
8月	
9月	飯塚市(第1回企業説明会)・大牟田市(第1回企業説明会)
10月	
11月	

12月	
1月	
2月	
3月	

イ 支援機関説明会、求職者説明会及び求職者個別相談会

【支援機関説明会の開催概要について】

- ・開催時期 2023年5月
- ・開催回数 1回(飯塚市・大牟田市合同)
- ・開催会場 福岡県就労支援協同組合会議室
- ・参加者 飯塚市・大牟田市支援機関窓口担当者(最大100機関程度)
- ・開催方法 オンライン開催
- ・参加者数 69名

【求職者説明会の開催概要について】

- ・開催時期 2023年5月から2023年11月まで
- ・開催回数 4回(飯塚市2回・大牟田市2回)
- ・開催会場 市の公共施設
- ・開催方法 会場開催及びオンライン開催
- ・説明会内容
 - 福岡県就労支援協同組合とは(1分)
 - 週20時間未満就労モデル事業とは(1分)
 - 働きづらさを抱える人とは(1分)
 - 週20時間未満就労のメリット(5分)
 - 支援体制説明(求職者への支援詳細)(7分)
 - 就労事例紹介(10分)
 - 質疑応答(5分)
- ※求職者説明会で使用したスライドは参考資料(6)
- ・参加者数 48名(飯塚市22名、大牟田市26名)

【個別面談会の開催概要について】

- ・開催時期 2023年7月から2023年11月まで
- ・開催回数 6回(飯塚市3回・大牟田市3回)
- ・開催会場 市等公共施設
- ・参加者数 25名(飯塚市13名、大牟田市12名)
- ・開催方法 会場参加

【出張相談会の開催概要について】

- ・開催時期 2023年10月から2023年11月まで
- ・開催回数 3回(大牟田市3回)
- ・開催会場 大牟田市の商業施設
- ・参加者数 9名
- ・開催方法 会場参加

○ポイント

- ・参加者募集にあたっては、働きづらさを抱える人に支援を行っている機関、自治体等に周知広報を依頼した。
- ・様々な働きづらさを抱える人が対象となるため、安心して相談できるよう、プライバシーが保たれる部屋を確保し、時間予約制とした。
- ・仕事カタログや昨年度の資料をもとに具体的な働き方、受けられる支援のイメージができるよう説明した。
- ・個人情報や働きづらさの内容を聞き取る前は、モデル事業の説明を十分に行い、事業利用契約書を締結してから行った。

<求職者説明会開催スケジュールについて>

以下のスケジュールで実施した。

4月	ホームページ等サイト公開 支援機関向け説明会案内
5月	支援機関向け説明会 第1回求職者説明会募集開始(チラシ配布)
6月	
7月	飯塚市(第1回求職者説明会・個別相談会) 大牟田市(第1回求職者説明会・個別相談会)
8月	個別相談会募集開始(チラシ配布)
9月	第2回求職者説明会募集開始(チラシ配布)
10月	飯塚市(個別相談会)・大牟田市(個別相談会)
11月	飯塚市(第2回求職者説明会・個別相談会) 大牟田市(第2回求職者説明会・個別相談会)
12月	
1月	
2月	
3月	

③ 個別開拓

ア 参加企業開拓

- ・当協同組合及び当協同組合が選任するコーディネーターが、行政機関、企業団体、当協同組合会員企業等を通じて企業を個別訪問し、週 20 時間未満の短時間雇用を実施する企業の開拓を行った。
- ・飯塚商工会議所、飯塚商工会、大牟田商工会議所の広報誌にチラシの折り込み募集を行った。
- ・各モデル地域の広報紙に説明会の情報を掲載し、求人企業の開拓を行った。

イ 求職者開拓

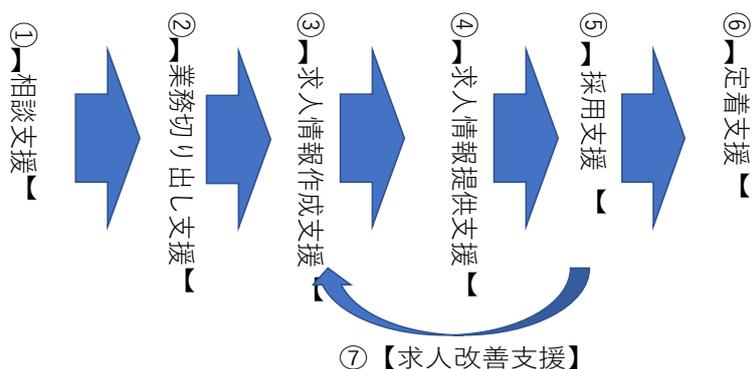
- ・当協同組合及び当協同組合が選任するコーディネーターが、支援機関及び関係機関へのチラシの配付や個別訪問を行い、週 20 時間未満の短時間で働く求職者の開拓を行った。
- ・支援機関の総会などに参加し、モデル事業の周知を行った。
- ・商業施設にてモデル事業のポスター、チラシの掲示、出張相談会を実施した。
- ・各モデル地域の広報紙に説明会・相談会の情報を掲載し、求職希望者の開拓を行った。
- ・福岡県 SNS（Line、旧 Twitter）や福岡県・モデル地域・当協同組合のホームページなどを活用した広報を行った。

④ 企業への支援

ア 支援の流れ

事業を利用する企業へは以下の支援を行った。

◆支援の流れ（図9）



イ 支援内容詳細

①【相談支援】

- ・モデル事業内容の説明、「企業の困りごとを解決するための業務を切り出し、その業務ができる人を短時間で雇用することで企業の力になる。家庭の事情や健康上の理由で短時間しか働けない人の働く場を創出する。」という事業理念の共有を実施
- ・企業説明会後のアンケート、個別開拓後のフォローアップにより、困りごとがある企業に対面またはオンラインで内容の聞き取りを行い、企業が抱える課題を確認（なぜ課題が発生しているのか）し、問題点の整理を実施
- ・短時間雇用により解決の可能性がある場合は、モデル事業の利用を提案

○ポイント

- ・モデル事業の利用は強制せず、企業の意向を尊重した。
- ・求人票の受理のみだと、職場の雰囲気分かりにくい。漠然と“人が集まらない”と言う課題を述べる企業担当者が多い。なぜ人が集まらないのかを確認し、集まらない原因が当事業にて解決可能であれば事業への参加を提案。
- ・働きづらさを抱えている人を雇用することについて、企業は即戦力にならないと考え、難色を示すことが多い。また、雇用した後でも業務内容と人材のミスマッチが起こることがある。そこで、支援事業を行うにあたっては、事業理念を共有することで事業の必要性・有益性を理解した上で、参加を促した。

② 【業務切り出し支援】

- ・モデル事業の利用を決定した企業に対面またはオンラインで業務の詳細を聞き取り、分解することで、新規雇用により困りごとが解決する業務を切り出し

○ポイント

- ・採用を検討した背景、企業の課題も確認することで、業務の切り出しにあたり、企業に有益となっているか検討した。
- ・働きづらさを抱えた人に過度に負担をかけず、企業の戦力になれるよう、まずは補助作業や既存スタッフでは手の届きにくい作業を切り出しの候補とした。
- ・企業の現場担当スタッフを明確にし、定着支援を行うコーディネーターとの連携を確認しておくことで、企業とコーディネーターとの連携が円滑に行える体制を整えた。

③ 【求人情報作成支援】

- ・切り出した業務及び企業が希望する採用条件から求人票を作成
- ・仕事カタログ（図4）の作成

○ポイント

- ・求職者が仕事の具体的なイメージをつかめるよう、仕事カタログ作成にあたっては、定量的な表記を行い、具体的な仕事内容、企業の特色や雰囲気に記載した。
〈例〉仕事内容は「軽作業」のような漠然とした表記ではなく、「軽作業：10 kgの段ボール箱を10m程動かす仕事」等、明確にした。
- ・作業内容を切り出す際に雇用の時間に幅を持たせ、会社の状況に合わせた（繁忙日と閑散日など）業務に対応できるように求人票を作成。切り出す業務を行う上で必要な最低時間を記載し、必要に応じて労働時間を相談できるような求人票を作成した。
- ・求人票を作成する際に、会社の長所（年間休日、労働時間、子育て支援等）について積極的にPRが行えるよう、記載内容をアドバイスした。

④ 【求人情報提供支援】

- ・求職者説明会にて、求職者に対して求人内容を説明する機会を提供
- ・一部の企業に関しては、企業に代わって、当協同組合が求人内容を公開
- ・モデル事業を利用する求職者、支援機関に求人の内容を広く公開

○ポイント

- ・求人公開だけではなく、職場の雰囲気やサポート体制について説明を行うことで、職場の魅力が伝わるよう工夫した。

⑤ 【採用支援】

- ・ 雇用のために必要な労働条件通知書等の作成支援
- ・ 採用時の勤務時間や日数の条件調整
- ・ 職場見学や就労体験を実施（企業及び求職者が希望する場合）
- ・ 就労前に企業の懸念点の抽出

○ポイント

- ・ 企業、求職者の双方が希望する際には、職場見学や就労体験を実施し、働きづらさへの先入観なく、採用可否を判断できる機会を提供した。
- ・ 採用決定後は、働き方や勤務時間、勤務日数などの調整、確認を企業と就労予定者の間に入って行った。

⑥ 【定着支援】

- ・ 企業に対して、対面や電話でのヒアリングを実施
- ・ 職場訪問を実施
- ・ 必要に応じて企業と就労者の間に入って調整

○ポイント

- ・ 企業に対するヒアリングは、雇用開始前、雇用後2週間程度に1回と定期的に行い、困りごとがないかなどを事前に確認した。
- ・ 職場訪問では、就労者が働いている様子、既存のスタッフが指導を行う中で困っていること、現場での意見などを確認し、必要に応じて助言した。
- ・ 企業と就労者との間で要望や不満があっても、直接は話しづらいため、間に入って調整できることを伝えた。

⑦ 【求人改善支援】

- ・ 雇用まで至らない場合、求人内容の修正、新たな求人の作成支援を実施
- ・ 求人内容に変更があった際に実施

○ポイント

- ・ 求人に対して応募者が現れない場合、求人の課題点を抽出し企業側へ変更を提案した。
- ・ 求職登録者とのマッチングを図るために定期的な打ち合わせを行い、求人内容の変更や新たな求人の作成支援を行った。

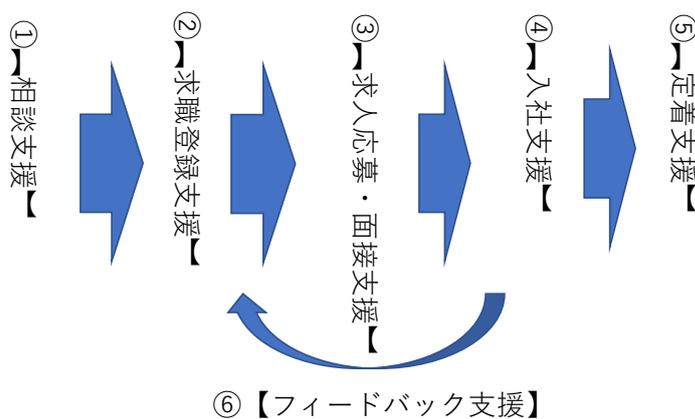
〈例〉 専門職や経験者を求めている企業に対して、専門職や経験者の補助的な業務を切り出し、業務の効率化を図る。

⑤ 求職者への支援

ア 支援の流れ

モデル事業を利用する求職者へは以下の支援を行った。

◆支援の流れ（図 10）



イ 支援内容詳細

① 【相談支援】

- ・ 困りごとに対して具体的な聞き取りを行い、困りごとを解決できる支援を検討
- ・ 困りごとを聞き取り、モデル事業の利用には至らなかった方には、対象となる支援機関の紹介を行った。

○ポイント

- ・ 個人情報や働きづらさの内容を聞き取る前には、モデル事業の説明を十分に行い、事業利用契約書を締結してから行った。
- ・ 現在の具体的な働きづらさをそのまま受け止めることで、本人が抱えている悩みを緩和し、信頼関係を築くように努めた。
- ・ アドバイスではなく一緒に支援内容を検討した。
- ・ 聞き取る際には、求職者へ無理に話さなくても良いことを伝えた。
- ・ 聞き取りを行う際には、プライバシーを守る環境を整えるため、相談ブースはパーティションで必ず囲み、またブース間の間隔も会話が聞こえないように十分な距離を確保した。
- ・ 本人からの直接の聴取が難しい場合は、求職者に同意を得たうえで利用している支援機関を通じて確認を行った。

② 【求職登録支援】

- ・ 公的職業紹介機関への求職登録票の作成支援・添削
- ・ 求職登録同行（求職者が希望する場合）

○ポイント

- ・ 求職登録票説明の際に、求職者の個別の困りごとや事情をどこまで企業へ伝えてよいか確認。応募の際にも再度確認した。

③ 【求人応募・面接支援】

- ・ 週 20 時間未満での働き方を求職者へ説明
- ・ 登録されている企業の求人を広く公開
- ・ 面接同行（求職者が希望し企業が了承した場合）
- ・ 職場見学や就労体験を実施（企業及び求職者が希望する場合）

○ポイント

- ・ 働く際の注意事項や、企業側との連携を確認し求職者が安心できるよう努めた。
- ・ 緊張して上手く話せず、個別の状況などを伝えられなかった場合は、求職者に事前に確認した内容を話せるよう話を誘導し、その場で確認が出来なかったことに関しては後から企業に確認を行った。
- ・ 企業への応募、面接の際には、求職者の配慮希望事項などを事前に企業に説明し、配慮できる内容かどうかを確認した。
- ・ 企業、求職者の双方が希望する際には見学や就労体験などを実施し、実際に働けるかを判断できる機会を提供した。
- ・ 履歴書の作成を支援する場合は職務経歴を聞き取り、勤務期間や志望動機が空欄とならないように努めた。
- ・ 企業によっては職務経歴書を求められるケースもある。作成する際には書き方に慣れていない求職者も多いため、フォーマット等を用意し書類の作成を支援した。職務経歴が少ない求職者の場合、得意分野等を記載するように努めた。
- ・ 就労体験については、期間をある程度定めて行う。企業によって様々ではあるが体験時の給与については、在籍している支援機関がある場合は支援機関の給与受取りにより支援への支障がないか十分な確認を行う。
- ・ 就職活動を行うにあたって、障がい手帳を取得している求職者が職業紹介機関より求人票の紹介を受ける際には主治医意見書が必要とされる場合がある、主治医意見書の発行は自己負担となるため、注意が必要である。

④ 【入社支援】

- ・ 入社前に必要な書類の作成支援
- ・ 採用時の勤務時間や日数の条件調整

- ・入社前ヒアリングを実施

○ポイント

- ・入社決定後は、働き方や勤務時間、勤務日数などの調整、確認を企業と就労決定者の間に入って行った。
- ・労働条件通知書により、就労条件、働き方に相違がないか改めて確認を行った。(定期通院の有無や身体的に難しい動作など)
- ・入社前の懸念点などを聞き取り、企業と事前に打ち合わせを行うことで不安の軽減に努めた。

⑤ 【定着支援】

- ・定期的（要望あれば随時）に対面や電話でのヒアリングを実施
- ・職場訪問を実施
- ・企業へ勤務状況の聞き取りを実施
- ・必要に応じて企業と就労者の間に入って調整

○ポイント

- ・ヒアリングは、今まで支援を行っている者が就労開始後2週間程度に1回、その後は就労者、企業と調整の上、定期的（要望あれば随時）に行うことで、不安を軽減し、企業への定着をサポートした。
- ・ヒアリングでは、現在の勤務形態や働き方に関して確認を行い、対人関係など職場環境や仕事内容に関する困りごとがないか確認した。
- ・困りごとがあった際に就労者が一人で悩まないよう、定着支援の内容を説明し、定期的（要望あれば随時）支援ができる体制を整えた。
- ・職場訪問では、就労者が働いている様子、既存のスタッフが指導を行う中で困っていること、現場での意見などを確認し、必要に応じて職場環境の改善案の相談や就労者への助言を行った。
- ・企業と就労者との間で要望や不満があっても、直接話しづらいことを考慮し、場合によっては、間に入って調整できる事を伝えた。
- ・業務に慣れ、就労者の意向と企業の意向が一致すれば、勤務時間の拡大や、業務の幅を広げていくことによるステップアップを促した。

⑥ 【フィードバック支援】

- ・採用まで至らない場合、現在の求人の情報を踏まえて、求職条件の見直しを検討し、添削支援を実施

○ポイント

- ・落選の結果を伝える際は、必ず次の選考への対応策や今後の求人の選び方の参考になる内容とした。

(2) モデル地域別の状況

① 飯塚市

ア 飯塚市の特徴

平成 18 年 3 月 26 日に 1 市 4 町（飯塚市、穂波町、筑穂町、庄内町、顛田町）が合併し誕生

面積：213.96 km²で福岡県のほぼ中心に位置

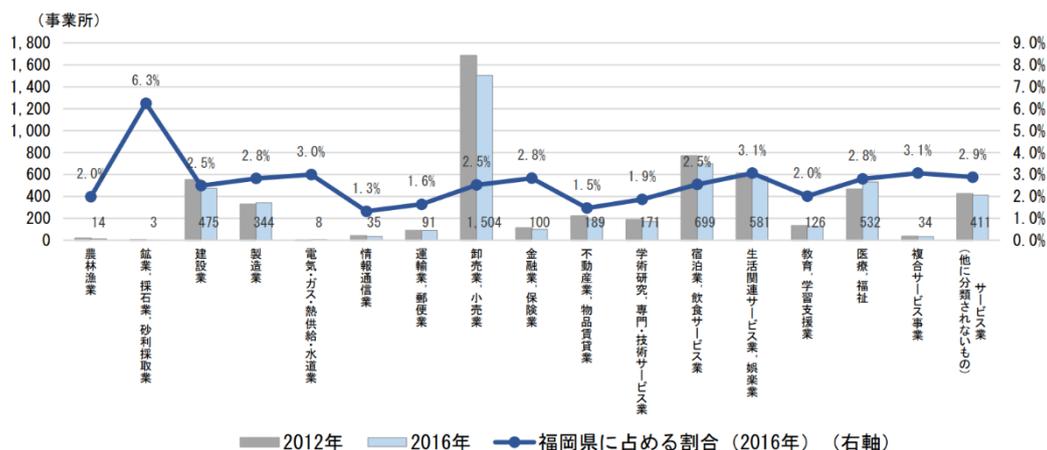
人口：126,364 人（令和 2 年 10 月 1 日現在）

性別：男性 60,174 名 女性 66,190 名 総世帯数 55,762 世帯

年代：15 歳未満 12.8% 15～64 歳 58.2% 65 歳以上 29.1%

※令和 2 年国政調査（飯塚市 HP から引用）

※飯塚市の企業分布（第 2 期 飯塚市産業振興ビジョン 2023～2027 年より抜粋（図 11））



イ 令和 5 年度の取組結果

【説明会】	企業	48社	(令和4年度36社(2回開催) 令和5年度12社(1回開催))
	求職者	79名	(令和4年度57名(4回開催) 令和5年度22名(2回開催))
【事業利用者】	企業	31社	(令和4年度16社 令和5年度15社(昨年度より7社継続))
	求職者	27名	(令和4年度8名 令和5年度19名(昨年度より3名継続))
【就職者】		4名	(令和4年度2名 令和5年度2名)
【その他】	モデル事業以外での就職	5名	

(ア) 企業に対する取組

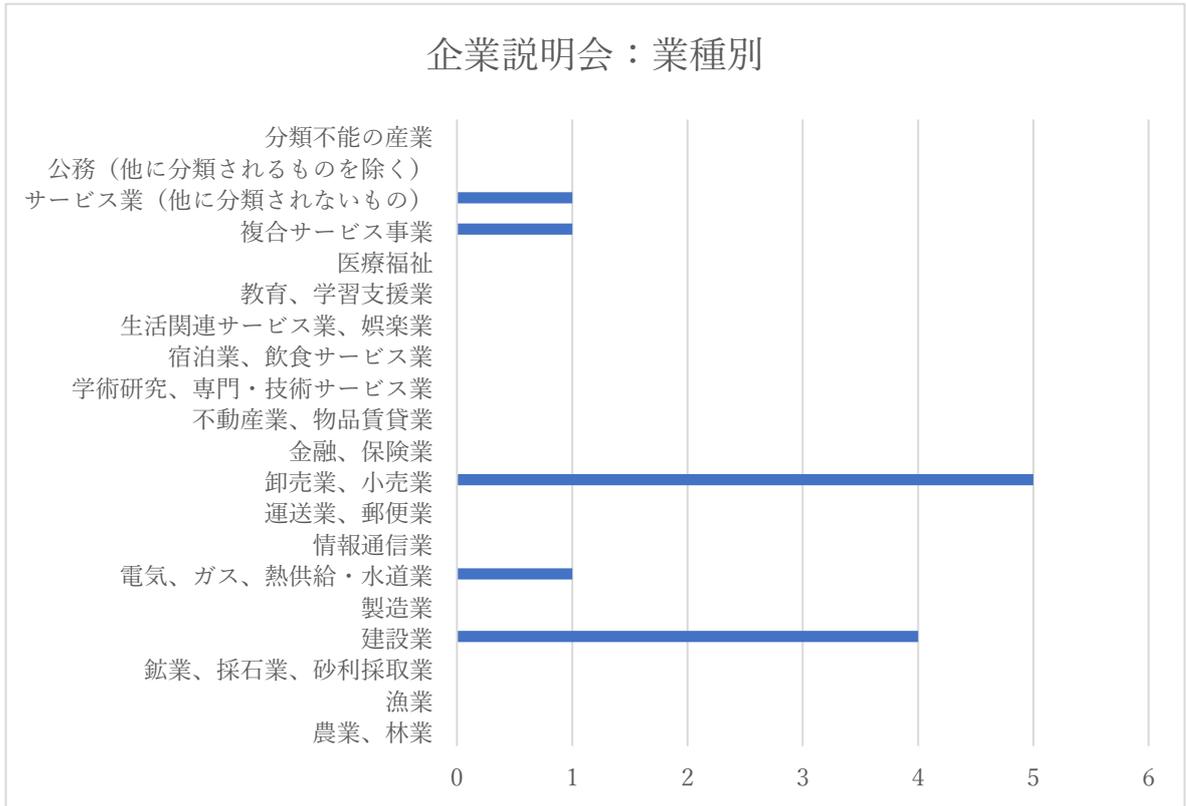
a 説明会開催（12社参加、うち1社事業利用登録）

○飯塚市 企業説明会（2023年9月6日）

・会場 飯塚市役所

・参加企業 12社（会場13名、オンライン1名）

◆飯塚市企業説明会の業種別分布（図12）



(企業説明会の様子)



b 個別開拓（19社訪問、うち8社求人登録）

- ・モデル事業参加のためのチラシ（図13）を作成し、反応があった企業に対して直接訪問し事業説明を行った。
- ・ハローワーク飯塚でのチラシの配架
- ・商業施設でのチラシの掲示
- ・飯塚商工会議所の会報誌への掲載依頼
- ・飯塚商工会の所報への掲載依頼
- ・飯塚市の広報紙に説明会の情報を掲載し、求人企業の開拓を行った。

◆飯塚市での企業募集のチラシ（図13）

c 個別支援（15社）

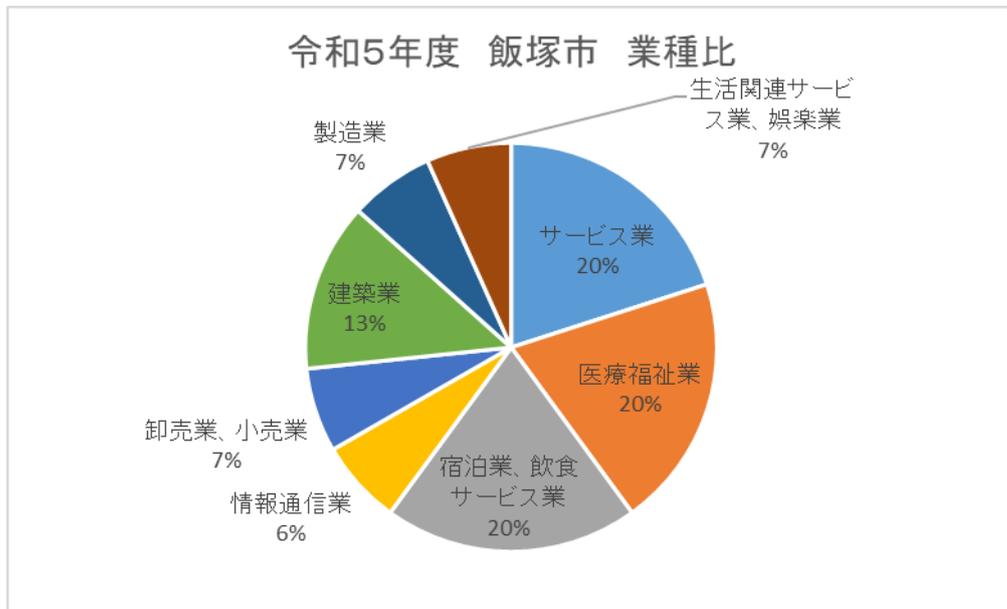
- ・モデル事業利用登録があった15社に対して実施した。
- ・仕事内容を分析し、仕事を明確化し、短時間での働き方を企業へ提示することで、短時間求人業務の登録に繋がった。
- ・企業の困りごとは様々なものがあったが、多くの企業が人手不足に悩みを抱えている中、短時間雇用を取り入れている企業は少なく、現在の被雇用者のほとんどが、専門的知識や経験が必要な仕事と補助的な業務を兼用しながら行っている現状だった。

【事業利用企業】 15 名

【雇用決定企業】 3 社

詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状況	企業名	業種	事例記載
飯塚市	求人登録済 雇用決定	小黑食堂	宿泊業、飲食サービス業	○
		社会福祉法人 新光会 デイサービスセンターわかな	医療福祉業	○
		九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店	宿泊業、飲食サービス業	○
	求人登録済 未雇用	有田工業株式会社	建築業	○
		特定非営活動法人AFO	医療福祉業	○
		赤間登記測量事務所	サービス業	○
		有限会社深田環境衛生	サービス業	○
		イオン九州株式会社 イオン穂波ショッピングセンター	卸売り業、小売業	○
		株式会社 福岡ソフトウェアセンター	情報通信業	○
		揚げ処えびるす	宿泊業、飲食サービス業	○
		直鞍商工企業組合 飯野銘木店	製造業	○
		麻生メディカルサービス株式会社	医療福祉業	○
		株式会社 双一開発	建築業	○
		株式会社A-POST	サービス業	○
		株式会社メモリード筑豊事業部	生活関連サービス業、娯楽業	○
支援企業計		15社		



企業名	小黑食堂
所在地・業種	飯塚市・宿泊業、飲食サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2014年 従業員数：18名 事業内容：事業所向け弁当の製造と販売
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	人員募集を行う中で、賃金を求める人が少なく、業務時間が公共交通機関の稼働していない早朝時間などでの業務であることから人手不足に困っていた。新たな求人募集の方法として週20時間未満でも人員の補充を検討することとした。
支援内容	<p>相談支援：早朝（5時）の弁当作り作業に慢性的な人手不足を抱えており、公共交通機関がないことから、自家用車などの通勤可能な求職者を求めていることを確認した。</p> <p>業務切り出し支援：業務内容を聞き取り、調理補助の業務を切り出した。</p> <p>求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。</p> <p>求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。</p> <p>採用支援：職場見学・体験を実施し働き方や勤務時間などを企業と求職者の間に立って調整を行った。</p> <p>定着支援：電話、訪問にて状況の確認、アドバイスを実施した。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容：弁当の盛り付け業務 週3日（月、火、金）、5:00～8:00までの3時間</p> <p>○効率的にマッチングができた。 自ら求人に応募しても応募者が少ない中、採用支援を受けたことで応募希望者が見つかり、業務内容を調整することでマッチングに繋がった。</p> <p>○一時的ではあったが企業の人手不足の解消に繋がった。 <雇用内容> 求職者 I-003（高齢、身体不調（持病、屈む動作困難）） 時間：R5.7.4～R6.7.3 就労時間5:00～8:00で3時間程度 ※R5.10.1で自己都合退職 業務内容：弁当の盛り付け</p>

企業名	社会福祉法人 新光会 デイサービスセンター わかな
所在地・業種	飯塚市・医療福祉業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2010年 従業員数：15名 事業内容：要支援、要介護の方を対象に、日帰りで、「食事」「入浴」「機能訓練」「レクリエーション」などを提供
紹介機関	なし
支援経緯	慢性的な介護スタッフ（有資格者）の人手不足に困っていたため、令和4年度から引き続き事業へ参加した。
支援内容	相談支援：デイサービスセンターの慢性的な人材不足で、繁忙時間があり、短時間でも業務をサポートしてくれる人材を求めていることを確認した。 業務切り出し支援：入浴補助業務、送迎運転手の業務を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。 採用支援：職場見学・体験を実施し働き方や勤務時間などを企業と求職者の間に立って調整を行った。障がいを抱えた方の雇用に関してはコミュニケーションについてアドバイスを行った。 定着支援：電話、訪問にて就労状況を確認し、企業の意向を確認した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：入浴介護 週3～5日程度 9:30～10:30 業務内容②：送迎員 週5～6日程度 8:30～9:30 ○企業の人手不足の解消に繋がった。 <雇用内容> 求職者 I-010（障がい（聴覚障がい）） 時間：週5日・1時間/日（9:30～10:30） 仕事内容：施設利用者の入浴介助補助。 ○障がいを抱えた方に配慮した職場づくりができた。 聴覚障がいの求職者と企業の間に入り、現場スタッフに労働条件を含む配慮事項の周知と一連の説明と体験を実施することで、現場での不安を軽減できた。 また、筆談環境整備及び防水対策を行った携帯アプリによるコミュニケーション対応等の導入支援を行い、円滑にコミュニケーションができるようにした。

企業名	九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店
所在地・業種	飯塚市・宿泊業、飲食サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1994年 従業員数：7名 事業内容：九州筑豊ラーメン山小屋のフランチャイズチェーンとして、飲食サービスの提供
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	サービス提供を行うスタッフが不足しており、シフトを組む際に苦勞していたところ、飯塚市から案内があり、モデル事業を知った。求人を募集していたが応募がなく、短時間の雇用で補助業務や繁忙期などサポートしてもらおうことで、人手不足の解消が出来るのではないかと思ひ、事業に参加した。
支援内容	相談支援：企業に人手不足で困っている業務内容を聞き取った。 業務切り出し支援：食器引き、食器洗淨、片付けの3つの業務に切り出した。 求人情報作成支援：切り出した業務に係る企業の採用条件を確認し、求人票を作成代行、従業員へのインタビューを行い、長年勤務している高齢者が在籍している事をPRポイントとする求職者説明会用の仕事カタログを作成した。 求人情報提供支援：仕事カタログの内容を企業に代わって説明会で説明した。 採用支援：面接時に作業を体験し、求職者が実際の業務負荷に耐えられるか、確認の場を設置できるよう提案した。 定着支援：就労者に聞き取りを行い、就労を行う上で生じた身体的問題、精神的な問題に対して、業務を行う上での工夫などの支援を企業に代わって行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：食器洗淨 週3～5日程度 4時間勤務（勤務日数、時間に関しては要相談） 業務内容②：机の清掃 週3～5日程度 4時間勤務（勤務日数、時間に関しては要相談） 業務内容③：商品提供 週3～5日程度 4時間勤務（勤務日数、時間に関しては要相談） ○企業の人手不足の解消に繋がった。 <雇用内容> 求職者I-001（身体不調（手足のしびれ）、家族の介護） 時間：R5.1.10～R6.1.9 現在・週3日・4時間/日 仕事内容：食器洗淨、補助業務 求職者I-002（高齢、病院通院、体力不安） 時間：R5.1.16～R6.1.15 現在・週5日・4時間/日 仕事内容：食器の片づけ、補助業務（サービス時の料理の提供、配膳作業） ○求職者と企業 mismatchesを防ぐことが出来た。 就職直後から定着支援を行うことで、業務の幅や時間に関しても適宜調整を行い求職者と企業 mismatchesを防ぐことが出来、雇用が継続できた。

企業名	有田工業 株式会社
所在地・業種	飯塚市・建築業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1965年 従業員数：4名 事業内容：土木、鳶土木が主体
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	当協同組合との繋がりから、モデル事業を知り参加した。 飯塚地域で週20時間未満就労という支援があることを知り、初めて週20時間未満就労で雇用を検討することとした。
支援内容	相談支援：依頼したい業務として環境整備、調理補助を検討した。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、調理補助の業務から業務内容を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法など助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容：施設での調理補助業務 週4日程度 8:00～13:00

企業名	特定非営利活動法人AFO
所在地・業種	飯塚市・医療福祉業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2010年 従業員数：8名 事業内容：就労困難な方々の一般企業に就職するための支援
紹介機関	令和4年度モデル事業参加企業
支援経緯	昨年度登録を行っていた企業から紹介があり、支援員の募集をかけているが、応募がない状況であったため、モデル事業へ参加した。
支援内容	相談支援：福祉従事者の人手不足が企業の課題であることを確認した。 業務切り出し支援：業務内容を聞き取り、相談を行う中で、支援員の補助業務として週20時間未満の求人を作り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <作り出した業務内容> 業務内容①：就労困難者の支援、サポート（履歴書や面接、一般常識の指導補助） 週4日程度 9:00～15:00の間の5時間程度 業務内容②：児童養護施設出身の利用者様の生活や就職のサポート業務 週4日程度 9:00～15:00の間の5時間程度

企業名	赤間登記測量事務所
所在地・業種	飯塚市・サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1957年 従業員数：2名 事業内容：土地の境界を確定したり土地の分筆登記や合筆登録申請の代理事業。
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	当協同組合との繋がりから、モデル事業を知り説明会へ参加した。 地域環境整備に取り組んでいる中で、自社周辺の花壇整備等を行うスタッフを募集しており事業へ参加した。
支援内容	相談支援：事業所内、事業所周辺の定期的な環境整備を必要としていることを確認した。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、花壇整備と事務所内清掃の仕事を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容：事務所内の環境整備、建物内、外の清掃等 週1日程度 10:00～15:00の間の2時間程度（時間や勤務日数などに関しては対話により決定します。）

企業名	有限会社 深田環境衛生
所在地・業種	飯塚市・サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2000年 従業員数：30名 事業内容：地域の一般廃棄物収集・運搬
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	当協同組合との繋がりから、モデル事業を知り、グループ企業を含めた職員の業務軽減に繋がる補助業務で雇用できればと考え、説明会へ参加した。
支援内容	相談支援：地域の環境整備に関する業務を行っており、週20時間未満の働き方が、業務とマッチする可能性について相談した。 業務切り出し支援：グループ企業内にて本事業を通じて補助業務を検討する中で、職員への聴き取り、切り出す作業内容に関して企業にも協力を頂きながら支援を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。

企業名	イオン九州株式会社 イオン穂波ショッピングセンター
所在地・業種	飯塚市・卸売り業、小売業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1927年 従業員数：303名 事業内容：食料品、衣料品、日用雑貨、自転車、お酒、医療品などの販売
紹介機関	福岡県（新雇用開発課）
支援経緯	福岡県の包括提携協定企業であることから、県と協働して、イオン九州本部に訪問し事業説明を行ったのち、実施地域にあるイオンモール穂波ショッピングセンターを訪問し事業内容を説明した結果、事業に参加した。
支援内容	相談支援：継続的に実施している求人内容を元に、業務の細分化を行った。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、通常求人募集を行っている、青果、惣菜、精肉の業務から裏方の業務を中心に業務を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：スーパーマーケットの惣菜担当（野菜・果物販売加工） 週3～5日程度 8:00～18:00の間の4時間程度（時間に関しては要相談） 業務内容②：スーパーマーケットの惣菜担当（惣菜売場調理） 週3～5日程度 8:00～18:00の間の4時間程度（時間に関しては要相談） 業務内容③：スーパーマーケットの惣菜担当（精肉売場調理） 週3～5日程度 8:00～18:00の間の4時間程度（時間に関しては要相談）

企業名	株式会社 福岡ソフトウェアセンター
所在地・業種	飯塚市・情報通信業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2000年 従業員数：30名 事業内容：システム開発、ネットワーク事業、IT技術者向けの研修、一般向け研修事業、実践指導室提供事業、人材紹介・派遣事業
紹介機関	飯塚市（経済政策推進室）
支援経緯	令和4年度に飯塚市役所から同市で就労支援事業を行う企業として紹介され、モデル事業を遂行する上で様々なアドバイスを受けていた。加えて、様々な人材を発掘する目的から事業に参加した。
支援内容	相談支援：地域のイベントや既存業務の補助としてモデル事業を利用できないか検討した。 業務切り出し支援：企業として様々な業務内容を有しており、モデル事業の状況を共有、アドバイスを頂きながら、モデル事業とマッチする業務を検討した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。

企業名	揚げ処 えびるす
所在地・業種	飯塚市・宿泊業、飲食サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2015年（移転リニューアルオープン） 従業員数：1名 事業内容：飲食サービスの提供
紹介機関	飯塚商工会議所
支援経緯	飯塚商工会議所の所報の折込チラシを見て、慢性的な繁忙営業時間帯での人手不足の課題軽減のため、事業に参加した。
支援内容	相談支援：繁忙時間は、昼・夜部の双方であったが、昼の業務から検討した。 業務切り出し支援：繁忙時間は、幅広い業務意向であったが、具体的細分化提案を行う事で検討した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。

企業名	直鞍商工企業組合 飯野銘木店
所在地・業種	飯塚市・建築業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1953年 従業員数：20名 事業内容：地域の一般廃棄物収集・運搬
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	当協同組合との繋がりから、モデル事業を知り、住宅リフォームに於いて、利益の兼合いから少人数による日ごと現場移動可能な人材募集を行っていることから、説明会へ参加した。
支援内容	相談支援：専門的な技術を有している求職者を探しており、相談した。 業務切り出し支援：求人内容を検討するもモデル地域内での業務が現状ないことからモデル事業の利用を中断した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。

企業名	麻生メディカルサービス株式会社
所在地・業種	飯塚市・医療福祉業
設立年・従業員数・業務内容	<p>設立年：2000年 従業員数：178名</p> <p>事業内容：福祉用具販売、レンタル、住宅改修、義肢装具の製造販売、ケアプランセンター、訪問看護、訪問介護、通所介護、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅</p>
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	令和4年度に引き続き事業へ参加。介護関係の有資格者を募集しているが、資格を有していても介護業界のイメージからか、別の業務を希望される方も多く、慢性的な人手不足が続いているため、事業に参加した。
支援内容	<p>相談支援：企業が募集する要件として有資格者であることが求められた。相談を行う中で有資格者の補助業務に加え、資格を有しなくても可能な業務を検討した。</p> <p>業務切り出し支援：業務内容について施設の夜間宿直の補助業務を検討した。</p> <p>求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p>様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。</p>

企業名	株式会社 双一開発
所在地・業種	宮若市・建築業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1977年 従業員数：21名 事業内容：土木工事の施工全般、住宅や公共施設などの建築計画施工
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	組合コーディネーターからの事業の紹介を受け、作業現場や事務所周辺の環境整備や会社施設内の宿直管理を検討し、事業へ参加した。
支援内容	相談支援：専門的な技術を有している求職者を探していることを確認した。 業務切り出し支援：求人内容を検討するもモデル地域内での業務が現状ないことからモデル事業の利用を中断した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。

企業名	株式会社 A-POST
所在地・業種	飯塚市・サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2017年 従業員数：19名 事業内容：ポスティング事業を中心にチラシのデザイン、印刷、便利屋事業
紹介機関	飯塚商工会議所
支援経緯	飯塚商工会議所の所報の折込チラシを見て、モデル事業を知った。事務スタッフを募集しており週20時間未満であっても企業戦力となると考えられたため、事業へ参加した。
支援内容	相談支援：当初、事務作業での人手不足の相談であった、事務作業の業務を明確化させていくと共に、同企業で行っているポスティング業でも人手があればとの意見もあり、ポスティングでの業務も検討した。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、事務スタッフ、ポスティングスタッフの業務を切り出した。ポスティング業務では歩合制で行っているが、モデル事業にあわせて時給制を検討した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。 採用支援：職場見学を実施し、採用可否の判断できる機会を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：事務スタッフ 週3～5日程度 9:00～16:00の間の5時間程度 業務内容②：ポスティングスタッフ 週3日以上 9:00～16:00の間の5時間程度

企業名	株式会社メモリード 筑豊事業部
所在地・業種	飯塚市・生活関連サービス業、娯楽業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1969年 従業員数：35名 事業内容：冠婚葬祭事業
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	敷地内の環境整備を定期的に行う人員を募集しており、組合コーディネーターからの事業の紹介を受け参加した。
支援内容	相談支援：業務内容を聞き取り、幅広い業務の中から人手不足の業務を確認した。 業務切り出し支援：日常的に手の回らない作業として、式場及び建物敷地内の電球交換や草刈りなどの保守業務を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容：葬祭場・結婚式場の各種作業（保守管理）及びサポート業務 週3～4日程度 9:00～17:00の間の5時間程度

(イ) 求職者に対する取組

a 説明会開催 (22 名参加) (7 名登録)

○飯塚市第 1 回求職者説明会 (求職者) (2023 年 7 月 5 日)

・会場 飯塚市役所

・参加者 14 名 (対象求職者 8 名、支援者 6 名) (4 名登録)

(会場 14 名、オンライン 0 名)

○飯塚市第 2 回求職者説明会 (求職者) (2023 年 11 月 8 日)

・会場 飯塚市役所

・参加者 8 名 (対象求職者 7 名、支援者 1 名) (3 名登録)

(会場 8 名、オンライン 0 名)

(飯塚市求職者説明会の様子)



b 支援機関説明会 (支援機関等 66 か所説明)

○支援機関説明会 (2023 年 5 月 26 日)

・会場 Web 開催

・参加者 69 名

c 個別面談会 (2 名登録)

○第 1 回 飯塚市 個別面談会 (2023 年 7 月 5 日)

・会場 飯塚市役所

・参加者 5 名

○第 2 回 飯塚市 個別面談会 (2023 年 10 月 5 日)

・会場 ハローワーク飯塚

・参加者 2 名 (2 名登録)

○第 3 回 飯塚市 個別面談会 (2023 年 11 月 8 日)

・会場 飯塚市役所

・参加者 5 名

d 個別開拓（支援機関等68か所説明）（10名登録）

- ・福岡県若者自立支援機関連携会議（令和5年7月27日）にてモデル事業の概要の説明を行った。
- ・ハローワーク飯塚でのチラシ配架
- ・飯塚市の広報紙に説明会・相談会の情報を掲載し求職希望者の開拓を行った。
- ・各支援機関及び関係機関へ定期的に訪問し現在の進捗状況と説明を行った。
- ・求職者募集に対するチラシ（図14）を作成し、関係機関に配付し説明を行うことで事業の周知を行った。
- ・希望があった求職者に関しては個別に面談を実施した。（10名実施）（10名登録）

◆飯塚市の求職者募集チラシ（図14）

e 個別支援（19名の求職者に対して実施した。）

【面談実施者】	20名
【事業利用者】	19名
【就 職 者】	4名
【そ の 他】	モデル事業以外での就職 5名

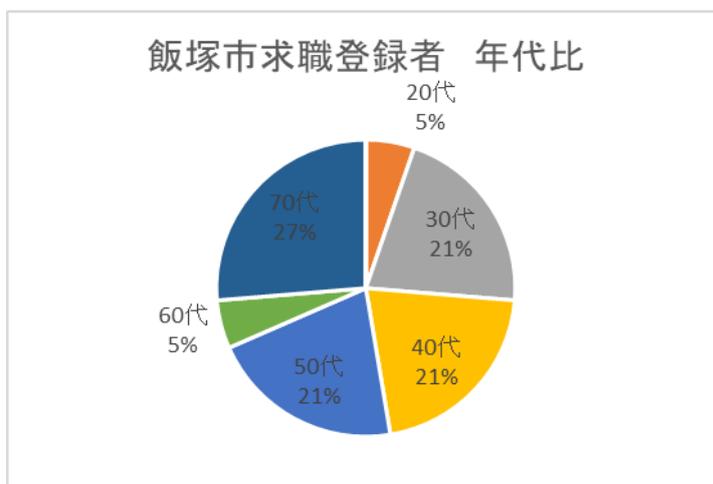
- ・飯塚地域で本事業を利用した方の属性に偏りはなく、一人ひとりに合わせた個別の支援が必要であった。
- ・事業利用者からは短時間の就労であるため、病院への定期的な通院や日常生活との両立ができるとの喜びの声があった。
- ・また、面接への同行、就労後の相談環境がとても安心でき心強いとの声があり、結果、本人の状況に合わせた就労に繋がった。
- ・定着支援では、企業と連携し入社後も支援を行うことで、継続して就労を行うことができおり、働き方や仕事の幅なども随時広げていくことができた。

詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状態	記号	性別	参加理由	事例掲載
飯塚市	求職登録済 採用決定(マッチング)	I-001	男性	飯塚市役所チラシを見て参加	○
		I-002	女性	飯塚市役所に来られた際にチラシを見て参加	○
		I-003	女性	飯塚市の広報誌を見て参加	○
		I-010	男性	福岡県自立相談支援事業所(遠賀郡・鞍手群)より紹介	○
	求職登録済、未採用	I-004	男性	飯塚市生活自立支援相談室より紹介	○
		I-005	女性	子育て就職支援センターのチラシを見て参加	○
		I-006	女性	福岡県のLINEをみて参加	○
		I-007	女性	子育て就職支援センターからの紹介	○
		I-008	女性	子育て就職支援センターからの紹介	○
		I-009	男性	NPO法人嘉飯山ネットBASARAより紹介	○
		I-011	女性	NPO法人嘉飯山ネットBASARA 飯塚市、嘉麻市、桂川町障がい者機関相談支援センターより紹介	○
		I-012	女性	市で作成されている広報いづかを見て参加	○
		I-013	女性	福岡県就労支援協同組合の紹介にて参加	○
		I-014	女性	筑後若者サポートステーション	○
		I-015	男性	NPO法人嘉飯山ネットBASARA	○
		I-016	男性	自立支援相談窓口からの紹介	○
		I-017	女性	飯塚市の広報誌を見て参加	○
		I-018	女性	生涯現役チャレンジセンターから紹介	○
		I-019	男性	宮若市 自立相談支援室から紹介	○
支援求職者計		19名			

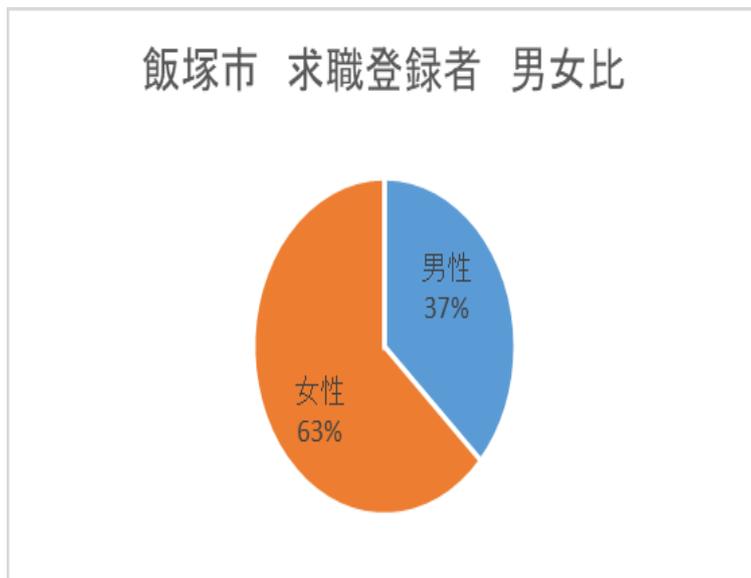
【年代別】

- 10代：0名
- 20代：1名
- 30代：4名
- 40代：4名
- 50代：4名
- 60代：1名
- 70代：5名
- 80代以上：0名



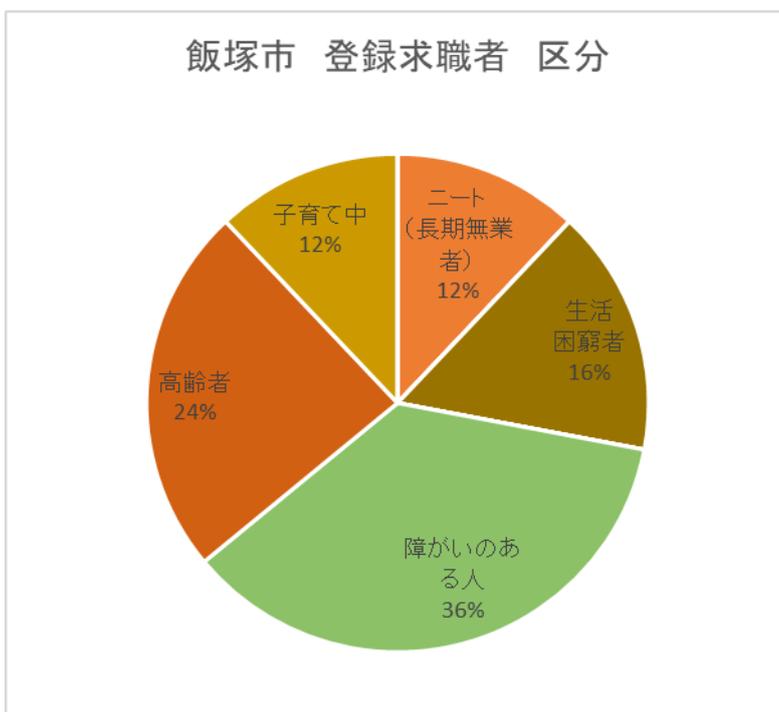
【性別】

男性：7名
女性：12名



【年代別】

ニート（長期無業者）：3名
ひきこもり：0名
難病患者：0名
がん患者：0名
生活困窮者：4名
刑余者：0名
犯罪被害者：0名
非行少年：0名
障がいのある人：9名
高齢者：5名
子育て中の男性・女性：3名
ひとり親：0名



※複数の要因がある場合にはそれぞれの項目にてカウント。

年齢・性別・区分	【I-001】 50代 男性 長期無業者・身体的疾患（手足の痺れ）
紹介機関	なし
支援経緯	福岡県が主催する正社員チャレンジプログラムに参加し、仕事を探していたが、勤務可能な求人が少なく、また選考落選が続いていた中、飯塚市役所でチラシを見てモデル事業に参加した。
現在の状況	飲食店にて1年間の契約満期終了後、雇用継続となっている。
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。 定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票作成支援、履歴書の添削・確認を行った。 求人内容に添った配慮事項等のヒアリング等を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 面接同行、面接同席。職場見学実施、就労体験の実施。面接日程調整、選考企業へ希望条件の周知した。</p> <p>入社支援 : 内定に伴う勤務日数の交渉。入社時に必要な備品支給の交渉。</p> <p>定着支援 : 電話による就業状況の確認。実際に働いてみた状況をヒアリングし業務過負荷にならないよう、企業と調整。職場訪問を実施した。</p>
効果	<p>○求職者の就労希望を叶えることができた。</p> <p><勤務内容> 企業名 : 九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店 期間・時間 : R5.1.10～R6.1.9 ・週3日・4時間/日 仕事内容: 食器洗浄、補助業務 (飲食サービスで使用した食器を食洗器などを使い洗う)</p> <p>○求職者と企業とのミスマッチを防ぐことが出来た。</p> <p>・働きづらさとして、半身麻痺があり、これまでに冷水を使い過ぎて血流が悪くなり痺れが出たり、食器を運ぼうとして皿を割ったりしてしまうなどの状況も見られた。これらに対しては、冷水を使う際にはゴム手袋を使うことや、食器を運ぶ際には、重たい物や液体が入っている物などは不安定になることが多いため、食器を下げるなどの業務を中心に行うなどの勤務形態や職場環境を調整するなどの定着支援を行うことで、継続した就労が行えた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目と2回目の比較</p> <p>2022/12/21 (Blue line) vs 2024/1/24 (Red line)</p>

年齢・性別・区分	【I-002】 70代 女性 高齢者																																																			
紹介機関	なし																																																			
支援経緯	既存の職業紹介を利用し、仕事を探していたが、高齢による身体不調や、病院への通院などにより日常生活との両立が難しかった。市役所に別用で来た時に、偶然説明会のことを知り、相談が出来ればと思い参加した。																																																			
現在の状況	飲食店にて1年間の契約満期終了後、雇用継続となっている。																																																			
支援内容	<p>相談支援 : 各週希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。 定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認支援。職場見学を行った。 求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 企業への求人内容の再確認と伴に応募についての個別支援を行った。</p> <p>入社支援 : 労働条件内容を企業と伴に確認支援、入社日の相談調整を行った。 入社待機期間中のフォローを行った。</p> <p>定着支援 : 電話による就業状況の確認を行った。 現状作業のヒアリングと今後の作業内容及び労働時間など雇用主との適宜調整を行った。 職場訪問実施、就業状況の確認を行った。</p>																																																			
効果	<p>○求職者の就労希望を叶えることができた。</p> <p><勤務内容></p> <p>企業名 : 九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店</p> <p>期間・時間 : R5.1.16~R6.1.15 ・週5日・4時間/日</p> <p>仕事内容: 食器の片づけ、補助業務(サービス時の料理の提供、配膳作業)</p> <p>・飲食店にて食器片づけの業務、一日4時間の週5日にて就労を開始。仕事の時間も本人と企業に調整を行う中で増え、就労開始時の契約であった1年間の契約期間満了後、契約更新となった。現在は働く時間や業務の幅を増やしていきたいとの意向もあり、自ら企業と調整を行うなどの様子も見られてきている。現在は定着支援の必要性はないと思われるレベルであり、今後週20時間以上の勤務を行う予定である。</p>																																																			
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目と2回目の比較</p> <table border="1"> <caption>自己評価の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2022/12/21</th> <th>2024/1/19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活リズムの改善</td><td>3.5</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>マナーの向上</td><td>3.0</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>2.5</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>2.0</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>計画づくりや目標設定の改善</td><td>1.5</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>1.0</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>状況把握能力の向上</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>自己肯定感・自尊感情の向上</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>計画づくりや目標設定の改善</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> </tbody> </table>	項目	2022/12/21	2024/1/19	生活リズムの改善	3.5	4.0	マナーの向上	3.0	3.5	体力・健康の改善	2.5	3.0	ストレスコントロールの改善	2.0	2.5	計画づくりや目標設定の改善	1.5	2.0	コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5	対人関係の改善	0.5	1.0	状況把握能力の向上	0.5	1.0	対人スキルの向上	0.5	1.0	自己肯定感・自尊感情の向上	0.5	1.0	対人スキルの向上	0.5	1.0	対人関係の改善	0.5	1.0	コミュニケーション能力の向上	0.5	1.0	計画づくりや目標設定の改善	0.5	1.0	ストレスコントロールの改善	0.5	1.0	体力・健康の改善	0.5	1.0
項目	2022/12/21	2024/1/19																																																		
生活リズムの改善	3.5	4.0																																																		
マナーの向上	3.0	3.5																																																		
体力・健康の改善	2.5	3.0																																																		
ストレスコントロールの改善	2.0	2.5																																																		
計画づくりや目標設定の改善	1.5	2.0																																																		
コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5																																																		
対人関係の改善	0.5	1.0																																																		
状況把握能力の向上	0.5	1.0																																																		
対人スキルの向上	0.5	1.0																																																		
自己肯定感・自尊感情の向上	0.5	1.0																																																		
対人スキルの向上	0.5	1.0																																																		
対人関係の改善	0.5	1.0																																																		
コミュニケーション能力の向上	0.5	1.0																																																		
計画づくりや目標設定の改善	0.5	1.0																																																		
ストレスコントロールの改善	0.5	1.0																																																		
体力・健康の改善	0.5	1.0																																																		

年齢・性別・区分	【I-003】 70代 女性 高齢者																																																			
紹介機関	なし																																																			
支援経緯	生涯現役チャレンジセンターやハローワークなどで就職活動を行っていたが、高齢であることや現在アルバイトとして勤務している職場とのダブルワークができる職場を希望しており、就労には至っていなかった。市役所に別の用事で来た際に事業を知り参加。																																																			
現在の状況	モデル事業で飲食店に就職。その後約3か月で退職。 その後自己開拓にて介護職に就職。																																																			
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。 定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 職場見学・体験支援を行った。</p> <p>入社支援 : 労働条件内容を企業と伴に確認支援、入社日の相談調整支援。 入社待機期間中のフォローを行った。</p> <p>定着支援 : 現状作業のヒアリングと今後の作業内容及び労働時間など 雇用主との適宜調整を行った。 職場訪問実施、就業状況の確認を行った。</p>																																																			
効果	<p>○求職者の就労希望を叶えることができた。 <勤務内容> 企業名 : 小黒食堂 期間・時間 : R5.7.4~R6.7.3 就労時間5:00~8:00で3時間程度 ※私用の理由により、10月1日をもって就労終了 業務内容 : お弁当の盛り付け</p> <p>○効率的にマッチングができた。 ・職場体験を行う中で、業務終盤に屈みでの作業は身体的に難しいことがわかった。体験終了後、企業に相談し、就業開始時間を1時間早め別の作業を行うことで、屈む作業を業務内容から除く求人内容に修正し、再度体験を実施しできることを確認することで、応募前、雇用前の不安の軽減に努めた。</p> <p>○求職者と企業のミスマッチを防ぐことが出来た。 ・電話でのヒアリングや企業訪問を行っており、働くうえで発生する悩みに関して聞き取りアドバイスをを行うことで、入社後の不安も軽減した。</p> <p>○働きづらさを抱える人の就労意欲が高まった。 ・入社3か月程度で、自己都合に伴う退職となったが、働けたことで自信が付き、その後も体調に合わせて就職できる場所があれば探していきたいとの意向も聞かれた。</p>																																																			
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目と2回目の比較</p> <table border="1"> <caption>自己評価の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2023/7/5</th> <th>2024/1/19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活リズムの改善</td><td>2.5</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>マナーの向上</td><td>2.0</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>1.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>計画づくりや目標設定の改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>状況把握能力の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>自己肯定感・自尊感情の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>働く意欲の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>働く自信の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>実行力の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>求職活動状況の改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>雇われ機会の拡大</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>知識や技術の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> </tbody> </table>	項目	2023/7/5	2024/1/19	生活リズムの改善	2.5	3.5	マナーの向上	2.0	3.0	体力・健康の改善	1.5	2.5	ストレスコントロールの改善	1.0	2.0	計画づくりや目標設定の改善	1.0	2.0	コミュニケーション能力の向上	1.0	2.0	対人関係の改善	1.0	2.0	状況把握能力の向上	1.0	2.0	対人スキルの向上	1.0	2.0	自己肯定感・自尊感情の向上	1.0	2.0	働く意欲の向上	1.0	2.0	働く自信の向上	1.0	2.0	実行力の向上	1.0	2.0	求職活動状況の改善	1.0	2.0	雇われ機会の拡大	1.0	2.0	知識や技術の向上	1.0	2.0
項目	2023/7/5	2024/1/19																																																		
生活リズムの改善	2.5	3.5																																																		
マナーの向上	2.0	3.0																																																		
体力・健康の改善	1.5	2.5																																																		
ストレスコントロールの改善	1.0	2.0																																																		
計画づくりや目標設定の改善	1.0	2.0																																																		
コミュニケーション能力の向上	1.0	2.0																																																		
対人関係の改善	1.0	2.0																																																		
状況把握能力の向上	1.0	2.0																																																		
対人スキルの向上	1.0	2.0																																																		
自己肯定感・自尊感情の向上	1.0	2.0																																																		
働く意欲の向上	1.0	2.0																																																		
働く自信の向上	1.0	2.0																																																		
実行力の向上	1.0	2.0																																																		
求職活動状況の改善	1.0	2.0																																																		
雇われ機会の拡大	1.0	2.0																																																		
知識や技術の向上	1.0	2.0																																																		

年齢・性別・区分	【I-010】 60代 男性 障がい者（聴覚障がい）生活困窮																																																			
紹介機関	福岡県自立相談支援事務所（遠賀郡・鞍手郡） （くらし・しごと・家計困りごと相談室）																																																			
支援経緯	仕事を探していたが、高齢、聴覚障がいから就職には至っていなかった。利用している支援機関から事業の紹介があり参加。																																																			
現在の状況	途中一時的な体調不調もあり支援を中断していたが、医師から就労可能の意見もあり、就労活動を再開。 デイサービスセンターわかなの入浴介助を見学・体験を経て採用決定し、現在就労中。																																																			
支援内容	相談支援：希望条件等の確認、職務経歴の確認を行った。既存の支援機関と連携を行った。 求職登録支援：求職票登録確認、履歴書確認支援。職場見学・体験を行った。求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。 求人応募・面接支援：企業への求人内容の確認。ハローワークへの同行支援を行った。 入社支援：労働条件の確認支援、入社日の調整を行った。 定着支援：電話や職場訪問にて定期的な就業状況の確認を行った。																																																			
効果	○求職者の就労希望を叶えることができた。 <勤務内容> 企業名：社会福祉法 新光会 デイサービスセンター わかな 期間・時間：R6.2.5～R6.4.5 週5日・1時間/日（9:30～10:30） 仕事内容：施設利用者の入浴介助補助。 施設利用者110人、定員40人程の内、男性利用者の入浴介助スタッフ3名の補助業務（入力後の誘導・着服・飲料提供・風呂清掃など）。 ○効率的にマッチングができた。 ・求職者と企業の間に入り、現場2名スタッフへの労働条件を含む配慮事項の周知と一連の説明と体験を実施することで、現場での本人の不安を軽減できた。 ○働きづらさを抱える人が働きやすい職場づくりができた。 障がい者支援に携わる組合コーディネーターの経験を生かし、筆談環境整備及び防水対策を行った携帯アプリによるコミュニケーション対応等の導入支援を行うことで、スムーズな意思疎通ができるようになった。																																																			
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	1回目と2回目の比較 <table border="1"> <caption>自己評価の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2023/6/23</th> <th>2024/2/18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活リズムの改善</td><td>2.5</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>マナーの向上</td><td>2.0</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>1.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>計画づくりや目標設定の改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>状況把握能力の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>働く自信の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>勤労意欲の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>自己肯定感・自尊感情の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>実行力の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>求職活動状況の改善</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>選択機会の拡大</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>知識や技術の向上</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr> </tbody> </table>	項目	2023/6/23	2024/2/18	生活リズムの改善	2.5	3.5	マナーの向上	2.0	3.0	体力・健康の改善	1.5	2.5	ストレスコントロールの改善	1.0	2.0	計画づくりや目標設定の改善	1.0	2.0	コミュニケーション能力の向上	1.0	2.0	対人関係の改善	1.0	2.0	状況把握能力の向上	1.0	2.0	対人スキルの向上	1.0	2.0	働く自信の向上	1.0	2.0	勤労意欲の向上	1.0	2.0	自己肯定感・自尊感情の向上	1.0	2.0	実行力の向上	1.0	2.0	求職活動状況の改善	1.0	2.0	選択機会の拡大	1.0	2.0	知識や技術の向上	1.0	2.0
項目	2023/6/23	2024/2/18																																																		
生活リズムの改善	2.5	3.5																																																		
マナーの向上	2.0	3.0																																																		
体力・健康の改善	1.5	2.5																																																		
ストレスコントロールの改善	1.0	2.0																																																		
計画づくりや目標設定の改善	1.0	2.0																																																		
コミュニケーション能力の向上	1.0	2.0																																																		
対人関係の改善	1.0	2.0																																																		
状況把握能力の向上	1.0	2.0																																																		
対人スキルの向上	1.0	2.0																																																		
働く自信の向上	1.0	2.0																																																		
勤労意欲の向上	1.0	2.0																																																		
自己肯定感・自尊感情の向上	1.0	2.0																																																		
実行力の向上	1.0	2.0																																																		
求職活動状況の改善	1.0	2.0																																																		
選択機会の拡大	1.0	2.0																																																		
知識や技術の向上	1.0	2.0																																																		

年齢・性別・区分	【1-004】 50代 男性 長期無業者 生活困窮
紹介機関	飯塚市生活自立支援相談室
支援経緯	6～7年ほど仕事を行っていない。家族の介護を行っており、年齢的な問題からも、希望する条件での働き先が見つからない状況であった。飯塚市の生活自立支援相談室からモデル事業の紹介があり参加した。
現在の状況	電話ヒアリングにて現状の確認を行いながら、切り出した求人内容を紹介。
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴の確認支援を行った。 定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援: 週20時間未満の求人情報を提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・求人内容を紹介しながら、相談支援を行う中で、求める就労条件が明確になっていった。</p> <p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。 ・家族の介護もあり、自宅から通勤に時間を要するような場所への就職は難しく、現状の求人内容では就労までに至っていないが、支援機関と協力を行いながら就職に向けた活動を始めることができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【1-005】 30代 女性 子育て
紹介機関	なし
支援経緯	飯塚市役所に掲示されるチラシを見て事業に参加。
現在の状況	飯塚市役所にて開催した求職者説明会に参加。事業利用登録はするも、子育てしながら就労できる時期を検討し、本人から問い合わせずとしていた。連絡先も聞いておらず、現状も問い合わせ無いため、事業利用中断としている。
支援内容	相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・希望する就労開始時期・時間帯・勤務地などのヒアリングを行い、子供が保育施設を利用出来る目途が付いた時点での求人内容にて相談したいとの意向であったが、定期的な状態把握を薦めることで、一定期間の就労意欲の継続に繋がった。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【1-006】 40代 女性 障がい者（精神障がい）
紹介機関	なし
支援経緯	福岡県のLINEを見てモデル事業を知り説明会に参加した。
現在の状況	家庭内トラブルの影響から精神的な不調がみられ、就労開始は難しいとの本人意向と支援機関の判断から、事業の利用を中断した。
支援内容	<p>相談支援 : 登録時には支援機関と組合で面談を行い、目標時期を掲げた。 支援機関と情報共有による相談を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報を提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。 ・本事業登録時、本人が自己評価書類を作成。就労開始時期を本人と協議の上、同居家族の介護施設への入居以降と具体的に定めたことで、就労に対する意欲が一定期間継続できた。</p> <p>○効率的にマッチングができた。 ・就職に向けた支援を実施する中で、本人が利用する支援機関と、現在の状況などを共有する中で、本人の意向などを相談しながら連携した支援を実施することができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【1-007】 50代 女性 子育て
紹介機関	福岡県子育て女性就職支援センター
支援経緯	子育てと両立できる仕事を探している中で、紹介機関よりモデル事業を紹介され参加した。
現在の状況	民間求人誌を見て本人が求職活動を行い、就労が決定したとの連絡があったため、本事業の利用を中断した。
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。 定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・既存の支援機関で、支援員と組合コーディネーターと一緒に、就業希望条件だけでなく、本人の得意・不得意を踏まえて検討したことにより、本人が、収入だけではなく、楽しく働き続けられる仕事はどういうものかとの確認ができ、以降の求職活動に役立った。 ・子育て支援センターの支援員同席のもと、就職に向けた準備を行う中で、希望条件などの整理が行えた。</p> <p>○求職者の就労希望を叶えることができた。 ・様々な就職支援を受ける中で、自己開拓により就職が決定した。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【1-008】 40代 女性 子育て
紹介機関	福岡県子育て女性就職支援センター
支援経緯	子育てと両立できる仕事を探している中で、紹介機関よりモデル事業を紹介され参加した。
現在の状況	民間求人誌を見て本人が求職活動を行い、就労が決定したとの連絡があったため、本事業の利用を中断した。
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。 定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・既存の支援機関の支援員と組合コーディネーターと一緒に、就業希望条件だけでなく、本人の得意・不得意を踏まえて検討したことにより、本人が、収入だけではなく、楽しく働き続けられる仕事かというものかとの確認ができ、以降の求職活動に役立った。 ・子育て支援センターの支援員同席のもと、就職に向けた準備を行う中で、希望条件などの整理が行えた。</p> <p>○求職者の就労希望を叶えることができた。 ・様々な就職支援を受ける中で、自己開拓による就職が決定した。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【1-009】 40代 男性 障がい者（精神障がい）
紹介機関	障がい者就業・生活支援センターBASARA
支援経緯	自身の障がい、家庭内介護が必要な状況から、希望条件に合う仕事がなく、支援機関から短時間で就労を経験するのはどうかとの提案があり事業に参加した。
現在の状況	モデル事業の求人を広く紹介するも、就職場所や業務内容が本人の意向と異なり、応募には至っていない。 紹介機関及び別で支援を行っている飯塚市嘉麻市桂川町障がい者基幹相談支援センターと情報共有しながら、引き続き支援を行っている。
支援内容	相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。 求職登録支援 : 求職票登録を行った。 求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・モデル事業の求人を広く紹介する中で、地域で出ている様々な求人に触れる機会となり、自身の希望条件と求人内容などをすり合わせる機会となった。継続した就労意欲は見られている。 ・随時、作業内容・勤務時間・勤務地など具体的な求人内容を提示し、その時の体調に合った希望をヒアリングすることで、本人の就労意欲の維持に繋がった。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【I-011】 30代 女性 障がい者（精神障がい）
紹介機関	飯塚市嘉麻市桂川町障がい者基幹相談支援センター 障がい者就業・生活支援センターBASARA
支援経緯	精神障がいがあり、また、音・家具・人員配置など変化に敏感であることから、就職には至っていなかった。既存の支援機関より週20時間未満から働き、職場環境に慣れていく方が良いのではないかと事業の紹介を受け参加。
現在の状況	・就職に向けた支援を行いつつ、障害福祉サービスの利用も視野に入れていたが、結果、本人が安心して仕事ができる障害福祉サービス（就労継続支援A型事業所）を利用することとなったため、事業利用中断。
支援内容	相談支援：支援機関と情報共有による就労相談を行った。 求職登録支援：求職票登録確認を行った。 求人応募・面接支援：週20時間未満の求人情報の提供を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・就職に関して支援を行うことで、働き方を具体的に考えることが出来た。働き方を想像する中で環境の配慮など配慮事項の具体化ができた。 ○求職者の就労希望を叶えることができた。 ・本人の就労環境への拘りから、一般企業への就職には時間を要することが分かり、配慮がしやすい障害福祉サービスの利用による就労に向けた方向性の絞り込みが出来た。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <p>生活リズムの改善 4.0 マナーの向上 3.5 体力・健康の改善 3.0 ストレスコントロールの改善 2.5 計画づくりや目標設定の改善 2.0 コミュニケーション能力の向上 1.5 対人関係の改善 1.0 状況把握能力の向上 0.5 対人スキルの向上 0.0 自己肯定感・自尊感情の向上 0.0 勤労意欲の向上 0.0 働く自信の向上 0.0 実行力の向上 0.0 求職活動状況の改善 0.0 選択機会の拡大 0.0</p> <p>2024/1/9</p>

年齢・性別・区分	【I-012】 40代 女性 障がい者（精神障がい）
紹介機関	なし
支援経緯	チラシでモデル事業を知り、家族も自立しており働きたいとの希望もあったため、個別相談に参加。
現在の状況	本人に就職に向けた支援を行う中で、障がい者就労移行支援事業所の利用も検討。就職前にPCスキルをつけたいとの本人の意向で、障害福祉サービスを受けることになったため、事業利用中断。
支援内容	<p>相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職登録確認、履歴書確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人内容を紹介しながら、相談支援を行うことで、求める就労条件が明確になった。 ・モデル事業をはじめ、様々な就職に向けた活動を行っており、就労条件が明確化するなど就労に向けた活動を行うことができるようになった。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <p>2023/12/21</p>

年齢・性別・区分	【I-013】 20代 女性 障がい者（精神障がい）
紹介機関	組合コーディネーター（障がい者就業・生活支援センターBASARAを利用）
支援経緯	組合コーディネーターから事業の紹介を受け参加。
現在の状況	自己開拓にてフルタイムの障がい者枠の求人を見つけ、本人の応募希望があったため、地域の支援機関（障がい者就業・生活支援センターBASARA）を紹介。結果、フルタイムの特例子会社に就労決定したため、事業利用中断。
支援内容	相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。 求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。 求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・就労するにあたり、出来る事・やりたい事をヒアリング。加えて、働ける週の勤務時間、立ち仕事などの作業環境、大勢の環境でも可能かどうかの聴き取りを行い、障がい状態に於ける就労後の職場への配慮事項等の自己把握内容をヒアリングしたことで、本人に負担なく働ける条件（1～2H程/日勤務で、10分程の休憩を組み込む）が明確となり、就労に向けた方向性を確認できた。 ○求職者の就労希望を叶えることができた。 ・方向性が見えた状況で、積極的にハローワークなどの求人情報の閲覧を行った結果、フルタイムでも本人に負担なく勤務可能と思われる障がい者の特例子会社を発掘し、支援機関と繋ぐことで、結果、短時間ではなかったものの、本人が希望する就労に結びつけることができた。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【I-014】 30代 女性 精神疾患
紹介機関	筑豊若者サポートステーション
支援経緯	求職活動を行う中で、筑豊若者サポートステーションよりモデル事業の紹介を受けて参加。
現在の状況	精神的な要因から体調に波があり、現在は求職活動を行っていない状況。 支援機関と連携し本人の意向に合わせて支援を行っていく。
支援内容	相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。 求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。 求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・週20時間未満という短時間で就労支援に定着支援というサポートがつくことで、就職を視野にいけた活動への一歩を踏み出すことが出来ている。 ○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。 ・就職活動を行っていく中で、自己理解が深まり、就労条件が明確化してきている。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <p>2023/12/27</p>

年齢・性別・区分	【I-015】 30代 障がい者（双極性感情障がい）その他
紹介機関	飯塚市嘉麻市桂川町障がい者基幹相談支援センター
支援経緯	支援機関よりモデル事業を知り、個別面談会に参加。
現在の状況	就職に向けた支援を行っていたが、本人の希望内容が都度変わり本人の就職イメージ定まっていない状態であった。支援機関より体調を安定させることが優先であり就労時期ではないとの判断があり事業利用中断となった。
支援内容	<p>相談支援 : 求人情報共有による就労相談を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援: 週20時間未満の求人情報の提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。</p> <p>・本人の就労希望条件が固まらない状況であったが、就労経験を積むことで、自身の出来る事と、やりたい事の発掘が期待できること、本事業では自身での就職活動にはない、定着支援があることで、経験を積みながら、無理せず働くことができ、自己理解にも繋がる提案した事により、就労に向けた一歩を踏み出すことができた。</p> <p>・相談支援を行う中で、本人の課題や希望を共有し、目標を共有することで、これまでにフルタイムでの仕事のみを探していたが、週20時間未満などの働き方からスタートし体調を考慮しながら働く方法を知ることができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <p>生活リズムの改善 マナーの向上 体力・健康の改善 ストレスコントロールの改善 計画づくりや目標設定の改善 コミュニケーション能力の向上 対人関係の改善 状況把握能力の向上 対人スキルの向上 自己肯定感・自尊感情の向上 勤労意欲の向上 働く自信の向上 実行力の向上 求職活動状況の改善 選択機会の拡大 知識や技術の向上</p> <p>2023/12/28</p>

年齢・性別・区分	【I-016】 70代 男性 精神疾患 高齢者 生活困窮
紹介機関	飯塚市生活自立支援相談室
支援経緯	紹介機関の支援を受けながら、ハローワークなどで就職活動を行うも、年齢的や体力的な要因から就職までには至っていなかったため、紹介機関から事業の紹介を受け参加した。
現在の状況	支援を受ける中で、生活状況などを鑑み生活保護者の対象となる可能性があったため、飯塚市の保護課に相談を行っていた中、主治医から就職困難であり生活保護の対象との判断があり、事業利用中断。
支援内容	<p>相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報を提供、職場見学・体験を実施、面接同行を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p>・求人を紹介することで本人が希望する職場が見つかり、職場見学を実施。コーディネーターが同席を行い、実際の職場で見学を行うことで、具体的な仕事のイメージを持つことができた。</p> <p>○効率的にマッチングできた。</p> <p>・職場体験前に企業と求職者の間に入り、職場体験の時間や内容を確認することで、円滑な職場体験が行えた。</p> <p>・面接の際には、コーディネーターと自立支援相談室が同席を行い、求職者の不安の軽減ができた。</p> <p>○現時点での適切な支援に繋げることができた。</p> <p>・本人の希望を傾聴しながら、飯塚市自立相談室と中心にハローワーク、飯塚市福祉部生活支援課などとも連携を図り、包括的な支援を行う中で、主治医の意見書が決め手となり適切な支援が判断でき、生活保護の受給に繋げることができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【I-017】 50代 女性 障がい者（身体障がい）
紹介機関	なし
支援経緯	飯塚市広報誌の案内を見て、11月8日の求職者説明会に参加。週20時間未満であれば身体状態に添った就労ができると考え事業に参加した。
現在の状況	視覚障害（弱視・夜盲症）があり、職場までの移動の安全性の確保が重要課題であるため、利用可能な交通手段や勤務時間などについて相談を行いながら、勤務場所の範囲を広げ就職支援を行っている。
支援内容	相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。 求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。 求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・就職活動を行う中で、配慮が必要な障がい特性などの聞き取りを実施することで、本人が利用可能な交通手段などを検討する機会となり、働きづらさを軽減するために必要となる就労条件も整理できた。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【I-018】 70代 女性 高齢者
紹介機関	福岡県生涯現役チャレンジセンター 飯塚オフィス
支援経緯	支援機関から事業の紹介があり参加した。
現在の状況	夫婦共に働けることを第一希望としていたが、ご主人の体調が不安定になり、就職活動を行う状態ではないとの本人の申出があり、事業利用を中断。
支援内容	<p>相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。</p> <p>・健康面などを見守りながら夫婦で共に働くことを希望しており、身体に負担が少ない、1時間前後/日、2~3日/週である求人内容を案内することで、高齢でも働ける希望を持つことができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【 I -019】 70代 男性 高齢者
紹介機関	宮若市 自立相談支援室
支援経緯	宮若市自立相談支援室を利用しながら、就職活動を行う中で、モデル事業を知り事業へ参加。
現在の状況	紹介機関と情報共有しながら、週20時間未満の求人を紹介し、紹介時には本人の状況をヒアリングしている。
支援内容	<p>相談支援 : 支援機関と情報共有による就労相談を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報を提供、職場見学を実施を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p>・具体的な仕事内容の説明を受けの中で、希望条件のイメージを具体化する事ができた。</p> <p>○効率的にマッチングができた。</p> <p>・本人が希望する職場にて、職場見学を実施。見学の際にはコーディネーターと宮若市自立相談支援室が同席し、求職者の不安の軽減ができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <p>生活リズムの改善 4.0 マナーの向上 3.5 体力・健康の改善 3.0 ストレスコントロールの改善 2.5 計画づくりや目標設定の改善 2.0 コミュニケーション能力の向上 1.5 対人関係の改善 1.0 状況把握能力の向上 1.0 対人スキルの向上 1.0 自己肯定感・自尊感情の向上 1.0 勤労意欲の向上 1.0 働く自信の向上 1.0 実行力の向上 1.0</p> <p>2024/1/23 グラフエリア</p>

② 大牟田市

ア 大牟田市の特徴

大正 6 年 3 月 1 日に大牟田町が市に移行し誕生

面積：81.45 km²で福岡県の最南端に位置

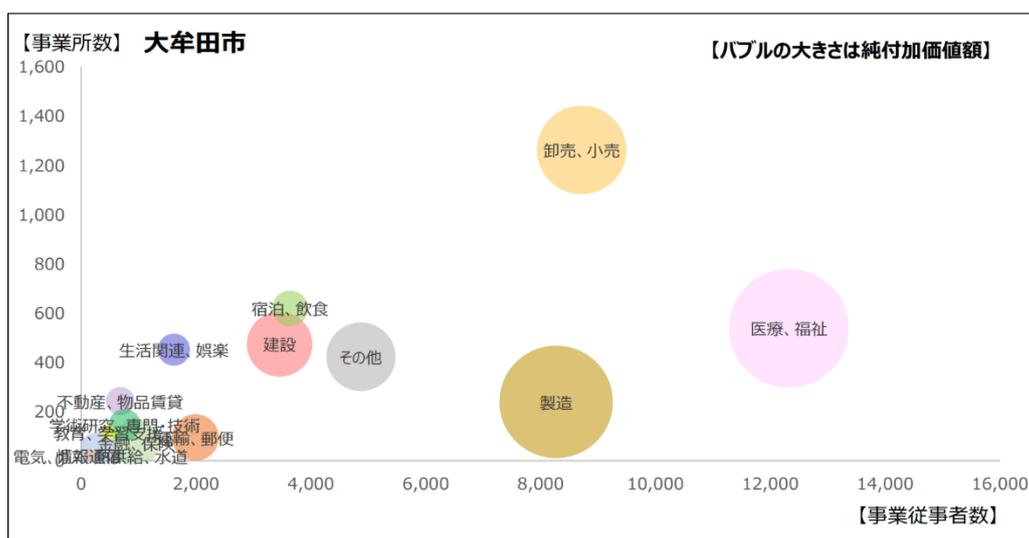
人口：111,281 名（令和 2 年 1 0 月 1 日現在）※

性別：男性 51,262 名 女性 60,019 名 総世帯数 49,231 世帯

年代：15 歳未満 10.91% 15～64 歳 51.49% 65 歳以上 37.6%

※令和 2 年国勢調査（大牟田市 HP から引用）

※大牟田市の産業（大牟田市の地域経済分析について 2023 年より抜粋（図 15））



イ 令和 5 年度 of 取組結果

【説明会】	企業	40社	(令和 4 年度 32 社 (2 回開催) 令和 5 年度 8 社 (1 回開催))
	求職者	65名	(令和 4 年度 39 名 (4 回開催) 令和 5 年度 26 名 (2 回開催))
【事業利用者】	企業	11社	(令和 4 年度 5 社 令和 5 年度 6 社 (昨年度より 1 社継続))
	求職者	25名	(令和 4 年度 16 名 令和 5 年度 9 名 (昨年度より 1 名継続))
【就職者】		4名	(令和 4 年度 2 名 令和 5 年度 2 名)
【その他】	モデル事業以外での就職	3名	

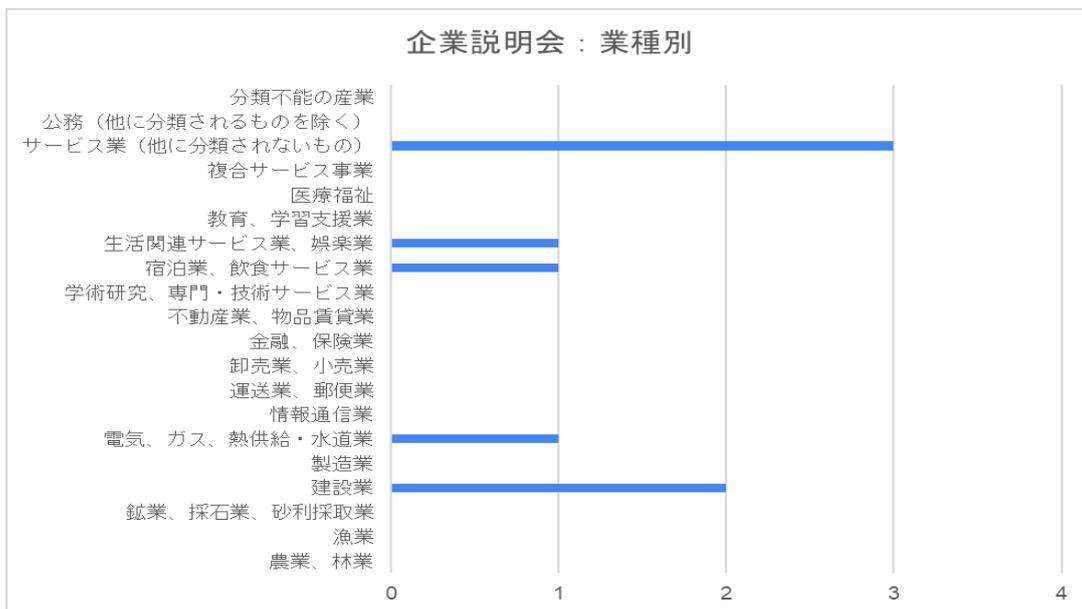
(ア) 企業に対する取組

a 説明会開催（8社参加、うち求人登録3社）

○大牟田市企業説明会(大牟田市)（2023年9月22日）

- ・会場 大牟田文化会館
- ・参加企業 8社（会場6名、オンライン2名）

※大牟田市企業説明会の業種別分布（図16）



(大牟田企業説明会の様子)



b 個別開拓（17社訪問、うち2社求人登録）

- ・説明会開催のチラシとモデル事業参加のためのチラシ（図17）を作成・配布、反応があった企業に対して直接、訪問し事業説明、業務の切り出し支援を行った。
- ・大牟田商工会議所が発行する広報誌にチラシ折り込みを行った。
- ・ゆめタウン大牟田のテナント店長会議に参加し、49店舗に対してモデル事業の告知を行った。
- ・各モデル地域の広報紙に説明会の情報を掲載し、求人企業の開拓を行った。
- ・大牟田柳川信用金庫の大牟田市内店舗にチラシを配布した。
- ・大牟田地域企業合同面談会でチラシを配架した。
- ・ハローワーク大牟田にチラシを配架した。

◆大牟田市での企業募集のチラシ（図17）

c 個別支援（6社）

- ・モデル事業利用登録があった6社に対して実施した。
- ・大牟田市においても、多くの企業が人手不足に悩みを抱えている中、短時間就労制度がない、短時間で求人募集を検討したことがない企業も多く、週20時間未満就労について説明を行う中で、多様な条件での短時間求人業務を切り出すことができた。

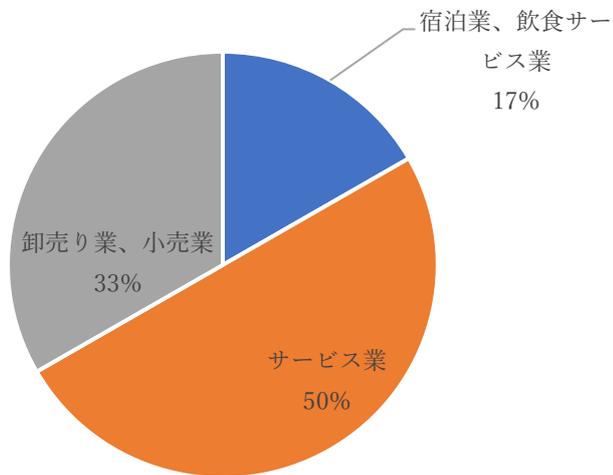
詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状況	企業名	業種	事例記載
大牟田市	求人登録済 雇用決定	株式会社百年プロジェクト	宿泊業、飲食サービス業	○
		トータルケア・システム株式会社	サービス業	○
		ゼビオ株式会社	卸売り業、小売業	○
	求人登録済 未雇用	株式会社R101	サービス業	○
		イオン九州株式会社 イオンモール大牟田店	卸売り業、小売業	○
		有限会社 徳重産業	サービス業	○
支援企業計		6社		

【事業利用企業】 6社

【雇用決定企業】 3社

令和5年度 大牟田市 業種比



企業名	株式会社 百年プロジェクト
所在地・業種	大牟田市・宿泊業、飲食サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2015年 従業員数：5名 事業内容：ネット販売用のチーズケーキの製造と新商品の開発、テイクアウト専用のカフェの運営
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	就労支援デザイン講座を行っており、他にも地域に密着した福祉サービスを検討しており、今後の事業展開を検討する中で、モデル事業で行われている20時間未満の雇用に対して興味があり、事業へ参加した。
支援内容	相談支援：製造業務の一連業務の細分化と清掃を含めた業務を検討した。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、様々な事業内の中から菓子製造販売にてケーキ製造の補助の業務を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。 採用支援：面接の日程調整及び同席、就労体験を実施した。 定着支援：電話、訪問にて就労状況と企業の意向を確認した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：ケーキ製造補助 週4～5日程度 10:00～15:00程度 ○地域に密着した福祉サービスとして、障がい者を雇用することができた。 <雇用内容> 求職者O-004（障がい（統合失調症）、高齢） 時間：令和5年4月1日～令和5年6月30日 ・週5日・4時間/日 仕事内容：調理補助（容器洗浄、資材の補充）

企業名	トータルケア・システム 株式会社
所在地・業種	大牟田市・サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2001年 従業員数：15名 事業内容：紙おむつのリサイクル
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	令和4年度に企業説明会に参加し、様子見としていたが、求人を応募しても応募者が少ない状況の中、令和5年度に組合の連絡を受け改めて業務内容を検討し、事業に参加した。
支援内容	<p>相談支援：作業現場の業務状況を確認し、企業側の求める幅広い対象者を検討した。</p> <p>業務切り出し支援：工場のライン工程作業の中から、細分化できる業務としてパルプシートの積み上げ作業を切り出した。</p> <p>求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。</p> <p>求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。</p> <p>採用支援：職場見学・体験を実施し働き方や勤務時間などを企業と求職者の意向を確認、調整を実施した。</p> <p>応募希望者が立ち仕事が難しかったため、座って出来る作業内容とした。</p> <p>定着支援：電話、訪問にて就労状況の確認、企業の意向を確認した。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p><切り出した業務内容></p> <p>業務内容①：軽作業（パルプシートの積み上げ作業、工場内清掃、梱包資材の準備） 週5日程度 7:30～16:30 の4時間程度</p> <p>○効率的にマッチングができた。</p> <p>自ら求人を応募しても応募者が少ない中、採用支援を受けたことで応募希望者が見つかり、業務内容を調整することでマッチングに繋がった。</p> <p>○企業の人手不足の解消に繋がった。</p> <p><雇用内容></p> <p>求職者O-002（障がい（精神疾患）、心身不調（長時間・立ち仕事困難）） 時間：R5.11.20～R6.1.15現在・週5日・4時間/日 （但し、3.5時間/日を1日） 仕事内容：パルプシートの積み上げ作業</p>

企業名	ゼビオ株式会社 スーパースポーツゼビオゆめタウン大牟田店
所在地・業種	大牟田市 卸売り業、小売り業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1973年 従業員数：28名 事業内容：スポーツ用品、衣料品の販売
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	ゆめタウン大牟田店で行われたテナント店長会議にて組合がモデル事業の概要を説明。業務を検討する中で、サービスの一つである、オンラインストア業務など週20時間未満で働く人を採用し企業戦力となることが考えられたため、事業に参加した。
支援内容	<p>相談支援：業務内容を聞き取り、業務を細分化を実施した。</p> <p>業務切り出し支援：オンラインストア業務・後方作業の業務を切り出した。</p> <p>求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。</p> <p>求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。</p> <p>採用支援：職場見学、面接への同行を行い、働き方や勤務時間などを企業と求職者の意向を確認、調整を実施した。</p> <p>定着支援：電話、訪問にて就労状況の確認、企業の意向を確認した。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p><切り出した業務内容></p> <p>業務内容①：オンラインストア業務・後方作業</p> <p>週3～4日程度 9:30～15:30</p> <p>○企業の人手不足の解消に繋がった。</p> <p><雇用内容></p> <p>求職者O-005（生活困窮者）</p> <p>時間：R6.3.1～R6.5.31現在・週3日・4時間/日</p> <p>仕事内容：オンラインストア業務・後方作業</p>

企業名	株式会社 R101
所在地・業種	大牟田市・サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：2012年 従業員数：28名 事業内容：福祉サービス事業（洋服の縫製業務）
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	当協同組合との繋がりから、モデル事業を知り説明会へ参加した。 企業内で行う軽作業をそれぞれのスタッフがっており、短時間で業務を依頼出来れば、業務の効率化が図れるのではないかと考え事業に参加した。
支援内容	相談支援：新店舗でのオープニングスタッフを募集しており業務を検討した。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取りを行う中で、オープン予定が延期となった為事業利用停止。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 様々な雇用方法を検討する中で、福岡県内に働きづらさを抱えている人がいる事を共有したが、本事業において業務の切り出し、採用する職場環境を検討することに時間を要した。今後、求人活動を行う際の参考となった。

企業名	イオン九州 株式会社 イオン大牟田店
所在地・業種	大牟田市・卸売り業、小売業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1972年 従業員数：147名 事業内容：飲食品、衣料品、日用雑貨、自転車、お酒、医療品の販売
紹介機関	福岡県（新雇用開発課）
支援経緯	福岡県の包括提携協定企業であることから、県と協働して、イオン九州本部に訪問し事業説明を行ったのち、実施地域にあるイオンモール大牟田を訪問し事業内容を説明した結果、事業に参加した。
支援内容	相談支援：継続的に実施している求人内容を元に、業務の細分化を行った。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、すでに短時間で雇用を行っている事例から、スーパーの加工製品補充陳列、カート整理、衣料品レジの業務を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。 採用支援：職場見学への同席支援を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：スーパーの加工製品補充陳列 週4～5日程度 5:00～9:00程度（時間帯に関しては要相談） 業務内容②：カート整理 週4～5日程度 時間に関しては要相談 業務内容③：衣料品レジ 週4～5日程度 時間に関しては要相談

企業名	有限会社 徳重産業
所在地・業種	大牟田市・サービス業
設立年・従業員数・業務内容	設立年：1990年 従業員数：13名 事業内容：産業廃棄物処理及び解体工業務
紹介機関	福岡県就労支援協同組合
支援経緯	当協同組合との繋がりから、モデル事業を知り説明会へ参加した。 企業敷地内及び車（トラック）の清掃などの軽作業をそれぞれ担当スタッフがっており、短時間で業務を依頼出来れば、業務の効率化が図れるのではないかと考え事業に参加した。
支援内容	相談支援：職員の一連業務からの分散化を検討した。 業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、特殊な資格が不要なく既存のスタッフがやっている業務を切り出した。 求人情報作成支援：ハローワークでの登録方法や求人票の記載方法を助言した。 求人情報提供支援：利用登録を行っている求職者に対して広く情報を提供した。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満雇用ニーズの掘り起こしに繋がった。 <切り出した業務内容> 業務内容①：軽作業（車の洗車2t、3t、4t）トラックの洗車、敷地内の草刈り 週1～5日程度 9:00～12:00の間（時間に関しては要相談）

(イ) 求職者に対する取組

a 説明会開催 (26 名参加) (3 名登録)

○大牟田市第 1 回求職者説明会 (2023 年 7 月 19 日)

- ・会場 大牟田文化会館
- ・参加者 20 名 (対象求職者 18 名、支援者 2 名) (3 名登録)
(会場 19 名、オンライン 1 名)

○大牟田市第 2 回求職者説明会 (2023 年 11 月 22 日)

- ・会場 大牟田文化会館
- ・参加者 6 名 (対象求職者 4 名、支援者 2 名) (登録者なし)
(会場 6 名、オンライン 0 名)

b 支援機関説明会 (支援機関等 66 か所説明)

○支援機関説明会 (2023 年 5 月 26 日)

- ・会場 Web 開催
- ・参加者 69 名

c 個別面談会 (3 名登録)

○第 1 回 大牟田市 個別面談会 (2023 年 7 月 19 日)

- ・会場 大牟田文化会館
- ・参加者 3 名

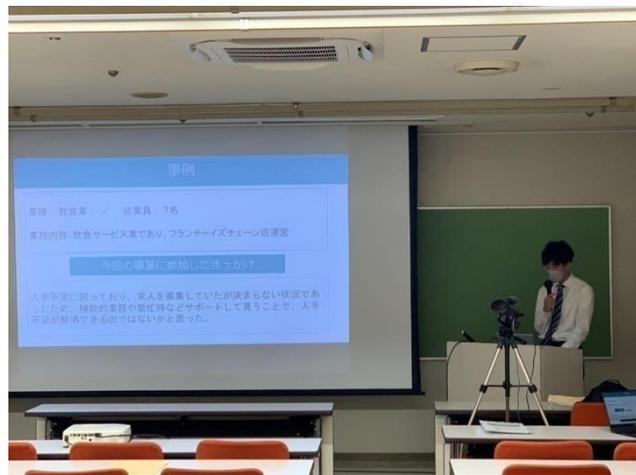
○第 2 回 大牟田市 個別面談会 (2023 年 10 月 24 日)

- ・会場 ハローワーク大牟田
- ・参加者 5 名 (3 名登録)

○第 3 回 大牟田市 個別面談会 (2023 年 11 月 22 日)

- ・会場 大牟田文化会館
- ・参加者 3 名

(大牟田市求職者説明会の様子)



d 個別開拓（3名登録）

- ・説明会開催のチラシとモデル事業参加のためのチラシ（図18）を作成・配布
- ・希望があった求職者に対して個別に面談を実施した。（3名実施）（3名登録）
- ・大牟田市の広報紙に説明会・相談会の情報を掲載し求職希望者の開拓を行った。
- ・大牟田市 合同会社説明会（8月26日）に参加した。
- ・大牟田地域企業合同面談会でチラシを配架した。
- ・ハローワーク大牟田でチラシを配架した。
- ・各種支援機関に定期的に訪問を行った。
- ・大牟田市市民活動等多目的交流施設「えるる」でチラシを配布した。
- ・地域の方が多く利用されることが想定される商業施設にて出張相談会を実施した。

（イオン大牟田店での出張相談会の様子）

（ゆめタウン大牟田での出張相談会の様子）



◆大牟田市の求職者募集チラシ（図18）

**週20時間未満
で働いて
みませんか？**

支援は無料！
支援の申し込みは
令和6年1月31日（水）まで

私たちと一緒に自分の
働き方を考えましょう

お問合せ先
令和5年度週20時間未満就労モデル事業
実施者：福岡県就労支援協同組合
20miman-work@fesc.jp
092-406-7697
〒810-0041 福岡市中央区大牟田2-9-25 第2ブリスビル1008号
https://fesc.jp/omuta_20miman_work/

ホームページはこちら！

大牟田市 週20時間未満就労

こんな悩みはありませんか？

子育ての合間に
少しでも働ければなあ

通院や介護があって
毎日は働けないなあ

いきなり
フルタイムは
不安だなあ

**福岡県就労支援協同組合が
あなたの一步を応援します！**

週20時間未満で働くメリット

- ・社会とのつながりを持つことができる
- ・自分に合った働き方ができる
- ・フルタイムで働く場合と比べて負担が小さい事が予想される

支援の内容

- ・相談支援
- ・求人票作成のお手伝い
- ・面接同行、見学の実施
- ・入社待機期間中のフォロー
- ・入社後の定期的な聞き取り、職場訪問

70代 女性

面接に同行してもらえることが心強く
定期的な聞き取りも行ってもらえるため
安心して働いています。

支援を受けながら、週20時間以上の勤務を目指すこともできます！

e 個別支援（9名）

【面 談】	13名
【事業利用者】	9名
【就 職 者】	4名
【そ の 他】	モデル事業以外での就職 3名

- ・事業利用登録を行った求職者に対して実施した。
- ・大牟田地域においても本事業に係った方の属性に偏りはなく、一人ひとりに合わせた個別の支援が必要であった。
- ・大牟田地域では、以下のような実態が見られた。
 - (例1) ・自家用車を持たない求職者が多く、公共交通機関で通勤できる職場や自宅近くの職場開拓が必要であった。
 - (例2) ・最低賃金が福岡県よりも低い熊本県と隣接している地域特性から、モデル地域外の居住者のモデル事業利用希望が複数あった。個別支援の実績には上げていないが、求職者の希望に応じた支援機関への案内を実施した。

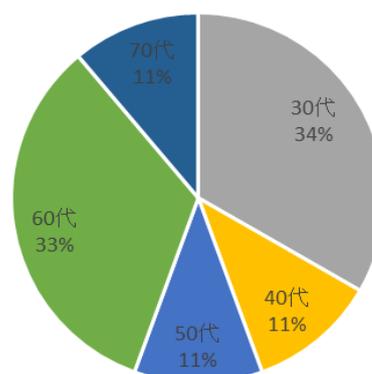
詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状態	記号	性別	参加理由	事例掲載
大牟田市	求職登録済 採用決定(マッチング)	O-002	男性	福岡県のHPを見て参加	○
		O-005	男性	大牟田市保健福祉部福祉支援室福祉課より紹介	○
	求職登録済、未採用	O-001	男性	大牟田市の広報誌を見て参加	○
		O-003	女性	福岡県就労支援協同組合の紹介により事業に参加	○
		O-004	女性	障がい者施設(就労継続支援A事業所)	○
		O-006	男性	病院の紹介により参加	○
		O-007	女性	HPを見て参加	○
		O-008	女性	ハローワークでチラシを見て参加	○
		O-009	女性	商業施設の掲示板をみて参加	○
支援求職者計		9名			

【年代別】

- 10代：0名
- 20代：0名
- 30代：3名
- 40代：1名
- 50代：1名
- 60代：3名
- 70代：1名
- 80代以上：0名

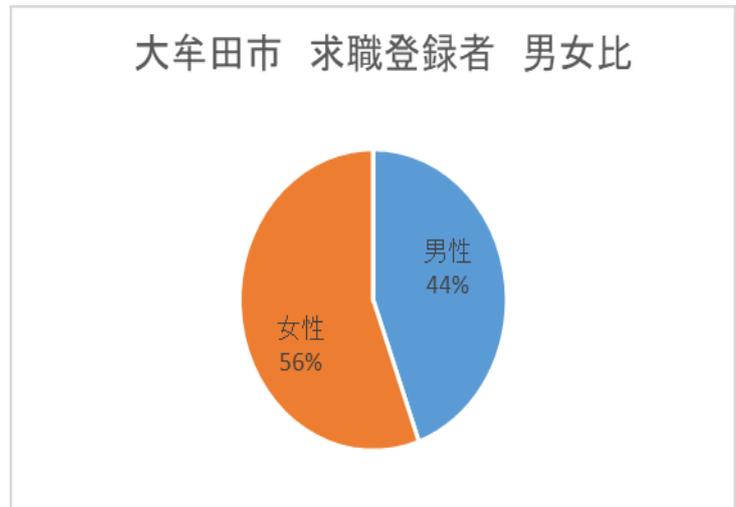
大牟田市求職求職者 年代比



【性別】

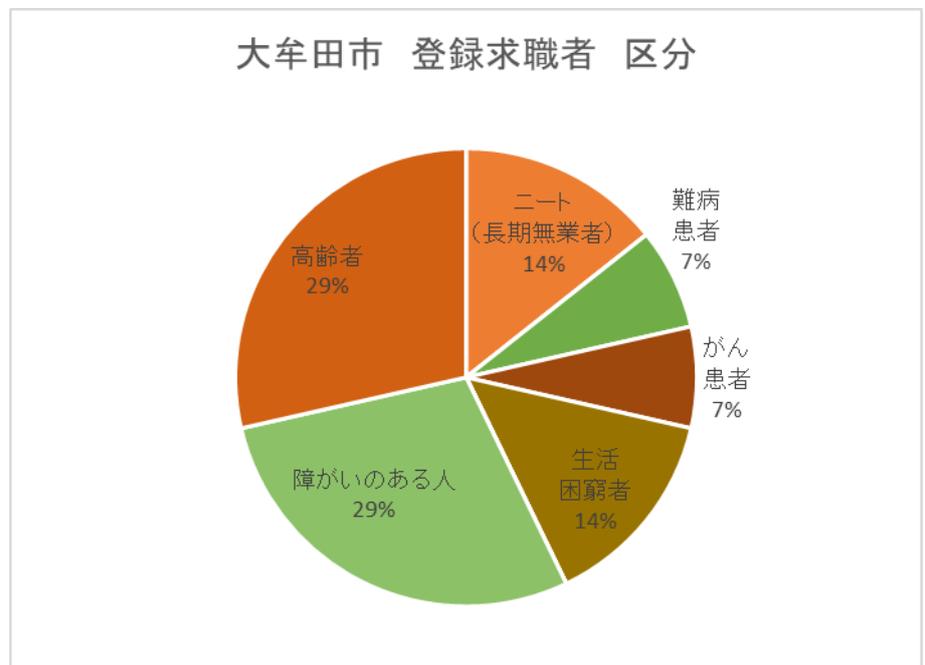
男性：4名

女性：5名



【年代別】

ニート（長期無業者）	： 2名
ひきこもり	： 0名
難病患者	： 1名
がん患者	： 1名
生活困窮者	： 2名
刑余者	： 0名
犯罪被害者	： 0名
非行少年	： 0名
障がいのある人	： 4名
高齢者	： 4名
子育て中の男性・女性	： 0名
ひとり親	： 0名



※複数の要因がある場合にはそれぞれの項目にてカウント。

年齢・性別・区分	【O-002】 30代 男性 精神疾患
紹介機関	なし
支援経緯	職業紹介機関を利用し、求職活動を行っていた。腰痛及び精神疾患の診断が出たことも鑑み働き方を検討していた。そのような中、県のホームページより、当事業を知り、求職者説明会に参加した。
現在の状況	週20時間未満で就労継続中。 定着支援としてヒアリングや職場訪問を実施を行っている。 就労開始後、継続した就労が行えていることから、勤務時間の延長について本人と企業の間に入って調整予定である。 本人がフォークリフト免許を所有していることから、資格を要する業務の実施についても調整予定である。
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。 求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 企業への求人内容の確認。職場見学を行った。</p> <p>入社支援 : 労働条件内容、入社日の確認、相談調整を行った。 入社待機期間中のフォローを行った。</p> <p>定着支援 : 電話、職場訪問による就業状況の確認を行った。 作業のヒアリングと今後の作業内容及び労働時間など雇用主との適宜調整を行った。</p>
効果	<p>○求職者の就労希望を叶えることができた。</p> <p><勤務内容> 企業名 : トータルケア・システム株式会社 期間・時間 : R5.11.13~R6.1.15 ・週5日・4時間/日 (但し、3.5時間/日を1日) 仕事内容: パルプシートの積み上げ作業 1枚2Kgくらいのシートを積み上げる作業。座ってできる作業。 工場内清掃。梱包資材の準備。</p> <p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。 ・本人からは、ここ数年間、求職応募するも採用されなかったが、短時間の就労としたことで、就労機会を得ることができ、働く楽しさが得られた。今後、少しでも長く働き続けられるように生活、就労リズムに留意して仕事に努めたいとの前向きな発言が得られた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目と2回目の比較</p> <p>生活リズムの改善 知識や技術の向上 選択機会の拡大 求職活動状況の改善 実行力の向上 働く自信の向上 勤労意欲の向上 自己肯定感・自尊感情の向上</p> <p>マナーの向上 体力・健康の改善 ストレスコントロールの改善 計画づくりや目標設定の改善 コミュニケーション能力の向上 対人関係の改善 状況把握能力の向上 対人スキルの向上</p> <p>2023/7/19 (Blue line) 2024/1/19 (Red line)</p>

年齢・性別・区分	【O-005】 30代 男性 生活困窮 長期無業者																																																			
紹介機関	大牟田市保健福祉部福祉支援室福祉課																																																			
支援経緯	・大牟田市で電話営業を行う企業に就職したが、1か月で退職。大牟田市福祉課の紹介で、生活保護の受給や若者サポートステーションでの面接練習などの就職活動を行ってきた。新たな就職活動として、モデル事業を紹介されて参加。																																																			
現在の状況	週20時間未満での就労継続中。 定着支援としてヒアリングや職場訪問を実施した。																																																			
支援内容	<p>相談支援 : 希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。 求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 企業へ求人内容の確認。企業見学、面接への同行を行った。</p> <p>入社支援 : 労働条件内容を企業に確認、入社日の調整を行った。 入社待機期間中のフォローを行った。</p> <p>定着支援 : 電話、職場訪問による就業状況の確認を行った。 作業のヒアリングと今後の作業内容及び労働時間など雇用主との適宜調整を行った。</p>																																																			
効果	<p>○求職者の就労希望を叶えることができた。</p> <p><勤務内容> 企業名 : ゼビオ株式会社 スーパースポーツゼビオ ゆめタウン大牟田店 期間・時間 : R6.3.1~R6.5.31 ・週3日・4時間/日 仕事内容: オンラインストア業務・後方作業 インターネットショッピングでお客様からご注文いただいた商品を梱包し、発送する作業。</p> <p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。 ・長期無業者であった為、働くことに対する不安などの声もあったが、今回の事例を気に、支援機関と連携しながら就職活動を始めることができた。</p> <p>○働きづらさを抱える人の就労意欲が高まった。 ・継続した就労が行えている。本人からは、仕事に慣れてきた段階で勤務時間や業務の幅を増やしていきたいとの意向も聞かれた。</p>																																																			
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目と2回目の比較</p> <table border="1"> <caption>自己評価の推移 (GN25)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2023/10/13</th> <th>2024/3/13</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活リズムの改善</td><td>3.5</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>マナーの向上</td><td>3.0</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>2.5</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>2.0</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>引きづくりや目標設定の改善</td><td>1.5</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>1.0</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>0.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>状況把握能力の向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>自己肯定感・自尊感情の向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>動労意欲の向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>働く自信の向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>実行力の向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>求職活動状況の改善</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>選抜機会の拡大</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>知識や技術の向上</td><td>0.0</td><td>0.5</td></tr> </tbody> </table>	項目	2023/10/13	2024/3/13	生活リズムの改善	3.5	4.0	マナーの向上	3.0	3.5	体力・健康の改善	2.5	3.0	ストレスコントロールの改善	2.0	2.5	引きづくりや目標設定の改善	1.5	2.0	コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5	対人関係の改善	0.5	1.0	対人スキルの向上	0.0	0.5	状況把握能力の向上	0.0	0.5	自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	0.5	動労意欲の向上	0.0	0.5	働く自信の向上	0.0	0.5	実行力の向上	0.0	0.5	求職活動状況の改善	0.0	0.5	選抜機会の拡大	0.0	0.5	知識や技術の向上	0.0	0.5
項目	2023/10/13	2024/3/13																																																		
生活リズムの改善	3.5	4.0																																																		
マナーの向上	3.0	3.5																																																		
体力・健康の改善	2.5	3.0																																																		
ストレスコントロールの改善	2.0	2.5																																																		
引きづくりや目標設定の改善	1.5	2.0																																																		
コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5																																																		
対人関係の改善	0.5	1.0																																																		
対人スキルの向上	0.0	0.5																																																		
状況把握能力の向上	0.0	0.5																																																		
自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	0.5																																																		
動労意欲の向上	0.0	0.5																																																		
働く自信の向上	0.0	0.5																																																		
実行力の向上	0.0	0.5																																																		
求職活動状況の改善	0.0	0.5																																																		
選抜機会の拡大	0.0	0.5																																																		
知識や技術の向上	0.0	0.5																																																		

年齢・性別・区分	【O-001】 50代前半 男性 難病患者、生活困窮
紹介機関	なし
支援経緯	難病を患っており、障害者枠での求人を探していたがなかなか決まらない状況であった。チラシを見てモデル事業を知り、説明会を経てモデル事業へ参加。
現在の状況	生活保護を受給しながら生活している。家族の介護や、持病により体調にも波があるため、現在は働いていない。肉体労働は身体的に難しいため、デスクワークのような仕事で、生活保護の受給額以上の給料を希望していたが、自身の体調が不安定であることから、本人判断にて事業を一時中断した。
支援内容	相談支援 : 各種希望条件、職務経歴の確認を行った。 求人情報を提供する中で、希望条件と合う企業を探した。 求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。
効果	○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。 ・本人の意向で、現在は就労活動の支援は行えていないが、相談しながら就労希望条件の整理を行うことができた。
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【O-003】 60代 女性 身体疾患（障害者手帳返却）																																		
紹介機関	なし																																		
支援経緯	リュウマチ発症後、離職。体調を考慮しながら就職活動を行っていたが、採用には至っていない。本事業関係者の知り合いからの紹介により、週20時間就労であれば、体調にあった働き方ができるのではないかと考え事業へ参加。																																		
現在の状況	求人幅広く紹介する中で、本人が希望した職場で見学を実施。その後、面接に臨んだが採用には至らなかった。フィードバック支援を行う中で、事業利用の停止を本人が希望したため、事業終了となった。																																		
支援内容	<p>相談支援：各種希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。</p> <p>求職登録支援：求職票登録確認、職場見学への同行を行った。 求人内容に添ったの配慮事項のヒアリングを行った。</p> <p>求人応募・面接支援：企業応募に向けた書類や内容の確認を行った。</p>																																		
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p>・本人が希望する職場で面接を実施できた。採用には至らなかったが、就労に向けた支援があることを認識することができ、自身が求職活動を行う際に確認するポイントなどを知る機会となった。今回の事例を機に支援機関と連携しながら求職活動を始めることが出来た。</p>																																		
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <table border="1"> <caption>自己評価の推移 (2023/11/1)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活リズムの改善</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>マナーの向上</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>計画づくりや目標設定の改善</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>状況把握能力の向上</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>自己肯定感・自尊感情の向上</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>勤労意欲の向上</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>働く自信の向上</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>実行力の向上</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>求職活動状況の改善</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>選択機会の拡大</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>知識や技術の向上</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table> <p>— 2023/11/1</p>	項目	スコア	生活リズムの改善	3.5	マナーの向上	3.0	体力・健康の改善	2.5	ストレスコントロールの改善	2.0	計画づくりや目標設定の改善	1.5	コミュニケーション能力の向上	1.0	対人関係の改善	0.5	状況把握能力の向上	0.0	対人スキルの向上	0.0	自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	勤労意欲の向上	0.0	働く自信の向上	0.0	実行力の向上	0.0	求職活動状況の改善	0.0	選択機会の拡大	0.0	知識や技術の向上	0.0
項目	スコア																																		
生活リズムの改善	3.5																																		
マナーの向上	3.0																																		
体力・健康の改善	2.5																																		
ストレスコントロールの改善	2.0																																		
計画づくりや目標設定の改善	1.5																																		
コミュニケーション能力の向上	1.0																																		
対人関係の改善	0.5																																		
状況把握能力の向上	0.0																																		
対人スキルの向上	0.0																																		
自己肯定感・自尊感情の向上	0.0																																		
勤労意欲の向上	0.0																																		
働く自信の向上	0.0																																		
実行力の向上	0.0																																		
求職活動状況の改善	0.0																																		
選択機会の拡大	0.0																																		
知識や技術の向上	0.0																																		

年齢・性別・区分	【O-004】 60代 女性 障がい者（精神障がい） 高齢者
紹介機関	障がい者施設（就労継続支援A型事業所）
支援経緯	勤めていた就労継続支援事務所を定年退職するにあたり、次の勤務先を探していたが、統合失調症を発症していること、高齢であること、体力に自信がないことから、自身に適した仕事がなかなか見つからないため、事業へ参加。
現在の状況	令和5年6月30日にて契約期間満期終了後、改めて本人から週20時間未満にて就労を希望する意向があったため、求人情報を提供し支援を行っている。
支援内容	<p>相談支援 : 各種希望条件の確認、職務経歴の確認支援。求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 職場見学、職場体験を実施 面接同行支援を実施した。</p> <p>入社支援 : 労働条件内容、入社日を企業との間に入って確認、相談調整。入社待機期間中のフォローを行った。</p> <p>定着支援 : 電話・訪問する事による就業状況の確認を行った。</p>
効果	<p>○求職者の就労希望を叶えることができた。</p> <p><勤務内容></p> <p>企業名 : 株式会社 百年プロジェクト</p> <p>期間・時間 : 令和5年4月1日～令和5年6月30日 ・週5日・3時間/日</p> <p>仕事内容: 調理補助（容器洗浄、資材の補充）</p> <p>・本人からは、「初めてする作業だったので不安があったが、仕事の内容も理解でき、負担に思うことなくできた。職場の雰囲気も良く、他の従業員さんも優しく声かけしてもらったので、思った以上に時間が立つのが早く感じて、とても楽しく仕事できました。」との感想が聞けた。</p> <p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。</p> <p>・当初は高齢であることを企業側が不安視していたが、通所中であった支援事業所の教育が非常に行き届いており、コーディネーターが企業に説明を行う中で、企業戦力になるとの判断から採用に結びつけることができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【O-006】 30代 男性 障がい者（精神障がい）・長期無業者
紹介機関	病院
支援経緯	大学卒業後、3か月で働いていた会社を解雇となりその後、数社バイトを点々とする中で、障がい者就労移行支援事業所も利用していた。通院している病院から、モデル事業の紹介があり個別相談会へ参加。
現在の状況	通院と在宅介護を利用しており、現在就職を検討する段階ではないとの、自己判断より事業利用停止となった。
支援内容	<p>相談支援 : 希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。</p> <p>・体調が不安定、病院通院もある中、週20時間未満の就労を目標とした就職準備、各支援機関の利用、ボランティア、相談など就職に向けた活動を少しずつ行うことで一歩踏み出すことができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

年齢・性別・区分	【O-007】 40代 女性 がん患者
紹介機関	なし
支援経緯	2年前まで家族が行っている自営業を手伝っていた、持病で通院の必要があり、身体的な制限もある。Webサイトよりモデル事業を知り、個別相談会へ参加。
現在の状況	自身でも就職活動を行うなかで、在宅ワークでの就職となったため、事業利用終了。
支援内容	<p>相談支援 : 希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認を行った。 求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 週20時間未満の求人情報の提供を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。 ・モデル事業を通して職業紹介機関への登録を行っており、事業をきっかけに就職活動を行うことが出来た。</p> <p>○効率的にマッチングができた。 ・就職に向けた支援の情報提供を効率的に行うことができた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <p>生活リズムの改善 4.0 マナーの向上 3.5 体力・健康の改善 3.0 ストレスコントロールの改善 2.5 計画づくりや目標設定の改善 2.0 コミュニケーション能力の向上 1.5 対人関係の改善 1.0 状況把握能力の向上 0.5 対人スキルの向上 0.5 自己肯定感・自尊感情の向上 0.5 勤労意欲の向上 0.5 働く自信の向上 0.5 実行力の向上 0.5 求職活動状況の改善 0.5 選択機会の拡大 0.5 知識や技術の向上 0.5</p> <p>2023/10/30</p>

年齢・性別・区分	【O-008】 60代 女性 障がい者（身体障がい）																																		
紹介機関	なし																																		
支援経緯	失業手当が切れるタイミングでハローワークなどで仕事を探していたが、高齢であることや身体的な課題から見つからず、ハローワークの掲示板でモデル事業のチラシを見て、個別面談会へ参加。																																		
現在の状況	障がい者施設（就労継続支援A型）に就職が決定したため、事業利用終了となった。																																		
支援内容	<p>相談支援：希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。</p> <p>求職登録支援：求職票登録を行った。</p> <p>求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。</p> <p>求人応募・面接支援：企業への求人内容の確認。職場見学への同行を行った。</p>																																		
効果	<p>○働きづらさを抱える人の週20時間未満就労ニーズの掘り起こしに繋がった。</p> <p>・本事業をきっかけに幅広い働き方を検討する中で、就労継続支援A型事業所も検討しサービスの利用が決定した。</p> <p>○求職者と企業のミスマッチを防ぐことが出来た。</p> <p>・職場見学を実施することで、職場の雰囲気や具体的な業務内容などを理解することができた。自身の身体状況を考慮する中で、面接への応募には至らなかったが、事前に確認を行うことでミスマッチを防ぐことができた。</p>																																		
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	<p>1回目</p> <table border="1"> <caption>自己評価の推移 (2023/11/1)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活リズムの改善</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>マナーの向上</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>体力・健康の改善</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>ストレスコントロールの改善</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>計画づくりや目標設定の改善</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>コミュニケーション能力の向上</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>対人関係の改善</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>状況把握能力の向上</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>対人スキルの向上</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>働く自信の向上</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>勤労意欲の向上</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>自己肯定感・自尊感情の向上</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>知識や技術の向上</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>選択機会の拡大</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>求職活動状況の改善</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>実行力の向上</td><td>1.5</td></tr> </tbody> </table> <p>2023/11/1</p>	項目	スコア	生活リズムの改善	3.5	マナーの向上	3.0	体力・健康の改善	3.0	ストレスコントロールの改善	2.5	計画づくりや目標設定の改善	2.0	コミュニケーション能力の向上	1.5	対人関係の改善	1.0	状況把握能力の向上	1.0	対人スキルの向上	1.0	働く自信の向上	1.0	勤労意欲の向上	1.0	自己肯定感・自尊感情の向上	1.0	知識や技術の向上	3.0	選択機会の拡大	2.5	求職活動状況の改善	2.0	実行力の向上	1.5
項目	スコア																																		
生活リズムの改善	3.5																																		
マナーの向上	3.0																																		
体力・健康の改善	3.0																																		
ストレスコントロールの改善	2.5																																		
計画づくりや目標設定の改善	2.0																																		
コミュニケーション能力の向上	1.5																																		
対人関係の改善	1.0																																		
状況把握能力の向上	1.0																																		
対人スキルの向上	1.0																																		
働く自信の向上	1.0																																		
勤労意欲の向上	1.0																																		
自己肯定感・自尊感情の向上	1.0																																		
知識や技術の向上	3.0																																		
選択機会の拡大	2.5																																		
求職活動状況の改善	2.0																																		
実行力の向上	1.5																																		

年齢・性別・区分	【O-009】 70代 女性 高齢者
紹介機関	なし
支援経緯	本事業への支援協力を得た商業施設の掲示板に貼られたチラシを見て問い合わせし、事業に参加。地域シルバー人材センターに登録しているが会費がいる事とスポット的な業務が多いことから、固定収入を増やしたいと本事業に参加。
現在の状況	複数回の面談と電話による相談対応を実施、企業見学を行い、応募するか検討中。
支援内容	<p>相談支援 : 希望条件の確認、職務経歴の確認を行った。</p> <p>求職登録支援 : 求職票登録確認、履歴書確認を行った。</p> <p>求人応募・面接支援 : 企業への求人内容の確認、職場見学への同行を行った。</p>
効果	<p>○働きづらさを抱える人の就労のハードルが下がった。</p> <p>・実際に職場を見学し応募を行う際の書類の準備を行うなど、実際に働く際のイメージを知ることができ就職に向けた活動を始めることが出来た。</p> <p>○効率的にマッチングができた。</p> <p>・企業見学で現地に行くことで、想定している自転車での通勤に1時間程かかる事が分かったことから、通勤時の安全性の確保が課題であることが認識できた。</p>
事業利用前後の変化 (GN25による自己評価の推移) ※データが収集できた者のみ	

3. 令和5年度の成果

(1) 成果とその要因

【成果】働きづらさを抱える人及び企業の週 20 時間未満就労（雇用）ニーズの掘り起こしに繋げることができた。

- ・ 家庭の事情や健康上の理由などで、短い時間しか働けない人やフルタイムで働くことに不安を感じている求職者 28 名を短時間の求職登録に繋げることができた。
- ・ 人手不足で悩んでいるまたは多様な働き方を検討している企業 21 社を短時間の利用登録に繋げることができた。

【要因】新たな選択肢として週 20 時間未満の働き方を周知した。

- ・ オンライン説明会による支援機関への周知 視聴者数 69 名
- ・ 飯塚市、大牟田市広報紙への掲載 各市 4 回
- ・ 求職者説明会の開催 総参加者数 55 名
- ・ 個別相談会の開催 総参加者数 12 名
- ・ 商業施設での出張相談会の開催 総参加数 9 名
- ・ 企業説明会の開催 総参加企業数 19 社
- ・ 商業施設テナント企業への説明会を実施 総参加企業数 49 社
- ・ 商工会、商工会議所会報誌へのチラシ折り込み 総折り込み回数 3 回
- ・ 企業への個別訪問 訪問企業数 36 社

【成果】働きづらさを抱える人及び企業の就労（雇用）のハードルを下げることもできた。

- ・ 働きづらさを抱える人及び企業が就労（雇用）しやすい環境づくりができた。

【要因】働きづらさを抱える人及び企業の課題の解決方法として新たな選択肢を示した。

- ・ 業務内容や就労時間が長いことで働きづらさを抱える人に対して新たな働き方を示した
- ・ 業務内容から働きづらさを抱える人の雇用が難しいと考える企業に対して業務を細分化することで雇用の可能性を示した。

【成果】働きづらさを抱える人の就労意欲を高めることができた。

- ・説明会アンケート結果で参加者の 78%から働きたい気持ちが「とても高まった」「少し高まった」との回答が得られた。

【要因】週 20 時間未満の働き方は一歩踏みだすきっかけであり、伴走して支援を行うこと及び具体的な就労イメージが掴める事例を紹介した。

- ・求職者説明会 4 回開催
- ・個別面談会 6 回開催
- ・令和 4 年度に就職した 4 件の就労事例を紹介。

【成果】効率的にマッチングができた。

- ・飯塚市 2 名 大牟田市 2 名の就労（雇用）が行えた。

【要因】求職者と企業の間に入って支援を実施

- ・求職者に対しては、書類作成や面接などの応募準備、定期的な相談支援による職場体や企業見学を実施してきた。
- ・企業に対しては、業務の切り出し支援、求人業務が実施できる求職者を紹介してきた。

【成果】求職者と企業 mismatches を防ぐことができた。

- ・就職した 4 名のうち 3 名は現在（3 月 31 日時点）も継続した就労が行えている。

【要因】求職者と企業に対して定着支援を実施

- ・就労（雇用）から 1 か月間は、週 1 回電話にて求職者、企業担当者にヒアリングを実施。その後は求職者と企業の状況に合わせてヒアリングの頻度を減らしていくことで、支援からの自立を目標とした。
- ・求職者、企業から要望があった際には都度、電話または訪問にてヒアリングを実施した。
- ・就労（雇用）開始後 1 か月を目途に、職場訪問を行い就労状況の確認を行った。
- ・企業のみ雇用開始後 3 か月を目途に、求職者の就労状況の評価アンケートを実施し、ヒアリングを実施した。

4. 週 20 時間未満就労モデル事業の実証・確認結果

(1) 評価（有効性の確認）

- ・令和 4 年度から令和 5 年度まで実施してきた、週 20 時間未満就労モデル事業は、次の項目について、働きづらさを抱える人への週 20 時間未満就労の有効性はあると考える。ただし、有効性を確実なものにするためには、もっと多くの事例を創出する必要がある。

【評価】働きづらさを抱える人の週 20 時間未満就労（雇用）ニーズの掘り起こしに繋がった。

- ・2 年間のモデル事業を通じて、延べ企業 42 社、求職者 52 名の方が事業を利用し、人手不足を解消したい企業、無理のない働き方で少しでも収入を得たい求職者などの週 20 時間未満の就労（雇用）のニーズを掘り起こすことができた。
＜令和 4 年度事業利用者＞ 企業 21 社、求職者 24 名
＜令和 5 年度事業利用者＞ 企業 21 社、求職者 28 名
- ・就職活動を行っていく中で、自己理解が深まり、就労希望条件が明確化した。

【評価】働きづらさを抱える人及び企業の就労（雇用）のハードルが下がった。

- ・家庭の事情や健康上の理由などで短い時間しか働けない人やフルタイムで働くことに不安を感じている人から、就労を検討するきっかけとなったとの声があった。
- ・業務内容や体調の不安定さなどで、働きづらさを抱える人を雇用することに対して懸念があった企業から、雇用を検討するきっかけとなったとの声があった。

【評価】働きづらさを抱える人の就労意欲が高まった。

- ・令和 5 年度の求職者説明会参加者へのアンケートで、78%の求職者が就労意欲が高まったと回答しており、同年度のモデル事業利用者で、事業終了まで支援を受けた方が 7 名いた。本事業が就職に向けたきっかけの一つになった。
- ・一方、就労意欲が高まらなかった方の理由としては、様々な業種での就労事例を知りたかったとの回答だった。
＜令和 4 年度求職者説明会参加者アンケート結果＞ 就労意欲が高まった 67%
＜令和 5 年度求職者説明会参加者アンケート結果＞ 就労意欲が高まった 78%

【評価】効率的にマッチングができた。

- ・2年間のモデル事業を通じて、事業利用者延べ52名のうち12名にマッチングを行っており、利用者全体のマッチング率は23%であった。企業への応募へ繋がるよう、職場見学や体験の案内を行い、実施の際は、組合コーディネーターが同席し、求職者及び企業の不安点を軽減することで、効率的なマッチングに繋がった。

<令和4年度マッチング率> 25% (事業利用者24名のうち6名)

<令和5年度マッチング率> 21% (事業利用者28名のうち6名)

【評価】求職者と企業のミスマッチを防ぐことができた。

- ・就職した8名のうち、報告書作成時点で自己都合による退職者は1名、雇用期間満了まで就労した者は4名、就労中の者5名のうち2名は雇用契約を更新し1年以上の就労が行えている。
- ・就職直後から定着支援を行うことで、業務の幅や時間に関しても適宜調整を行い求職者と企業とのミスマッチを防ぐことができた。
- ・I-001の事例では、企業と就労者にヒアリングを行い、業務中の改善案などを一緒に検討した。両者の意向を随時確認することで、週20時間未満という短時間就労でも、職場内での円滑なコミュニケーションや業務内での連携を行えた。O-002の事例でも、職場以外でコーディネーターと情報共有を行うことで日々の不安を軽減し、身体的負担のない範囲で就労をスタートできた。

(参考) その他にも以下の効果が見られた。

○求職者の就労希望を叶えることができた。

- ・就労に向けた方向性を整理し、本人が就職活動を行うことで、就労希望を叶えることができた。

○働きづらさを抱える人が働きやすい職場づくりができた。

- ・障がい者支援に携わる組合コーディネーターの経験を生かし、筆談環境整備及び防水対策を行った携帯アプリによるコミュニケーション対応等の導入支援を行うことや就労後発生する様々な困りごとに対してあらかじめ相談方法を確認しておくことで、スムーズな意思疎通ができるようになり、働きづらさへの合理的な配慮を受けながら、安心して働くことが出来る職場づくりができた。

○現時点での適切な支援に繋げることができた。

- ・支援機関と連携しながら支援することで、現時点で就職活動が難しいことが分かり、生活保護の受給に繋げることができた。

(2) 今後に向けての課題と改善点

【課題】 事業利用者及び企業の確保

- ・モデル事業の有効性を確認する為にはより多くの事例を確保する必要がある。

【改善点】

- ・モデル事業継続に伴い、徐々に当該者を支援する担当者まで週 20 時間未満の働き方が周知できたが、継続的な情報発信やさらなる周知が必要であると思われる。支援機関を通じた広報を継続すると共に、地域のイベントや出張相談会などの機会を増やすことで事業利用者及び企業の確保に繋げる。
- ・令和5年度のモデル事業では、窓口を行う当協同組合と職業紹介を行う機関への登録をそれぞれ行う必要があるなど、手続に時間を要することで事業利用まで至らなかった事例があったことから、一カ所で登録が行えるようにするなどの工夫をすることが望ましい。

【課題】 求人企業と求職者間のニーズのずれへの対応

- ・実施地域の企業は中小企業が多く、企業は既存の社員と同様に多様な業務に対応できる者を求める傾向がある。
- ・週 20 時間未満の就労希望者で早急に収入を必要とする求職者は少なく、希望する就労条件と合致した求人を望む傾向がある。

【改善点】

- ・企業に対して、モデル事業の理念「企業の困りごとを解決するための業務を切り出し、その業務ができる人を短時間で雇用することで企業戦力となる。家庭の事情や健康上の理由で短時間しか働けない人の働く場を創出する。」を共有することで、求める人材の定義を変えよう促す。
- ・地域で活動する各支援機関と連携を行い、求職者が希望する就労条件とできる業務内容を確認する場を作り、就労に向けた支援の流れを一緒に検討することで、ニーズのずれを軽減する。

【課題】 通勤負担の少ない働き方の開拓

- ・通勤を前提とした求人が多いが、求職者からは、身体的や精神的な理由で自家用車や公共交通機関を利用した通勤が難しいとの声がある。
- ・短時間の場合交通費が支給されない求人が多いが、求職者からは、交通費が負担になり選定する企業が限られてくるとの声がある。
- ・交通機関が少ない事で通勤手段の確保（地域によっては公共交通機関が少ない）が難しい場合がある。

【改善点】

- ・産業や立地の関係で、テレワークや企業への通勤日数が勤務日数より少ない勤務を行っていない企業であれば、業務を分析し働き方の提案を行っていく。
- ・すでにテレワークなどを実施している業種に優先してアプローチを行っていく。

【課題】 地域における支援体制の構築

- ・就労前後のみに支援を行うモデル事業だけでは、就労意欲の向上や就労準備性の判断が難しい事例があり、対応を行っている既存の支援機関との連携の必要性が出て来たため。
- ・支援機関との連携、企業開拓、マッチングの前に実施する企業での体験や見学、求職者との面談、就職後実施する定着支援など、きめ細やかな支援を行うためには地域に根差して活動できるスタッフが必要である。

【改善点】

- ・就職に向けたモデル支援体制を事前に作成し、実施地域の支援機関と共有しておく。
- ・円滑に連携、支援ができるよう、地域で活動するスタッフは地域に拠点を置き、専従のスタッフとする。

(3) まとめ

・飯塚市・大牟田市における週 20 時間未満就労（雇用）の取組は、既存の取組が全くな
いところから始めた。求職者・企業への周知から実際に就労（雇用）まで繋げるには、支
援機関等に、週 20 時間未満の就労モデル事業の理念を共有し、週 20 時間未満の就労が新
たな選択肢としての周知が不可欠であった。

・地域の労働人口が減少し続ける昨今、人手不足など企業の困りごとに対する何らかの対
策は日に日に必要性を求められている。企業が多様な働き方を検討する中、新たな取り組
みとして短時間で雇用を支援する事で、課題の解決を提案しメリットを共有できるまで
には期間を要した。

・求職者においては、週 20 時間未満の働き方やこれらの支援があることで就労に対する
ハードルが下がり、就労を検討する機会を提供することができた。それぞれ個別の働きづ
らさを抱えており、相談支援を行う中で一緒に就労に向けた次のステップを確認していく
ことで、就労まで密着した支援を実施することができた。

・また、自身で働き続けられる自信ができる事により、次のステップとなる就労時間の拡
大と仕事の幅を増やしていくなど支援から自立していくきっかけにもなった。

・企業においては、切り出し支援を行うことで業務内容を改めて整理する機会となり、週
20 時間未満の雇用を行うことで人手不足が軽減できた。また定着支援を行うことで、働き
づらさを抱える人を雇用する不安を軽減し、様々な人を雇用するきっかけとなった。

・2年間モデル事業を実施する中で、モデル地域での事業認知度は高まったが、既存の支
援では支援が行き届かなかった方へ、支援を届けるためには地域に密着した行政、商工会
議所をはじめとした関係団体、支援機関との連携が重要であると感じた。

・令和 6 年 4 月から、障害者雇用促進法の改正により、障害特性により長時間の勤務が困
難な障害者の方の雇用機会の拡大を図る観点から、特に短い時間（週所定労働時間が 10
時間以上 20 時間未満）で働く重度身体障害者、重度知的障害者、精神障害者の方を雇用
した場合、特例的な取扱いとして、実雇用率上、1 人をもって 0.5 人と算定できるよう
になった。

・また、今後予定されている、育児休業・介護休業法の改正により、子が 3 歳以降小学校
就学前までの両立支援として、短時間勤務制度を含む複数の制度を選択できるようにする
ことが企業に義務付けられるなど、短時間勤務制度の必要性が増している。

・このタイミングで週 20 時間未満就労の有効性を検討したことは有意義であった。

・本モデル事業は今年度で終了するが、本モデル事業の実証・確認結果が広く知られ、短
時間就労（雇用）が一般的となり、自治体の多様な支援、企業における働き方が広まるこ
とで、働きづらさを抱えている方の一歩踏み出すきっかけまたは企業の課題解決の糸口と
なることを期待している。

參考資料

(1) 実行委員会、有識者会議

・モデル事業の実施にあたっては、実効性を高めるため、県が設置した実行委員会及び有識者会議にて意見を求め事業を行うための参考とした。会議では資料に掲載する情報の提供、会議議事録の作成を行った。

〈実行委員会〉

○ 目的

ニート、ひきこもり、難病・がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親等で働きづらさを抱える人の働く場を創出し、社会からの孤立や貧困等の課題解決を図る

○ 所掌事項

目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行うものとする。

- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の推進に関すること。
- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の啓発、事業の周知及び参加促進に関すること。
- ・その他、実行委員会の目的を達成するために必要なこと。

○ 構成員

区分	所属及び役職名
会長	福岡県福祉労働部労働局長
委員	福岡県就労支援協同組合理事長
	大牟田市保健福祉部福祉支援室長
	飯塚市経済部経済政策推進室雇用促進担当主幹
	福岡県人づくり・県民生活部生活安全課長
	福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課長
	福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室長
	福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課長
	福岡県福祉労働部福祉総務課長
	福岡県福祉労働部児童家庭課長
	福岡県福祉労働部障がい福祉課長
	福岡県福祉労働部保護・援護課長

	福岡県福祉労働部労働局労働政策課長
	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課長
	福岡県商工部中小企業振興課長
	福岡県商工部新事業支援課長
オブザーバ	日本財団公益事業部国内事業開発チーム
ー	厚生労働省福岡労働局職業安定部
事務局	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課

○ 開催実績

- ・ 第6回実行委員会
開催日：2023年5月16日
- ・ 第7回実行委員会
開催日：2023年8月29日
- ・ 第8回実行委員会
開催日：2023年11月21日
- ・ 第9回実行委員会
開催日：2024年1月25日
- ・ 第10回実行委員会
開催日：2024年3月（書面開催）

（実行委員会の様子）



〈有識者会議〉

○ 目的

「多様性を認め合う雇用創出事業（働きづらさを抱える人の働く場の創出事業）」に係るモデル事業の実効性を高めるため、専門的見地から意見等を聴取する

○ 構成員

特定非営利活動法人抱樸 理事長
公立大学法人福岡県立大学 名誉教授社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 理事長
国立大学法人東京大学 教授
IN THE STORY 株式会社 代表取締役
公立大学法人福岡女子大学 教授

○ 開催実績

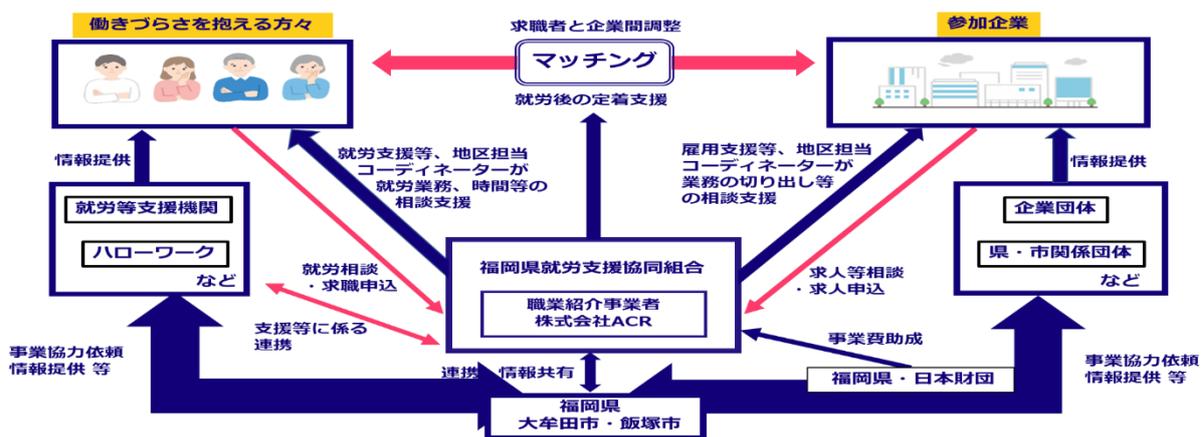
- ・ 第6回有識者会議
開催日：2023年6月1日
- ・ 第7回有識者会議
開催日：2023年9月1日
- ・ 第8回有識者会議
開催日：2023年11月30日
- ・ 第9回有識者会議
開催日：2024年2月1日
- ・ 第10回有識者会議
開催日：2024年3月（書面開催）

(2) 周知広報を行った支援機関（飯塚市、大牟田市）

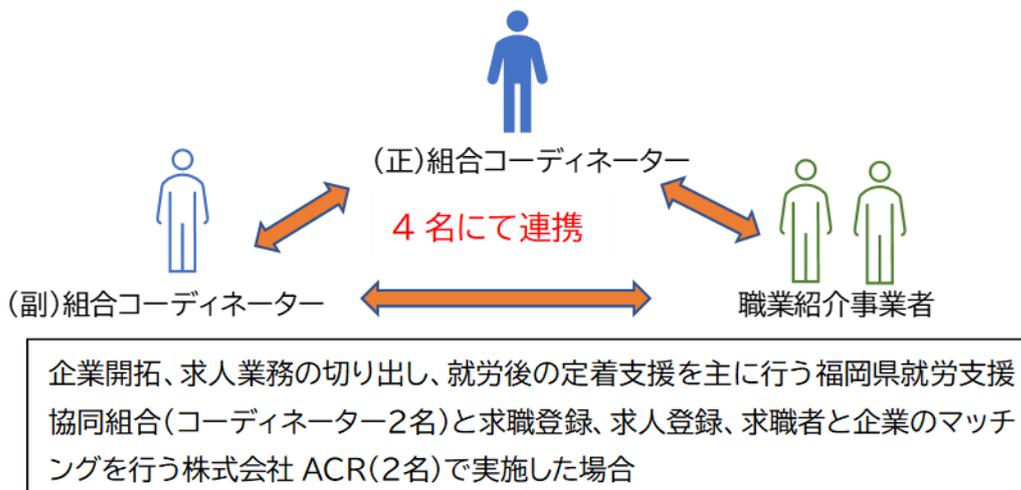
	飯塚市	大牟田市
全般	ハローワーク	
	訪問看護ステーション 飯塚市21カ所、大牟田市19カ所	
	警察署相談窓口（飯塚・大牟田）	
	ホームページ・SNS等 福岡県、飯塚市、大牟田市	
	各市社会福祉協議会（飯塚、大牟田）	
犯罪被害者 等	福岡犯罪被害者総合サポートセンター	
	性暴力被害者支援センター・ふくおか	
	福岡県性暴力加害者相談窓口	
非行少年 等	福岡県若者自立相談窓口	
	非行少年等に対する就労支援事業 NPO法人福岡県就労支援事業者機構	
		大牟田保護区保護司会
起訴・執行猶予者	福岡県地域生活定着支援センター	
ひきこもり	福岡県ひきこもり地域支援センター （筑豊サテライト、筑後サテライト）	
難病患者	福岡県難病相談支援センター	
	福岡市難病相談支援センター	
がん患者	がん拠点病院がん相談支援センター （飯塚病院、大牟田市立病院）	
ひとり親	ひとり親サポートセンター （飯塚ランチ、久留米センター）	
障がいのある人	市障がい福祉担当課（飯塚市、大牟田市）	
	障害者就業・生活支援センター （BASARA（飯塚））、（ほっとかん（大牟田））	
	飯塚市嘉麻市桂川町障がい者 基幹相談支援センター	
	特別支援学校 （嘉穂・柳川・飯塚・大牟田）	
	福岡県障害者職業センター	
生活困窮者	自立相談支援相談窓口（飯塚市、大牟田市）	
		大牟田市 保健福祉部 福祉支援室 福祉課
長期無業者 （ニート等含む）	若者サポートステーション （筑豊）（筑後）	
高齢者	福岡県生涯現役チャレンジセンター 飯塚、久留米（大牟田）	
子育て	福岡県子育て女性就職支援センター （筑豊エリア）（筑後エリア）	
	飯塚市子育て支援センター （5カ所）	大牟田市つどいの広場 （えるる）
女性	男女共同参画推進センター （サンクス）	大牟田市女性センター
精神・福祉	福岡県精神保健福祉センター	
		医療法人富松記念会 三池病院

(3) 令和4年度の支援体制

令和4年度の支援体制図



当協同組合が選任するコーディネーターが働きづらさを抱える人と人手不足などに悩む企業の間に入り、職業紹介事業を行っている株式会社ACRや福岡県など各種機関と連携をしながら支援を行う体制とした。



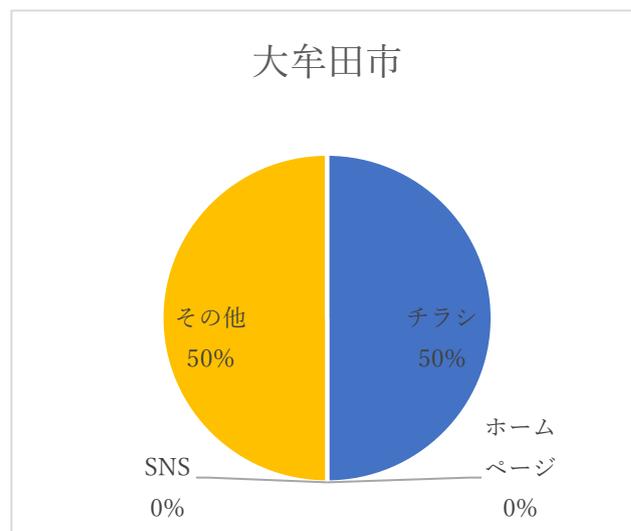
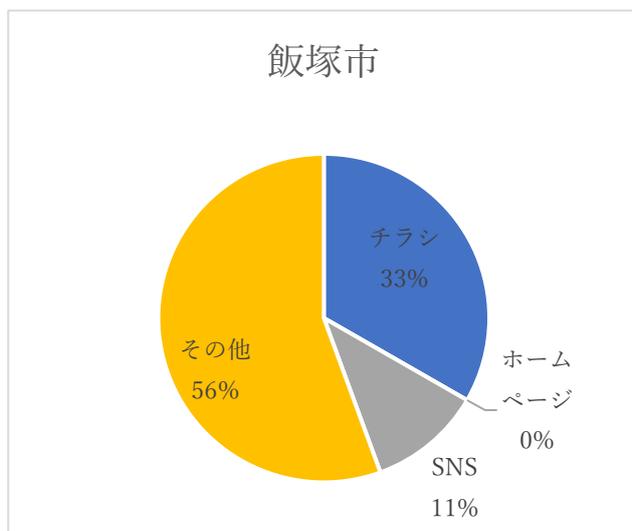
(4) アンケート結果（回答数：20件）

<企業説明会>

地域	開催日	企業説明会			登録企業数
		会場	ZOOM	小計	
		企業数	企業数	企業数	
飯塚	9月6日	12	0	12	1
大牟田	9月22日	8	0	8	3

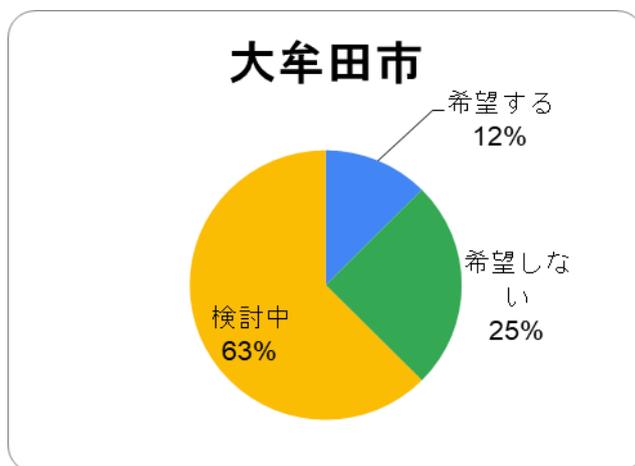
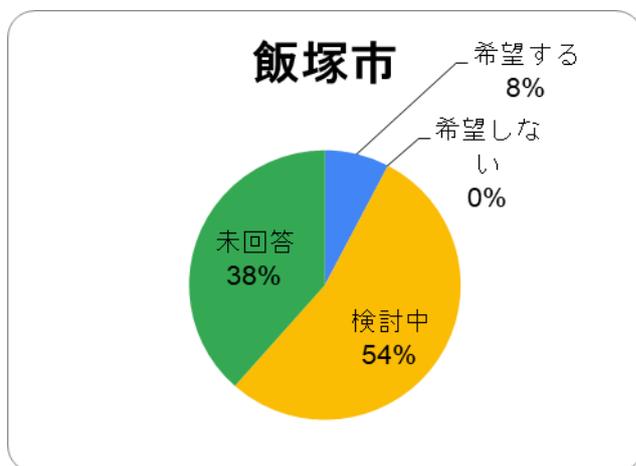
・説明会に参加した企業は、飯塚市・大牟田市ともに医療、福祉関係が1番多く、飯塚市では印刷、同関連業、大牟田市では不動産業、物品賃貸業が2番目に多かった。

●説明会をどうやってお知りになりましたか？



・飯塚では、その他での周知が56%、チラシでの周知が33%。大牟田では、チラシでの周知が50%、その他での周知が50%であった。

●当該事業の利用を希望されますか？



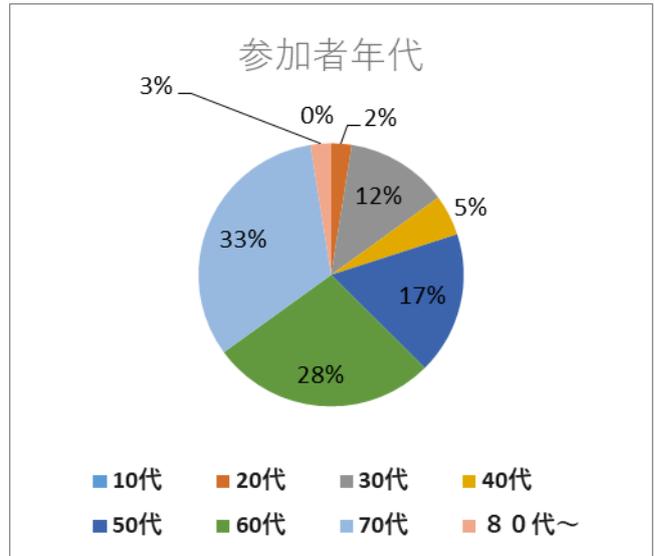
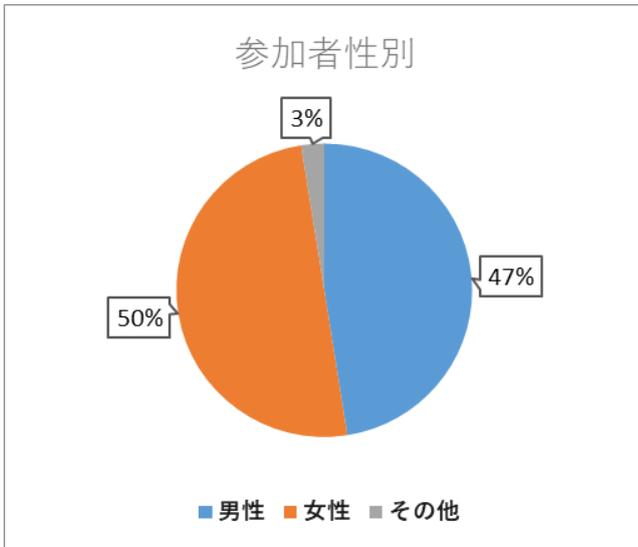
・飯塚市・大牟田市ともに検討中が最も多く、飯塚市では61%、大牟田市では73%であった。

< 求職者説明会 >

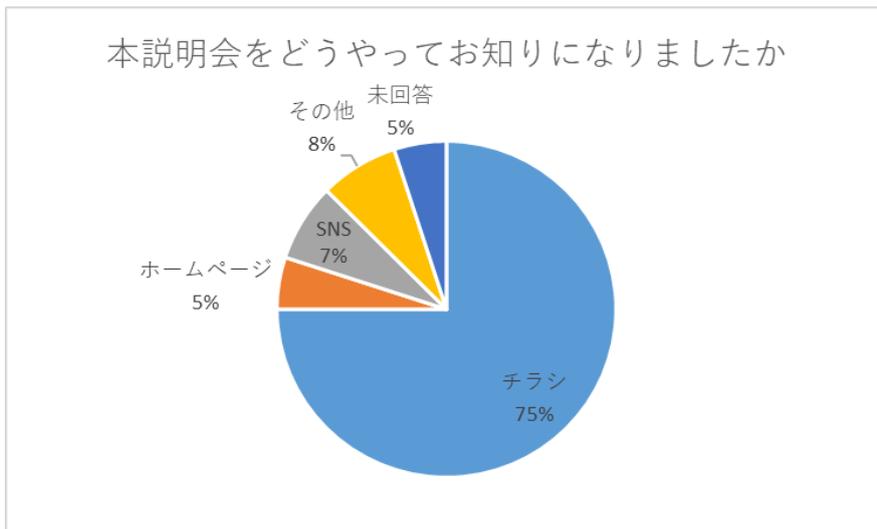
地域	開催日	求職者説明会						合計	求職者の内登録者
		会場		ZOOM		小計			
		求職者数	支援者数	求職者数	支援者数	求職者数	支援者数		
飯塚	7月5日	5	7	0	0	5	7	12	4
	11月8日	7	1	0	0	7	1	8	4
	計	12	8	0	0	12	8	20	8
大牟田	7月19日	18	1	0	1	18	2	20	3
	11月22日	4	2	0	0	4	2	6	0
	計	22	3	0	1	22	4	26	3

・飯塚市の求職者説明会参加者に事業の紹介を行った機関で最も多かったのは、組合と繋がりがあった就労支援事業所であり、次が生涯現役チャレンジセンターであった。

・大牟田市の求職者説明会参加者に事業の紹介を行った機関で最も多かったのは生涯現役チャレンジセンターであり、次が筑後若者サポートステーションであった。

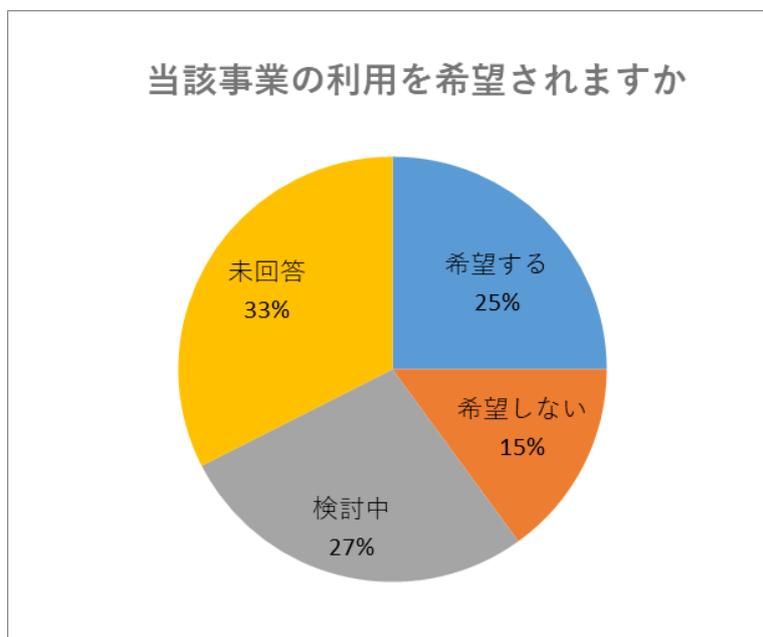


・参加者の内訳は、男性 47%、女性 50%。年齢は 70 代が 33%、次いで 60 代が 28%、50 代が各 17%の参加であった。



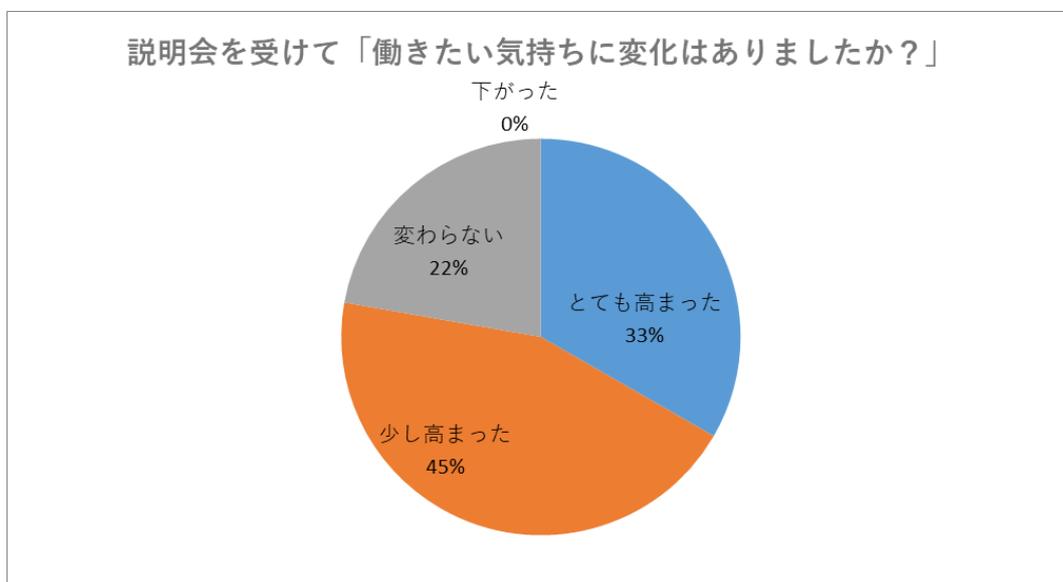
・支援機関等からチラシの配付による参加が 75%。次いでその他が 8%であった。

●当該事業の利用を希望されますか？



※検討中が最も多く、希望すると回答したのは25%であった。

●今回の説明会を受けて「働きたい気持ちに変化はありましたか？」



・説明会参加により働きたい気持ちが高まった（とても高まった、少し高まった）と回答した求職者は、78%であった。

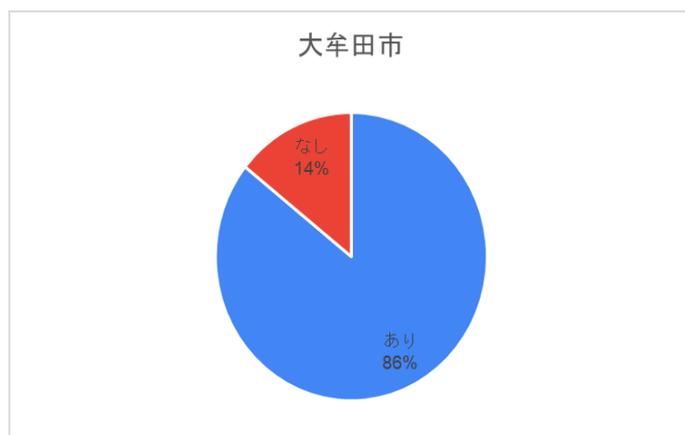
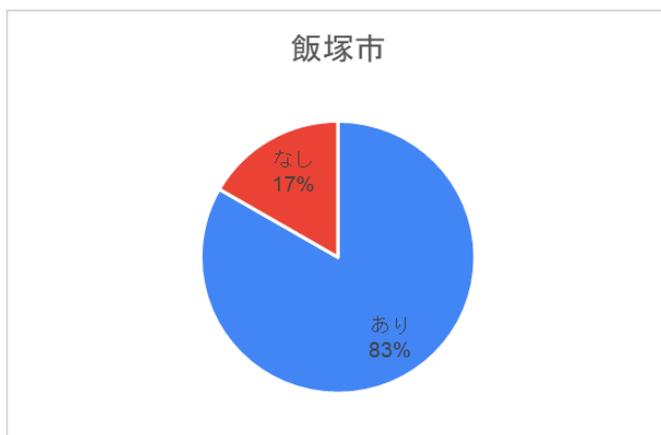
自由記載欄

- ・大変わかりやすかった。今後利用できるか検討したいと思います。
- ・検討して相談させてもらいます。
- ・わかりやすかった。
- ・事例が飲食店のみで、例としては幅が狭すぎて参考になりませんでした。
- ・もう少し具体例が欲しい。募集者の年齢や男女等、何も分からない。
- ・説明会より面談会までの動きが分からない。
- ・説明会の回数を増やしてもらいたい（面談会も同様です。）場所については飯塚市役所でよい。
- ・年齢的には無理できないので、自分のわがままかもしれないが、短時間働けるところがある望みが出来ました。ありがとうございました。
- ・昨年もこのような取り組み（事業）されていたそうだが、全く知らなかった。情報発信の機会をもっと増やしてくれたら知ることが早くできた。筑豊地区は福岡県内の中で古い体質だと思う場面が多くある。その中で、飯塚市がモデルとなって、ここでたくさんの成功を収めることができれば、他市町でも利用できる機会、目に触れる機会も多くなるので、私が成功体験のモデル事例になりたい。
- ・様々な理由から一般的な雇用に繋がりにくい方が多くいらっしゃいます。その中でこのような事業で企業と働きづらさを抱える人を繋ぐ事業は必要とされていると思います。
- ・障がい者枠、一般枠で勤務できる職場が増えるといいなと思いました。
- ・とても、素晴らしい取り組み、支援活動だと思います。
- ・直近までですが、就労経験がありますが、その実態実状を一部お伝えしますが、仕事内容を全て伝えないまま、（言い方を変えれば隠ぺいに近い）短時間であっても厳しい状況が続いてしまうのです。この問題は解消するのに極めて難しいと考えています。
- ・無理せずに普通に働きたい
- ・現在、就労中であるが、少し先のことを考えると検討に値する情報であったと考える。同行した友人と先に何らかの話し合いを行いたい。ありがとうございました。
- ・わかりやすかったです。支援を受けられればとても心強いと思います。

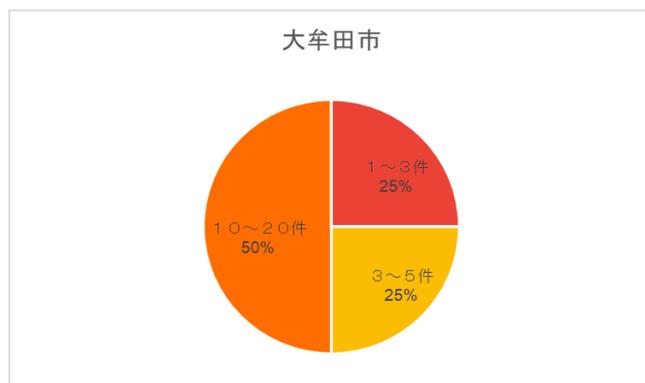
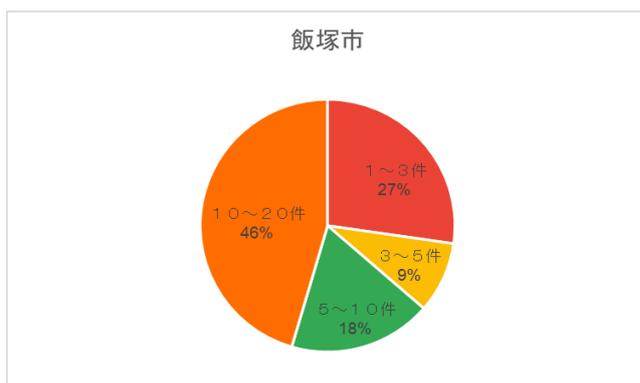
(5) モデル地域の支援機関の声

- ・モデル地域となった飯塚市・大牟田市の19か所の支援機関にアンケートを行い、週20時間未満就労についての意見を集計した。

◆貴機関で短時間就労を希望する相談を受けますか。

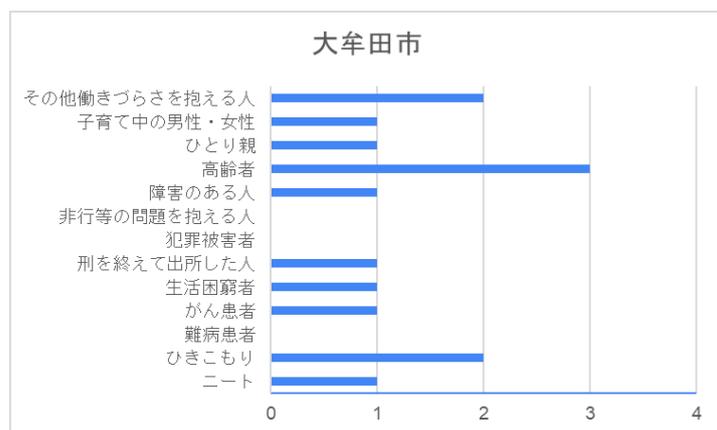
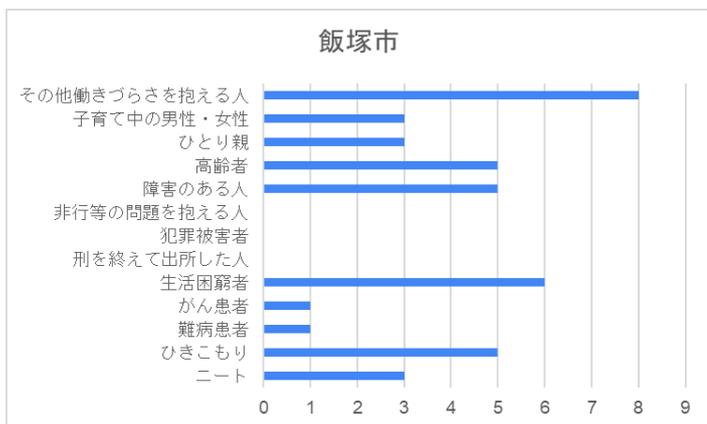


◆(あり) とご回答いただいた方 年間、何件程度のご相談がありますか？



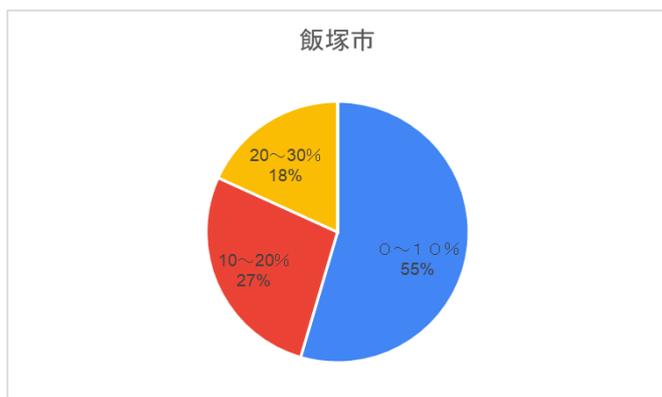
◆ (あり) とご回答いただいた方

短時間就労希望者の区分・傾向を教えてください。



◆ (あり) と回答いただいた方

短時間就労希望に関する相談が全体相談に占める割合 (%) を教えてください。



◆ (あり) と回答いただいた方

モデル事業がない場合にどのような対応をされてきましたか？

【飯塚市】

- ・ 求人誌、ハローワーク求人の提供等
- ・ 企業への相談
- ・ 就業センターへの紹介
- ・ 求人開拓を行う中で、直接企業に確認
- ・ ハローワークにて求人検索
- ・ 自立相談支援窓口、若者サポートステーションなどへの紹介
- ・ 本人の希望に合う求人情報の検索、提供
- ・ 求人開拓
- ・ ハローワークへの相談、求人誌での情報提供
- ・ 若者サポートステーションへの紹介、就職支援
- ・ 求人票記載の就業時間を事業所に確認

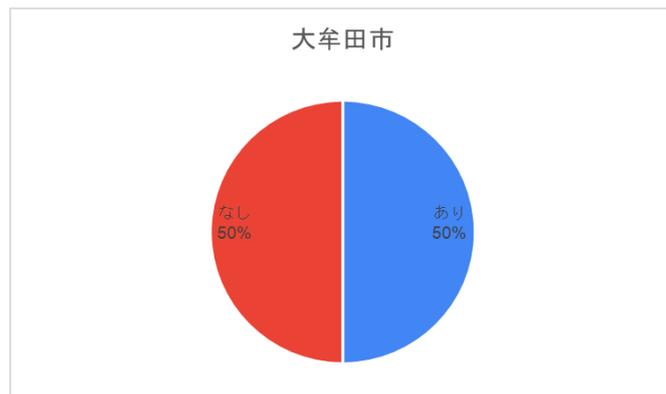
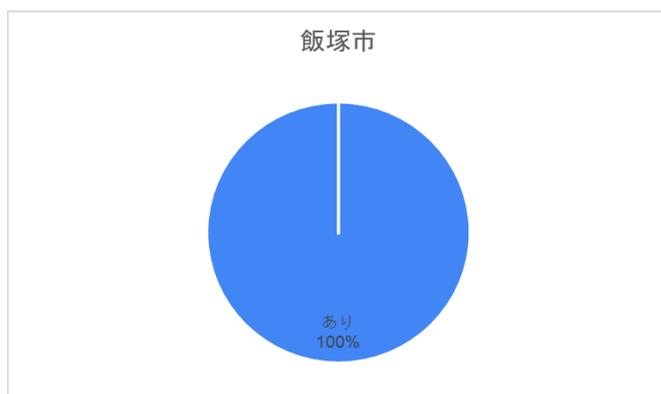
【大牟田市】

- ・ 本人の希望する求人情報の提供。求人開拓
- ・ 就労準備、若者サポートステーションなどへの紹介
- ・ ハローワークの求人情報提供、就労支援ネットワークへ就労支援相談
- ・ 事業所へ本人希望を伝え、応募可否を確認
- ・ 個人のネットワークを使って求人開拓

◆ 求人企業に関する質問

(職業紹介権をお持ちの支援機関さま)

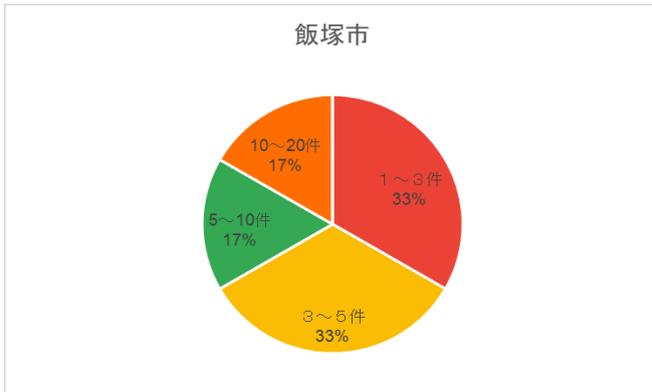
短時間雇用の希望が企業から希望がありますか。



◆（職業紹介権をお持ちの支援機関さま）

（あり）とご回答いただいた方

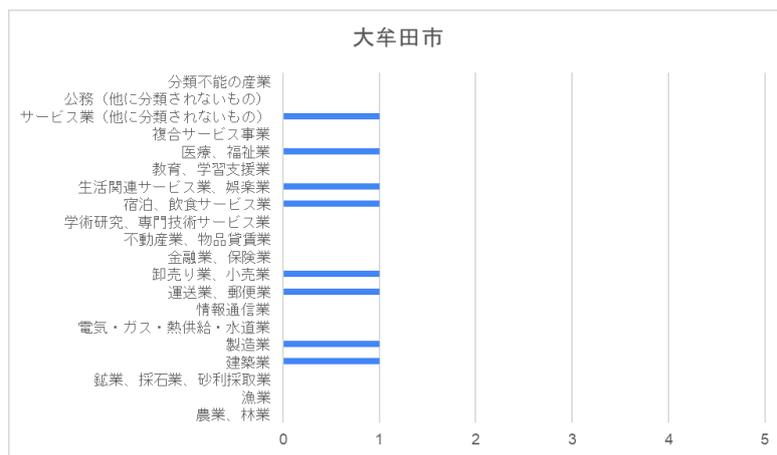
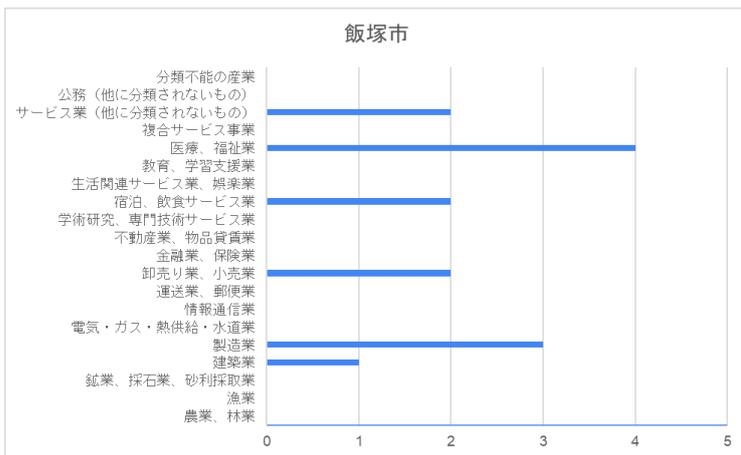
年間、何件程度のご相談がありますか？（1機関あたり）



◆（職業紹介権をお持ちの支援機関さま）

（あり）とご回答いただいた方

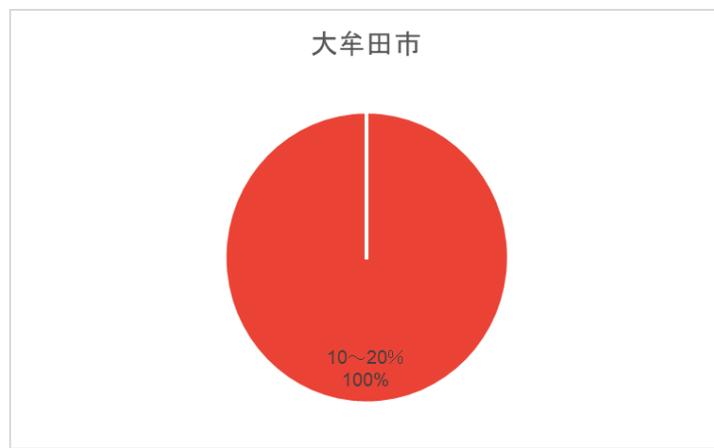
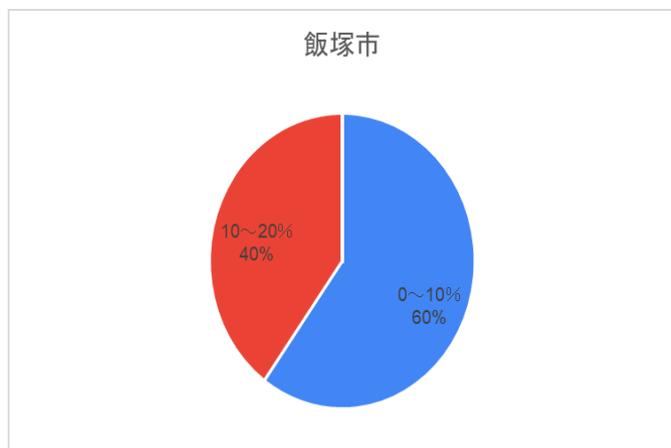
希望企業の業種にチェックを入れてください（複数回答可）



◆（職業紹介権をお持ちの支援機関さま）

（あり）とご回答いただいた方

短時間雇用希望に関する相談が全体相談に占める割合（％）を教えてください。



◆（職業紹介権をお持ちの支援機関さま）

（あり）とご回答いただいた方

モデル事業がない場合にどのような対応をされていましたか？

【飯塚市】

- ・ 求人情報登録および職業紹介～定着支援
- ・ 職業訓練生他、求人媒体
- ・ 求人登録、就業支援センターへの紹介
- ・ 求人情報登録、採用支援
- ・ 職業紹介事業者には全件受理の原則があるため、求人情報の登録は全て実施。また定着支援も義務付けられているため、こちらも適宜実施

【大牟田市】

- ・ ホームページにて求人情報掲載
- ・ 求人情報登録

◆オンラインでの支援対応について、教えてください。



◆(オンラインでの支援を行っていると回答された支援機関さま)

オンラインでの支援内容について教えてください。

【飯塚市】

- ・ 利用登録、相談予約
- ・ 主に相談業務（一部セミナーも実施）
- ・ 相談
- ・ オンライン相談の対応は可だが、まだ利用者なし
- ・ オンライン面談
- ・ 求職者はオンライン支援を実施（相談、オンラインセミナー）、企業へは対面での採用力向上セミナーを実施
- ・ オンライン相談

【大牟田市】

- ・ 支援利用登録
- ・ 職業相談、書類添削、紹介

◆就労支援を広めるために、どのような広報を行われていますか。また貴機関で支援している方に特に有効なものがあればご教授下さい。

【飯塚市】

- ・パコラ（求人折込）掲載
- ・企業開拓
- ・会員向けチラシ郵送配布
- ・有料の求人誌、各自治体の無料広報誌、新聞紙面の記事掲載依頼等
- ・リーフレットの配布、LINE 登録者への情報提供
- ・LINE 相談、メルマガ配信、市町村広報誌への掲載
- ・事業案内の際に実施
- ・リスティング広告、出張セミナー、各自治体の広報手段の活用
- ・機関誌の折込チラシ
- ・リーフレットの配架、窓口での周知

【大牟田市】

- ・ホームページ、新聞折り込みチラシ
- ・ハローワークの活用、SNS 活用
- ・広報紙やリーフレットへの掲載、ホームページでの紹介、就労準備支援事業
- ・ホームページ掲載、市町村等への広報、ポスター掲示。

◆貴機関で把握する求職者が働きたい業務または企業が働いて欲しい業務について傾向が分かれば教えてください。

【飯塚市】

- ・求職者→軽作業、マンション管理等 企業→調理、清掃、介護員・福祉施設支援員
事務系
- ・企業側ニーズは製造業を中心に一般作業員の求人が多いようです
- ・パソコンを使用した業務（事務・デザイン・経理等）
- ・接客が苦手な方が多いので、裏方のような仕事や、コツコツ自分で作業できるような仕事を考えている傾向があります
- ・パソコン入力作業業務
- ・事務系職種希望者が多い
- ・運送・介護・デスクワーク・軽作業
- ・求職者の傾向は特に無し。企業の募集傾向については土木業界が多く見受けられる

【大牟田市】

- ・ 求職者：男性は軽作業全般、マンション管理人。女性は調理補助、清掃、事務
求人事業所からは送迎を含む自家用自動車運転手 65 歳未満、軽作業全般。女性は調理補助、
清掃・洗浄。
- ・ 求職者は事務職希望が多い、企業は全業種にわたって人材不足
- ・ 人と関わらない仕事（コミュニケーションをとりづらい方が多いため）
- ・ 「身体的に負担がかかる仕事は避けたい。」「何の仕事がいいのかわからない。」という求職希望者の方が多い印象を受ける。

◆貴機関で支援している方が働くうえで、何が有効な働き方、職場、業務などと思われるか教えてください。

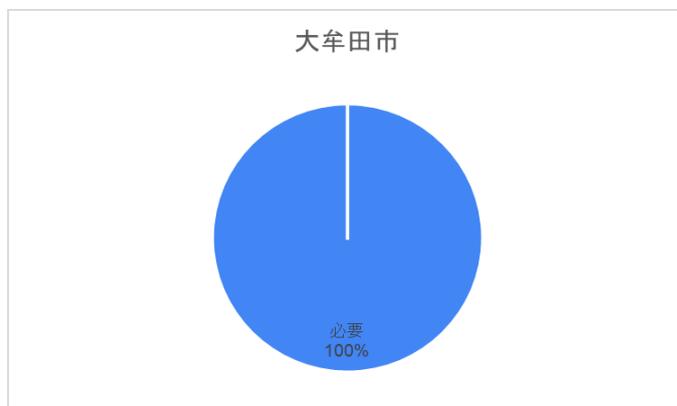
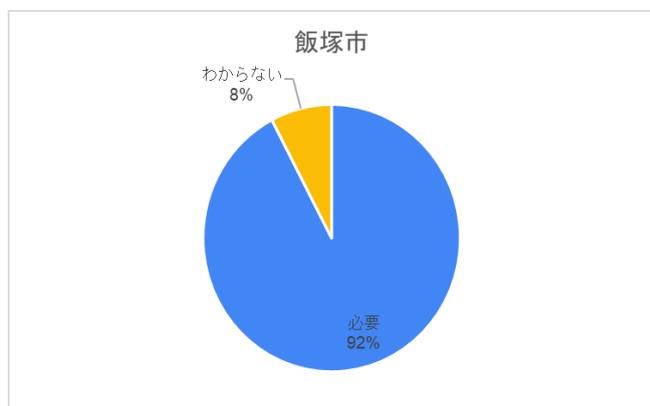
【飯塚市】

- ・ 通勤：マイカー20分程度 勤務時間：20時間～30時間（年齢による）
通勤手段
- ・ 本人の資質や特性を理解したうえで就労の場を提供できる企業。
- ・ 短時間から、在宅ワーク、送迎ありまたは徒歩自転車で行ける。コミュニケーションがあまり必要でない。
- ・ 対人関係が少ない業務、テレワーク
- ・ 子育てに理解があり、突発な休みなどに対応してもらえる
- ・ 在宅ワーク・職場環境（本人の特性を理解する）
- ・ 通勤の負担が少ない、職場での指導者が明確である。

【大牟田市】

- ・ 職種によりますが、早朝からの勤務可能、シフト勤務が可能（土日も勤務可能）、車通勤可能。
- ・ 在宅ワークなどの仕事
- ・ 業務内容、働きづらさに配慮してもらえる。（急な休み等）
- ・ 対象者の方しただが、交通手段がない方も多いいことを考えると徒歩圏内や送迎ありの方が就労につながりやすいのでは？と感じる。

◆働きづらさを抱える人に対する週 20 時間未満就労支援は必要だと思われますか。



◆上記の質問に関する回答の理由をお聞かせ下さい。

【飯塚市】

- ・受け入れ企業の理解が必要。
- ・いきなりのフル勤務では困難なため
- ・いきなりフルタイムでの就労が困難であると思われるが一方で企業側としてはフルタイムのニーズが多数でミスマッチしている状況
- ・困っている方がいる限り支援は必要。
- ・年間で一定層希望する方がいるから。
- ・働く習慣が必要と感じる
- ・始めからフルで働かれて、ペースが分からず離職した方がいる。初めて就労する人や長期間離れている人には長時間は難しいと思う。
- ・多様な働き方が必要な方が増えている。
- ・様々なニーズを持つ求職者を置き去りにしない。
- ・働きづらさを抱えている方は、それぞれ理由があり、一般就労が困難な状況。状況によっては週 20 時間未満から就労を開始することで、一般就労に繋がる可能性がある。
- ・若者就職支援センターに於いては正社員就職を目指す方が多いため。
- ・通常の求人で短期間労働の雇用を探すのは現状では難しいと感じるため
- ・働くことに対する意欲が短時間から少しずつ定着し、週 20 時間以上の就労に繋がって行く事に期待するため

【大牟田市】

- ・仕事に就きたいのに就けない方がいるため。
- ・企業、働き手のマッチングが必要(ハローワークの情報だけでは見えない部分がある)未労働の方を対象にしているため

- ・働きづらさを抱えている人からの相談がある場合、支援の一つとして選択肢を提供できる。
- ・就職後の定着支援等継続した支援が可能。
- ・長時間の就労に自信がない、という声をよく聞くので必要だと感じています。

◆週 20 時間未満就労モデル事業全般に対するご意見をお聞かせください。

【飯塚市】

- ・今後とも、継続して事業を続けて欲しい。
- ・企業側の理解が必要
- ・相談者が住んでいる地域に利用できる企業が増えれば、利用につなげやすい。
- ・企業に理解してもらうことと、採用した場合に企業様への奨励金などを行うことで企業も積極的に採用する可能性が出るのではないか。
- ・ひとり親の方などは、子育てがあり働きたくてもできない状況がある。短時間しか働けない方のために支援の手を差し伸べてほしい。
- ・20 時間未満の就労後に正社員登用の道筋があると利用を促しやすい。
- ・他地域に広がればいいと思う。
- ・良い取り組みと思う。
- ・受け入れ事業者数が少ないので、利用者の選択肢を増やすためには求人開拓が更に必要と考える。
- ・事業自体にまだ知名度が無いので、継続することに意味があると思う。

【大牟田市】

- ・より多くの周知が必要であり、各自治体の認識が必要。
- ・多様な働き方を希望する人の登録が多ければ多いほどマッチングできる確率は上がると思う。
- ・筑後エリアで利用しやすいようにしてもらいたい。
- ・社会の変化に伴い、本人の様々な状況に配慮して、様々な働き方により、本人の自己実現や生活を支えるシステム作りは、必要だと感じている。
- ・来年度以降もできればモデル事業を継続して頂きたい。
- ・求人事業所が増えれば、希望される方も増えていく可能性があるのでは。
- ・交通の便の課題は難しいと感じている。就労意欲を削いでしまうことにもなりかねないので、悩む。また短時間で自信がついた場合でも企業側がそれを望まないならばそこで終わってしまうこともあり得るのか。そこからのステップアップはその市町村などとの連携協力が必要になるのではないか。

週20時間未満就労モデル事業 企業説明会

事業実施者：福岡県就労支援協同組合

福岡県就労支援協同組合とは

日本初の就労支援協同組合
就労支援団体の相互連携をお手伝いすることで
情報共有や疑問の解消をサポートしています



【設 立】平成 31 年 3 月

【加盟事業所】現在 50 社加盟

【代 表 理 事】中村 信二

【代 表 兼 職】株式会社日本学術講師会（代表取締役）、株式会社ガクジュツ（代表取締役）

学校法人松陰高等学校 福岡天神校（代表）一般社団法人学術の森（代表）

合同会社HLサポート（障がい者就労支援事業所）（代表社員）

【住 所】福岡市中央区大名 2 - 9 - 29 第2プリンスビル1008号

【許 可 番 号】㊿中小第194号

福岡県就労支援協同組合とは

活動実績

- ・福岡県障がいのある人のための就職合同会社説明会
- ・在宅勤務雇用を推進するテレワークセミナー
- ・福岡県障がいのある人のためのWEB合同会社説明会
- ・障がい者の方のための就労スキルアップWEBセミナー など

現在の活動

- ・月に1回の理事会、定例会の実施
- ・工賃向上支援センター事業
- ・JT日本たばこ産業のSDGs事業
- ・ときめきショップ運営事業 など



週20時間未満就労モデル事業とは

概要	様々な働きづらさを抱える方の働く場の創出 ・週20時間未満の短時間労働可能な企業の開拓 ・マッチング ・就労後のサポート 短時間就労の有効性を実証・確認する。令和4年度～5年度
実施地域	飯塚市・大牟田市（その近隣市町）
対象企業	飯塚市・大牟田市に本社、営業支店がある企業
対象となる方	家庭の事情や健康上の理由で、「長い時間働けない」・ 「苦手な仕事がある」など働きづらさを抱えている方

働きづらさを抱える方とは

(例) 長い時間働くことができない方

「週20時間以上」の勤務が困難な方

- ・病気やケガの影響で、疲れやすい方
- ・定期的に通院が必要な方



苦手な仕事がある方

苦手な業務が含まれていた場合、就労が難しくなる方

- ・直接会話するのが苦手な方
- ・身体を使った業務が難しい方 等



週20時間未満雇用のメリット①

● 支援にかかる費用は0円

- ・短時間業務の切り出し、求職者への求人情報の提供、採用・定着支援が無料で利用できる。

● 新たな求職者層から採用候補者を探せる。

- ・モデル事業を利用することで「短時間であれば働ける」「一部の配慮があれば働ける」といった方を探すことができる。

週20時間未満雇用のメリット②

●企業・求職者にとってハードルが低い。

- ・雇用形態としては、パート・アルバイトと同じ条件。
- ・労災保険のみの加入。健康保険、厚生年金保険、介護保険、雇用保険の加入は必要ない。

(企業)

- ・短時間から雇用することで、ミスマッチの場合の影響が少ない。

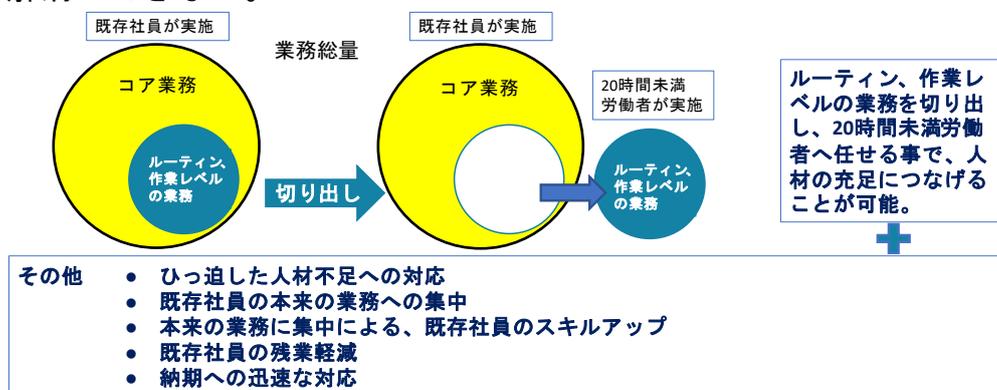
(求職者)

- ・心身の負担が少ない働き方になることで、働く前の不安が軽減される。

20時間未満雇用で見込める効果①

①人手不足の解消

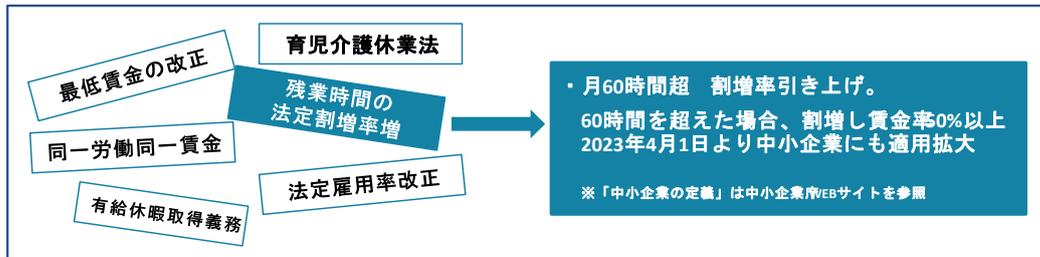
労働力人口は減少しており、「良い人を待つ」だけでは人手不足の解消ができない。



20時間未満雇用で見込める効果②

②既存社員の負荷軽減

企業の残業抑制、並びに残業への対応を厳格化した法律改正がなされており、既存社員が残業抑制することで、既存社員の負荷が高まる可能性がある



20時間未満労働者へ任せる事で、既存社員の負荷軽減につなげることが可能。

特定短時間労働者の雇用率算定に関して

※【2024年4月1日から措置予定】

- 雇用率の算定の対象となる、特定短時間労働者の労働時間について**10時間以上20時間未満**とする。
- 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である特定短時間労働者のカウントについて、**1人をもって0.5人**とする。
- なお、算定対象となる特定短時間労働者から、就労継続支援A型の利用者は、除く取扱いとする。

雇用率制度における算定方法（赤枠が措置予定の内容）

週所定労働時間	30H以上	20H以上30H未満	10H以上20H未満
身体障害者	1	0.5	—
重度	2	1	0.5
知的障害者	1	0.5	—
重度	2	1	0.5
精神障害者	1	0.5 ※	0.5

※ 0.5ではなく1とカウントする措置は、当分の間延長されている。

2

特定短時間労働者の雇用率算定に関して

※【2024年4月1日から措置予定】

- 雇用率の算定の対象となる、特定短時間労働者の労働時間について**10時間以上20時間未満**とする。
- 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である特定短時間労働者のカウントについて、**1人をもって0.5人**とする。
- なお、算定対象となる特定短時間労働者から、就労継続支援A型の利用者は、除く取扱いとする。

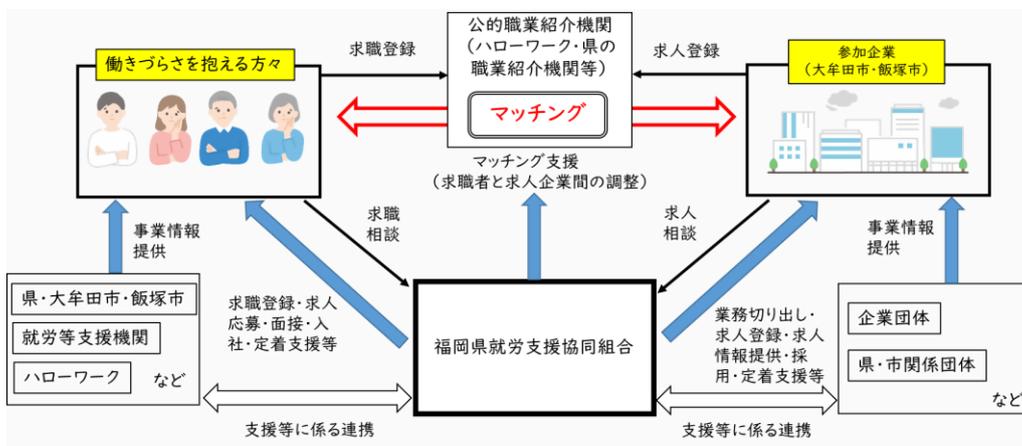
雇用率制度における算定方法（赤枠が措置予定の内容）

週所定労働時間	30H以上	20H以上30H未満	10H以上20H未満
身体障害者	1	0.5	—
重度	2	1	0.5
知的障害者	1	0.5	—
重度	2	1	0.5
精神障害者	1	0.5 ※	0.5

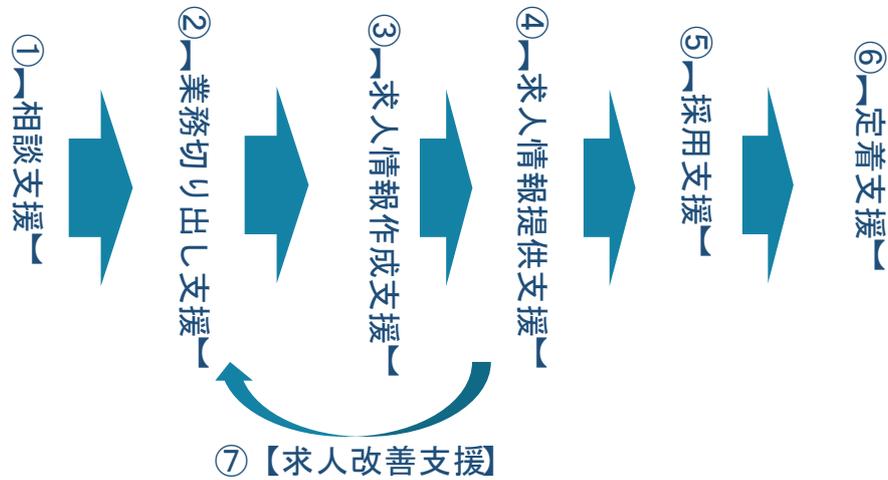
※ 0.5ではなく1とカウントする措置は、当分の間延長されている。

2

週20時間未満就労モデル 支援体制



企業への支援



①相談支援

- ・企業に対面またはオンラインで内容の聞き取りを行い、問題点の整理を実施
- ・短時間雇用により解決の可能性がある場合は、モデル事業の利用を提案
- ・企業が抱える課題を確認（なぜ課題が発生しているのか）

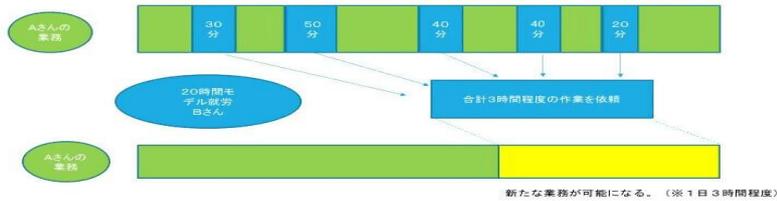
②業務切り出し支援

- ・事業の利用を決定した企業に対面またはオンラインで業務の詳細を聞き取り、分解することで、新規雇用により困りごとが解決する業務を切り出し

週20時間モデル事業の作業分担

(求職者 切り出し業務 例)

仕事の切り出しによって短時間で業務の作業設定を行い「補助作業」や「既存スタッフでは手の届きにくい作業」を行って頂くことで、人手不足解消や企業価値向上に繋げていく。



③求人情報作成支援

- ・切り出した業務及び企業が希望する採用条件から求人票を作成
- ・仕事カタログの作成

福岡県就労支援協同組合

【求職者の求人】
求職者向け
求人情報作成支援

●どんな職場？

就労支援団体の補正訓練をお手伝いすることで、障がい者や高齢者の雇用をサポートしています。福岡市東区でも、就労支援施設で作業される方が作成された商品を販売するショップを運営しており、いろいろなことを経験できる職場です。

●職場の雰囲気

【去年スタッフAさんの例にインタビューをしました】

- ・働きやすさはどの程度ですか？
- ・具体的なごとの辺りが働きやすいですか？
- ・仕事の内容をしっかりと聞いてくれる事と、話し合いの場をしっかりと設けてくれる事です。分からない事があれば教えてくれるし、しっかりとアドバイスを貰えます。
- ・一方向的な所が良いですね。
- ・かなり寄り添っていただいていると思います。

●ここが自慢！

幅広い年齢層の方が勤務されており、一人ひとりに合わせた仕事を行える職場です。仕事に必要な資格やスキルも学びながら働くことが出来ます。

※上記の仕事カタログは令和4年度の資料になります。

④求人情報提供支援

- ・広く、求職者に対して求人内容を説明する機会を提供
- ・一部の企業に関しては、企業に代わって、当協同組合が職場の雰囲気や環境などを説明

⑤採用支援

- ・雇用を希望の方が企業を希望された際に、体調や就労意欲を改めて確認
- ・雇用の為に必要な労働条件通知書等の作成支援
- ・採用時の勤務時間や日数の条件調整
- ・職場見学や就労体験の実施（企業及び雇用希望の方が希望する場合）

⑥定着支援

- ・企業及び求職者に対して、対面や電話でのヒアリングを実施
- ・職場訪問を実施
- ・必要に応じて企業と就労者の間に入って調整

⑦求人改善支援

- ・雇用まで至らない場合、求人内容の修正、新たな求人の作成支援を実施

令和4年度の事例紹介

大牟田市・飯塚市にて各市4回ずつ**求職者説明会**実施
91名の方が参加



事例

業種：飲食業 / 従業員：7名

業務内容：飲食サービス業であり、フランチャイズチェーン店運営

今回の事業に参加したきっかけ

人手不足に困っており、求人を募集していたが決まらない状況であったため、補助的業務や繁忙時などサポートして貰うことで、人手不足が解消できるのではないかと考えた。

事例 これまでの支援

【相談支援】

- ・企業に人手不足で困っている業務（ホールスタッフ）を聞き取り、食器引き、食器洗浄、片づけの3つの業務を切り出した。

【求人情報作成支援】

- ・切り出した業務に係る企業の採用条件を確認し、求人票を作成
- ・長年勤務している高齢者が在籍していることなどをPRポイントとする仕事カタログを作成。

【求人情報提供支援】

面接同行、同席。職場見学の実施

【入社支援】

入社前のヒアリング

【定着支援】

定期的な電話による就業状況の確認。企業と求職者の調整

事例 雇用内容

【雇用内容①】

- ・業務内容：ホールでの食器配膳、片づけ
- ・週3日（月、水、金、日）
- ・4時間勤務（12：00～16：00）
- ・被雇用者：70代女性（高齢、病院通院、体力不安あり）

【雇用内容②】

- ・業務内容：食器洗い
- ・週3日（火、木、土）
- ・4時間勤務（12：00～16：00）
- ・被雇用者：50代男性
（コロナ後遺症による手足の痺れ、家族介護あり）

事例 雇用企業の感想

- ・スタッフとも打ち解け、しっかりと働いており大変助かっている。
- ・業務に慣れてきたら、業務の幅を広げ、就労時間を増やすことも相談していきたい。
- ・雇用後に、被雇用者に相談したいときは、組合が間に入ってもらえ、定期的な面談でも求職者の意見を拾ってもらえるので、安心できる。

ホームページのご案内



詳しくはこちら↓

https://fesc.jp/omuta_20miman_work/



ホームページのご案内



詳しくはこちら↓

https://fesc.jp/iizuka_20miman_work/



福岡県就労支援協同組合

◆〒810-0041

◆住所：福岡市中央区大名2-9-29
第2プリンスビル1008号

◆TEL：092-406-7697

◆E-Mail：contact@fesc.jp

◆担当者：小島・中島（統括コーディネーター）



週20時間未満就労モデル事業

福岡県就労支援協同組合

福岡県就労支援協同組合とは

日本初の就労支援協同組合

就労支援団体の相互連携をお手伝いすることで
情報共有や疑問の解消をサポートしています



【設 立】平成 31 年 3 月

【加盟事業所】現在 50 社加盟

【代表理事】中村 信二

【代表兼職】株式会社日本学術講師会（代表取締役）、株式会社ガクジュツ（代表取締役）

学校法人松陰高等学校 福岡天神校（代表）一般社団法人学術の森（代表）

合同会社HLサポート（障がい者就労支援事業所）（代表社員）

【住 所】福岡市中央区大名 2 - 9 - 29 第2プリンスビル 1008号

【許可番号】㊿中小第194号

福岡県就労支援協同組合とは

活動実績

- ・福岡県障がいのある人のための就職合同会社説明会
- ・在宅勤務雇用を推進するテレワークセミナー
- ・福岡県障がいのある人のためのWEB合同会社説明会
- ・障がい者の方のための就労スキルアップWEBセミナー など

現在の活動

- ・月に1回の理事会、定例会の実施
- ・工賃向上支援センター事業
- ・JT日本たばこ産業のSDGs事業
- ・ときめきショップ運営事業 など



週20時間未満就労モデル事業とは

概要	様々な働きづらさを抱える方の働く場の創出 ・週20時間未満の短時間労働可能な企業の開拓 ・マッチング ・就労後のサポート 短時間就労の有効性を実証・確認する。令和4年度～5年度
実施地域	飯塚市・大牟田市（その近隣市町）
対象企業	飯塚市・大牟田市に本社、営業支店がある企業
対象となる方	家庭の事情や健康上の理由で、「長い時間働けない」・「苦手な仕事がある」など働きづらさを抱えている方が対象です。

働きづらさを抱える方とは

(例) 長い時間働くことができない方

「週20時間以上」の勤務が困難な方

- ・病気やケガの影響で、疲れやすい方
- ・定期的に通院が必要な方



苦手な仕事がある方

苦手な業務が含まれていた場合、就労が難しくなる方

- ・直接会話するのが苦手な方
- ・身体を使った業務が難しい方 等



週20時間未満就労のメリット

●週20時間未満のメリット

- ・社会とのつながりを持つことができる。
- ・自分に合った働き方ができる。
- ・フルタイムで働く場合と比べて負担が少ない事が予想される。

【勤務時間例】

・1日4時間 (8:00~12:00) × 4日 = 16時間/週

・1日2時間 (6:00~8:00) × 5日 = 10時間/週

●まずは経験を積みましょう

20時間未満の就労で、経験を重ねましょう！

生活保護を受けている方

- ・ **働いた分、保護費を引かれるのではないか？**

勤労控除の基礎控除あり

15,200円までは、全額基礎控除され、保護費と調整することなく収入となります。

- ・ **仕事へのブランクがあり体調的にも心配だ。**

全般的な業務ではなく、部分的な業務からスタートできる。

身体的・勤務時間的な不安がある方

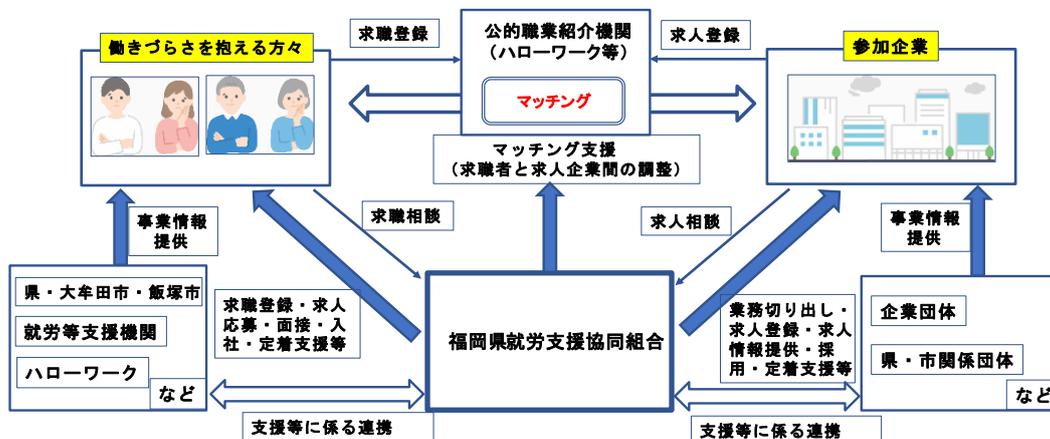
- ・ **話すのが苦手・決まった時間に薬の服用が必要など**

就職する前に企業へ配慮事項を相談できる。

- ・ **家族のサポートや送迎などがあり、通常時間勤務が難しい**

企業によっては、勤務開始時間などを調整することが出来る。

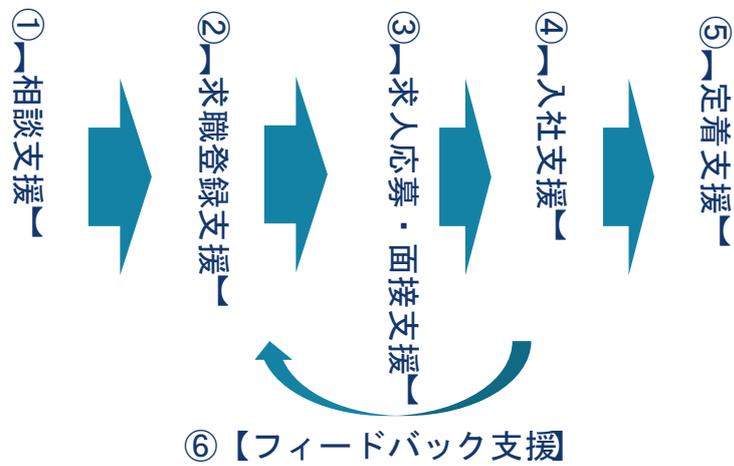
週20時間未満就労モデル 支援体制



就労までの流れ

説明会	事業内容・手続きをご案内します。
企業選択	どの企業に応募したら良いのかなど、分からない場合は一緒に考えましょう。
申込	求職申込書類の作成のお手伝いが必要な場合は、ご相談ください。
働き方検討	就労にあたって、希望する職場環境、労働条件、やりたい事、配慮事項等、不安な事があつたら、ご利用されてる支援機関とも相談しながら、サポートしていきますので、一緒に考えていきましょう。
採用面接	履歴書、職務経歴など、面接に必要な書類作成や、面接に向けたアドバイスもご相談ください。
就労決定	入社日など企業との調整や、配慮事項、労働条件など、お互いに納得して就労が出来るように、調整サポートします。
サポート	就労開始後、定着のためのサポートを行い安心して働けるように企業との調整を行います。

求職者の支援



令和4年度の事例紹介

飯塚市・大牟田市で、4回ずつ**企業説明会**実施
飯塚市では**36**社・大牟田市では**32**社の企業が参加



令和4年度の事例紹介

飯塚市・大牟田市にて各市4回ずつ**求職者説明会**実施
91名の方が参加



事例①

地域：飯塚市 / 年齢：50代 / 性別：男性

紹介機関：飯塚市役所

働きづらさの内容：手足の痺れがあり、行える業務に制限がある。
在宅にてご家族の介護を行っており、仕事へのブランクがある。

今回の事業に参加したきっかけ

福岡県主催の正社員チャレンジプログラムに参加していたが
勤務可能な求人が少なく、また選考落選が続いていた。
チラシをきっかけに求職者説明会参加

事例① これまでの支援

【相談支援】

各種希望条件などを確認

【求人登録支援】

求人票の作成支援

【求人応募・面接支援】

面接同行、同席。職場見学の実施

【入社支援】

入社前のヒアリング

【定着支援】

定期的な電話による就業状況の確認。企業との調節

事例① 業務内容・感想

【業務内容】

- ・ 職種：飲食業
- ・ 週4日（火、木、土、日）／4時間勤務（12：00～16：00）
- ・ ホールでの配膳、片づけ

【事業参加者の感想】

- ・ 入社後も定期的に困ったことを相談できることが嬉しい。
- ・ 仕事の内容を調整しながら継続して働けている。

事例②

地域：大牟田市 / 年齢：60代半ば / 性別：女性
紹介機関：障がい者施設（就労継続支援A型）
働きづらさの内容：身体的な不安や、持病による不安

今回の事業に参加したきっかけ

現在の就労支援事業所を定年で退職する事、また統合失調症を発症している事、高齢であること、体力がないことから、自分に適した仕事がなかなか見つからない為、事業へ参加した。

事例② これまでの支援

【相談支援】

各種希望条件などを確認

【求人登録支援】

求人票の作成支援

【求人応募・面接支援】

面接同行、同席。職場見学の実施

【入社支援】

就労体験の実施

【定着支援】

定期的な電話によるヒアリングや職場訪問を実施

事例② 業務内容

【業務内容】

- ・職種：製造業
- ・週5日(月～金) 3時間勤務(9:00～12:00)
- ・容器洗浄、資材の補充、細かい材料を容器に補充

事例② 感想

【事業参加者の感想】

日頃は、週5日4時間程度、障がい者施設で働いているが、ほとんどの作業がテーブルワークで慣れた作業だった。

今回の就労体験では、少人数で立ちっぱなしの状態、初めてする作業だったので不安があったが、仕事の内容も理解でき、負担に思うことなくできた。

職場の雰囲気も良く、他の従業員さんも優しく声掛けをしてもらったので、思った以上に時間が経つのが早く感じて、とても楽しく仕事ができる。

事例③

地域：大牟田市 / 年齢：20代 / 性別：女性
働きづらさの内容：仕事のブランク、コミュニケーションが
苦手紹介機関：筑後若者サポートステーション

今回の事業に参加したきっかけ

仕事を探していたところ、支援機関より事業の周知を受け求人に興味を持った為、説明会に参加。

事例③ これまでの支援

【相談支援】

支援機関とも連携を行いながら希望を聴き取り

【求人登録支援】

求人票の作成支援

【求人応募・面接支援】

面接同行・同席、職場見学の実施

【入社支援】

雇用契約に基づく就労体験（5日間）

【定着支援】

定期的な電話によるヒアリングや職場訪問を実施

事例③ 業務内容・感想

【業務内容】

- ・ 職種：飲食、製造業
- ・ 5日／週 4時間／日勤務（12：00～16：00）
- ・ 容器洗浄、資材の補充、細かい材料を容器に補充

【事業参加者の感想】

とてもいい方が多く、無理なく働くことができた。
様々な部署の体験就業を行った事で自分がどの様な仕事
に興味があるのか知ることが出来た。

ホームページに關しまして



https://fesc.jp/iizuka_20miman_work/



ホームページに关しまして



https://fesc.jp/omuta_20miman_work/



福岡県就労支援協同組合

◆〒810-0041

◆住所：福岡市中央区大名2-9-29
第2プリンスビル1008号

◆TEL：092-406-7697

◆E-Mail：contact@fesc.jp

◆担当者：小島・中島

